

# 九州地区大学図書館協議会誌

第49号

2006

九州地区大学図書館協議会

## 目 次

|                                  |          |    |
|----------------------------------|----------|----|
| <b>【巻 頭 言】</b>                   |          |    |
| 大学図書館が抱える問題点 .....               | 上村 俊雄 .. | 1  |
| <b>【寄 稿 論 文】</b>                 |          |    |
| 大学図書館の地域開放 .....                 | 横尾 瑠璃 .. | 3  |
| 九州大学附属図書館目録カード画像検索システムについて ..... | 田中由紀子 .. | 7  |
| <b>【特 別 報 告】</b>                 |          |    |
| 長崎県大学図書館協議会が合同イベントを開催 .....      |          | 10 |
| <b>【図 書 館 紹 介】</b>               |          |    |
| 熊本保健科学大学附属図書館 .....              |          | 19 |
| <b>【加盟館ニュース】</b> .....           |          | 21 |
| <b>【図書館活動報告】</b> .....           |          | 32 |
| <b>【事務局報告】</b> .....             |          | 43 |
| <b>【協議会総会】</b>                   |          |    |
| 第57回九州地区大学図書館協議会総会記録 .....       |          | 45 |
| 平成17年度決算 .....                   |          | 56 |
| 平成18年度予算 .....                   |          | 57 |
| <b>【資 料】</b>                     |          |    |
| 九州地区大学図書館協議会会則 .....             |          | 58 |
| 九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則 .....     |          | 59 |
| 九州地区大学図書館協議会入会に関する細則 .....       |          | 60 |
| 九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規 .....      |          | 64 |
| 九州地区大学図書館協議会表彰規程 .....           |          | 64 |
| 研修会の補助に関する申合せ .....              |          | 69 |
| 副幹事館の役割 .....                    |          | 71 |
| 九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について .....  |          | 71 |
| 加盟館一覧 .....                      |          | 73 |
| 役員館一覧 .....                      |          | 77 |
| 当番館一覧 .....                      |          | 81 |



## 大学図書館が抱える問題点

上村俊雄

指定管理者制度の導入によって、公的機関ではいろいろな問題が起きているようである。

遠からず、その影響は私立の機関にも及ぶであろうことをひしひしと感じている。それは、開館時間の延長や休日開館などである。そのような問題点も見据えながら、本学の附属図書館が抱えている問題点を見つめてみたい。私が鹿児島国際大学附属図書館長に赴任してから、4年目の任期が間もなく終わろうとしている。私は図書館運営に関しては、まったくの素人であるが、それなりに見えてきた問題点もある。それらの問題点を指摘しておきたい。

### 図書館職員の定期異動について

どのような職場でも、職場の雰囲気停滞化するのを避ける目的で、ある一定の年数が経過した職員を対象に、毎年定期的に異動が行われるのは常識である。本学でも例外ではない。毎年の定期異動で、司書の資格を持つ図書館職員がそれとはまったく関係のない職場に転出し、代わりに司書の資格を持たない職員が異動してくる。見た目には図書館の職員の定数としては変化がないように見える。しかし、これは、大学図書館のレベルをより高く維持していこうとする場合大変なことである。定期異動の趣旨はよく理解できるのであるが、それが図書館となると、非常に困る場合が起きてくる。図書館には、専門的な知識を持った司書という資格を有する専門家がいることが第一の条件である。ただ単に人がおればよいという問題ではない。大学図書館の質のレベルが問われる問題であると思う。

たとえば、博物館を例にとってみよう。最初ほどこの博物館も入館者が多い。時がたつにつれて、そのまま好評を維持している博物館と、徐々に入館者が減少し閑古鳥が鳴いている博物館とに分かれてくる。その理由ははっきりしている。前者は専門的な知識を持った学芸員が多くいて、どのように行動すればよいかを常に考

えているからである。独立法人九州国立博物館がよい例である。後者は、事務職員が非常に多く、専門的な知識をもった学芸員が非常に少ない博物館によく見られる。つまり、単に事務的な処理で終わらせるか、常に専門的な視点で対応しているかの違いであろう。

大学図書館も同じことが言えよう。学内の他の部局には、司書の資格を有している人間もいる。そういう人を再び図書館に呼び戻す努力も必要であろう。ちなみに、本学図書館の職員は正職員12名（うち司書有資格者7名）、臨時職員2名・アルバイト9名（うち司書有資格者6名）である。正職員の司書資格を持つ人が、異動で毎年減少している現状を打開するための対策の一つとして、止むを得ない方法であるが、臨時職員を採用する際に司書資格を有している人を採用するように努めている。

### 開館時間の延長と防犯対策について

本学図書館の開館時刻は朝8時30分、閉館時刻は大学院の授業にあわせて夜9時20分である。鹿児島県内の大学の中では、最も長く開館している方であろうと思う。それでも閉館時刻をもっと遅くせよという要望がある。学生が勉強したいという意欲は喜ばしいが、職員と学生の安全管理を考えると、館長の立場としては「ハイ、そうします」と簡単にいうわけにはいかない。それは、以下に述べるような理由からである。本学の正門と裏門にバス停があるが、バスの通過時間を調べてみると、午後6時台から2時間ほどはバスが通らず、夜8時台のバスが最終である。また、JR坂之上駅までは歩いて20分ほどの距離にある。夜8時頃の時間帯に数回通ってみたが、ほとんど人通りはなく、明かりは街灯が数ヶ所と自動販売機の明かりだけである。薄暗くて、安心して歩けない雰囲気である。閉館後、図書館の女子職員が帰る途中に男に追いかけられたという事件も起こっている。今年になって、日中に、2回不審者が入館してきたこと

がある。1回目はパトカーに、2回目は他の部局の男子職員に来てもらって、大事に至らなかった。これが夜であったらどうなっていたことであろうと思うとゾッとする。他の部局は、夕方の勤務時間が過ぎるとほとんど全員帰ってしまう。警備員がいることはいるが、契約の関係であろうか、学内を見回りはするが、図書館には一步も足を踏み入れないのである。せめて図書館の周りだけは明るくしてほしいと要望し、いくつか外灯を増やしてもらったが、学内全体を見るとまだまだ暗い。女子職員の不安を少しでも解消するために、今後の防犯対策として、来年度予算で防犯ベルを取り付けること、学内全体を顔が判別できる程度に明るくすること、警備員に図書館の中まで入ってもらうことを要望している。本学は市街地から遠く離れており、交通の不便なところに位置している。交通機関が便利で、周囲が何時までも明るい環境にあるところと同じようには論じられないのである。

以上のような不安を抱えているが、それでも、図書館職員は閉館時刻の延長について、何とか解決できないかと機会あるごとに会合を開いているがまだ解決していない。

#### 図書館の休日開館と地域住民への開放について

地域住民への開放については、本学のホームページでも紹介している。利用者は幼児を連れて母子連れ、高校生、一般市民などである。母子連れの利用は、本学に児童学科があり、その関係で絵本などの児童図書が多いからであろう。しかしながら、全体的に利用者が多いとはいえない。その理由は何であろうか。公立図書館には、人気作家の小説や娯楽的な内容の一般向けの図書が多いのに対して、大学図書館は専門的な図書や教育的な内容の図書が多いことが一番の原因ではなかろうか。図書館の休日開館については、前向きに検討してはいるが、足踏み状態である。一番の悩みは職員の勤務条件の問題である。職員数が現状のままでは、労働時間が増えるばかりで、過労になりかねない。職員が増員されればよいのであるが、実現の可能性は極めて少ない。少子化問題が影響しているように思われる。受験生の減少は大学の経営を大きく圧迫しており、ひいては、図書館の予算にも

影響しているのである。外部に委託することも考えられるが、委託料が無料ということは考えにくいので、それも実現性は低いではなかろうか。

#### 図書の押し売りについて

私が図書館長になって最初に驚いたのは、書店経由ではなく、複数の某団体からの図書の押し売りである。一冊が数万円以上であるが、内容はこれまでに出版されたものの寄せ集めであるように思われた。本学の図書館としては、必要性の低い図書であり、数万円あれば、その金額で学生に必要な図書がたくさん買えるので購入の意思はないと返送した。その後、応対した女子職員に対して大声で怒鳴り上げることがしばしばあった。他の大学に問い合わせたところ、どこも対応に苦しんでいたようである。このような問題はどこかで断ち切るべきであると考え、警察や消費者センターにも相談し、その助言に従って、送りつけられてもすぐに返送することを繰り返した。そのうちに、あきらめたのであろうか。今では某団体からの押し売りはなくなってきておりホッとしている。

そのほか、蔵書数の増加により、図書等資料保存スペースの余裕がなくなり、書庫増設の必要に迫られていること、図書予算が減少しつつあるが、大学の質のレベルを落とさないようにするにはどう対応すべきか など、ほかにも多くの問題を抱えている。

先般、第三者評価の実施調査が行われた。その際、鹿児島国際大学附属図書館について、「これだけの立派な大学図書館は国内でも数少ない」という評価を得た。このような評価を得られたのも、悪条件の中でも不平を言わず、常に笑顔で働いている職員のおかげである。鹿児島国際大学附属図書館の職員に深い敬意を払うとともに、彼らと同じ職場におられる事を誇りに思っている。

かみむら としお  
(鹿児島国際大学附属図書館長)

## 大学図書館の地域開放

—福岡県立大学附属図書館の館外貸出開始による学外利用者の増加から—

横尾 瑠璃

### はじめに

『平成16年度大学図書館実態調査結果報告』によると、既に55.6%の大学図書館で館外貸出が行われている。福岡県立大学附属図書館においては、大学の保有する知識、施設等を社会のために活用する社会貢献の一環として、平成18年度から学外利用者への館外貸出を開始した。昨年度と比較すると利用者は増加傾向にある。

当大学では、図書館の地域開放の告知を公共図書館やマスコミには行っていない。そのため、大学図書館が利用可能であるということは、地域住民の間で口コミで広がったか、当館のWebサイトで知ったと考えられる。

特に本年度は学外者の利用率が伸びていることから、増加要因は館外貸出開始と特定できる。以下に、現在の地域開放の状況報告と、館外貸出の課題を考察する。

### 1. 福岡県立大学附属図書館の学外者サービス

#### 1.1 館外貸出開始までの経緯

当館の地域開放の流れは、本誌45号の巻頭言にて、前館長奥村幸夫が言及している。平成17年度までの地域住民へのサービスは、閲覧・複写が中心であった。館外貸出は、卒業生と教員からの紹介を受けた者に限られていた。通常開館時間は、9時から20時まで（月～金）で、土曜日は開館していなかった。

平成18年度からの学内・学外利用者サービスの変更点は、開館時間が延長されたことと、土曜日開館実施、学外利用者への相互貸借・文献複写サービス・館外貸出の開始である。

#### 1.2 学外利用者サービスの概要

##### (1) 通常開館時間

月～金曜日 8時45分～21時

土曜日 8時45分～17時

※ 8月11日～9月30日、  
12月24日～1月9日、

3月は、平日8時45分～17時

上記期間中土曜日閉館

##### (2) 休館日

日曜・祝日・月末館内整理日

※ 月末が休日の場合は、前日休館

※ 年末年始（12月29日～1月3日）

##### (3) 利用資格

義務教育を終えた者

##### (4) 貸出数

図書5冊以内・雑誌3冊以内・CD2タイトル以内

##### (5) 貸出期間

1週間

##### (6) その他

文献複写・相互貸借依頼（ILL）

レファレンスサービス

AV資料視聴

コンピュータの利用

複写機の利用

#### 1.3 蔵書構成

福岡県立大学は、人間社会学部と看護学部の2学部から構成される。人間社会学部は、社会学科、社会福祉学科、人間形成学科の3学科と看護学部は、看護学科の1学科である。大学院は現在、福祉社会専攻と生涯発達専攻がある。

附属図書館は、本館と看護学部分館から成る。本館は、人間社会学部分野の社会学（4,422冊）、社会福祉関連書（10,157冊）、心理学（3,481冊）が主たる蔵書である。看護学部分館は、看護（4,244冊）・医学（9,422冊）分野の図書を多く揃えている。

#### 1.4 学外利用者受付

学外者が初めて来館する際は、カウンターで手続きを行う。手続きは、貸出を希望するか否かで異なる。貸出希望者は、申込書に住

所・氏名・年齢を記入する。学校あるいは勤務先の記入は任意である。本人確認は、運転免許証、学生証、保険証で行なう。前記の証明書がない場合は、他の本人確認できるものを持参する。図書館利用者証に貼るための写真を依頼したり、後に図書館利用者証を郵送するといったことはしていない。図書館利用者証は、他の図書館のようにバーコードが既に貼り付けられてある利用者証は使用しておらず、画用紙を利用し、図書館内で作製しているので、来館当日に発行可能である。

閲覧のみを希望する場合は、氏名と住所（市町村名のみ）を記入してもらい、バーコードのない利用者証を退館の際に手渡している。次回からは、来館の際に、カウンターに利用者証を提出すれば、自由に利用できるようになっている。利用者証の有効期限は発行年度末までである。

### 1.5 利用者の背景

本館利用者は、一般企業・福祉施設・児童相談所勤務者が多い。特に、社会福祉関連資料の需要がある。また、心理学・手話の自己学習のため、利用している人もいる。学生の試験期間になると、高校生が参考書を抱えて勉強する姿も目立つようになる。まだ、席の占有に頭を悩ませるほどの数の学生は来館していない。

看護学部分館は、看護専門学校生・病院勤

務者が多い。看護従事者にとっては、患者に適切なケアを行うための最新の医療情報は欠かせない。看護学部は創設されて4年目と新しいため、常に新しい情報を求める利用者の要求と蔵書構成が一致しているといえる。また、公務員の受験勉強のために利用する者もいる。

一般書は、近くに田川市立図書館があるため事足りるが、専門書となると大学まで来なければ手に入らないものもある。特に看護分野の資料は重宝されている。（図2）

表1を見ると、まず20代の利用者が突出していることが分かる。利用者層の中で20代が多数を占めているが、これは早稲田大学所沢図書館、大阪市立大学学術情報総合センターの事例でも挙げられている。これは、大学図書館が同世代にとって利用しやすいと思われるのではないだろうか。

また、学外利用者の居住地区は、大学のあたる田川市周辺が多数を占めている。図1に福岡県内32%とあるが、これは、居住は田川市郡以外で、勤務先が田川市となっている人が多い。また、車で30分程度で来館可能な利用者がほとんどである。

ちなみに、文献複写・相互貸借の学外利用者の申込は2006年10月31日までで25件であった。学生・教員を含めた全体の申込件数が1,171件であったことを考えると、全体に占める割合は高くはない。

表1 学外利用者年齢別内訳（2006年4月～2006年10月）

| 年 齢   | 単位（人）  |        |        |        |        |        |       |     |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-----|
|       | 13～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～69歳 | 70歳以上 | 不 明 |
| 学外利用者 | 57     | 171    | 76     | 39     | 33     | 4      | 4     | 11  |

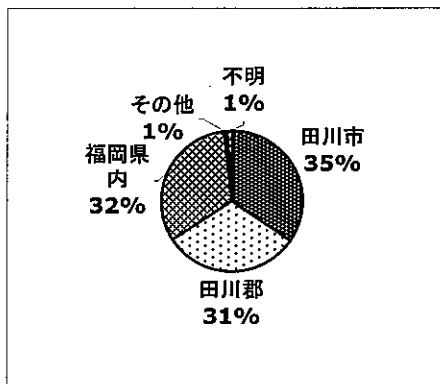


図1 学外利用者居住地区内訳  
(2006年4月～2006年10月)

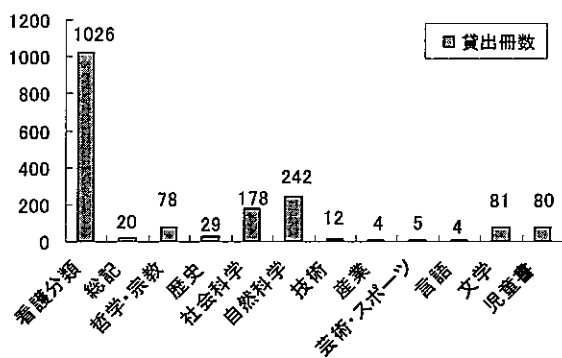


図2 学外者館外貸出分類  
(2006年4月～2006年10月)

## 2. 大学図書館の館外貸出

### 2.1 大学図書館の館外貸出の推移

文部科学省の『大学図書館実態調査結果報告』により、学外者への館外貸出の調査が昭和57年から行われている。図3は、学外者の利用を認めている図書館のうち館外貸出も認めている図書館の割合の推移である。国公立ともに、20年間で館外貸出を行う大学が増加したことがわかる。国立大学に関しては、すでに70%を超える大学図書館が館外貸出を行っている。当館も平成18年度より学外者への館外貸出を開始したため、新たな調査では、学外者への館外貸出率は高まると予想できる。

しかし、『大学図書館実態調査結果報告』からは、館外貸出が、卒業生・教員からの紹介を受けた者に限定するのか、県内に在住・在勤の者に館外貸出を認めているか、あるいは制限を設けていないかまでは判断できない。そのため、館外貸出の範囲の判断には注意が必要である。

表2は、当館の学外利用者の推移である。2006年度の貸出が前年の10倍以上になっている。2005年度までは、卒業生・教員からの紹介を受けた者に限定されていたためであるが、閲覧希望者が減少し、貸出希望者が増加していることから、学外利用者が貸出を待ち望んでいたことが推察できる。2006年度は10月までの統計であるが、昨年10月時点と比較すると80人増加しているため、年度末までには更なる利用者の増加が見込まれる。

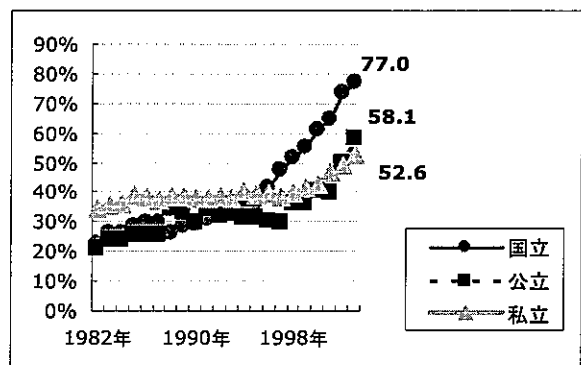


図3 学外利用者館外貸出推移  
出典『大学図書館実態調査結果報告』、文部科学省

表2 福岡県立大学附属図書館学外利用者数  
(2006年4月～2006年10月)

|    | 単位 (人) |        |        |        |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 年度 | 2003年度 | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 |
| 閲覧 | 379    | 445    | 388    | 142    |
| 貸出 | 16     | 21     | 19     | 245    |
| 合計 | 395    | 466    | 407    | 387    |

### 2.2 館外貸出開始による利用者増加

すでに多くの大学図書館が学外者への館外貸出を実施しているが、中でも、県立長崎シーボルト大学・南山大学図書館・山形大学中央図書館が、館外貸出開始による学外利用者の増加事例として挙げられる。県立長崎シーボルト大学は、2003年度時点で、前年比15%の伸び、南山大学図書館は、2000年度から、2001年度に、892冊学外者への貸出が増加している。2002年度も年度途中だが、増加傾向にあるとしている。また、特筆すべきは、山形大学中央図書館の増加で、2002年10月から貸出を開始したところ、今まで学外入館者



17人という月もあったが、初めて200人を超えたとのことである。開放は下期からだったが、前年度学外入館者を1,238人上回ったとのことである。

### 3. 館外貸出開始の課題

#### 3.1 資料の問題

学外者へ貸出を行うにあたり、以下の問題点がある。まず、資料の問題点は、学内利用者との資料の競合・資料の紛失、破損の恐れである。特に、利用者が延滞した場合には督促のために電話代・郵便代がかかるため財政面での考慮も必要である。また、学外利用者の住所・連絡先を確実に把握しておくことが重要になる。

#### 3.2 課題改善

学内利用者と競合する恐れのある資料に関しては、複本をそろえる。あるいは、一定の規制をする必要がある。図書の紛失・破損に関しては利用者のマナー向上の手立てをとらなくてはならない。また、館外貸出以外にも学外利用者のサービスが要請されうる。例として、三重大学附属図書館の情報リテラシー教室や、奈良教育大学附属図書館の手作り絵本教室といった事例がある。それぞれの大学の特色を活かしたサービスを提供することが必要となってくるだろう。

#### おわりに

館外貸出を行うにあたっては、紛失・破損・延滞の問題を含んでいる。当大学でも、学外者からのクレーム対応に追われるときもある。今のところ学外者はマナーの良い人が多いが、すべての利用者のマナーが良いとはいえない。しかし、時代の流れにより社会から要求されたサ

ービスに応じなくてはならない。利用者数が一つの指標となる図書館界では、学外者への館外貸出開始によって利用者が増加したという事実は重要である。遅ればせながらの学外者への館外貸出実施であったが、利用者の喜びの声を聞き、またレファレンスの中で知識の幅も広がり、得るものは大きい。ようやく館外貸出を開始した図書館の一例が参考になれば幸いである。

#### [参考文献]

- ・文部科学省、『大学図書館実態調査結果報告』
- ・奥村幸夫、「わが大学附属図書館の現状と未来」、『九州地区大学図書館協議会誌』、第45号、2002年、1－2頁  
「貸し出しで学外利用者激増 山形大中央図書館、開放進行中」、『朝日新聞』、2003年11月23日、33頁
- ・井口牧二、「早稲田大学所沢図書館の地域開放」、『情報管理』、Vol. 46、No. 6、2003年、394－396頁
- ・鹿児島琴美、「地域開放の現状と課題：県立長崎シーボルト大学附属図書館における実践から」、『看護と情報』、Vol. 11、2004年、71－73頁
- ・吉井良邦、「大阪市立大学学術情報総合センターにおける図書市民利用制度の実施事例」、『大学図書館研究』、76号、2006年、32－39頁
- ・太田直子、「南山大学図書館における生涯学習支援に対する一般開放の可能性」、『南山大学図書館紀要』、第8号、2003年、61－75頁

よこお り  
(福岡県立大学附属図書館)

## 九州大学附属図書館目録カード画像検索システムについて

田中由紀子

## 1. はじめに

九州大学附属図書館目録カード画像検索システム（以下目録カード画像検索システム）は、Web上で九州大学の図書目録カードを画像として検索・閲覧できるシステムです。（図1）

<http://card.lib.kyushu-u.ac.jp/cciss/cgi-bin/frame.cgi>

目録システム稼動以前の数十年間に作成した目録カード（約217万枚）を画像化し、これに検索のためのインデックスを付加したもので、九州大学附属図書館研究開発室において開発されました。



図1 システムトップ画面

## 2. システムの概要と特長

目録カード画像検索システムでは、実際目録カードを検索する動作をできるだけ再現しており、使い方は簡単です。画面にはカードボックスの引き出しが表示され、目録カードをめくるといったイメージで閲覧できます。（図2）

システムで使用するデータは、すべてテキストとして保持し、特別なデータベースは用いていません。具体的には、後述するタブ区切りの簡単な設定ファイルを用意するだけで、カードボックスの見出し語の表示から、キーワード検索まで可能にしています。

データベースを用いなかったことで、軽量で移植性の高いシステムを実現しており、SQLなどの知識がなくてもデータの保守・変更が簡単にできるようになっています。

九州大学では平成12年度から平成16年度の間、

予算を確保して集中的に遡及入力を実施しました。5年間で約154万冊の図書目録データを入力し、現在では全蔵書（379万冊）のうち77パーセント（292万冊）の資料がOPACで検索可能になっています。

残りの23パーセントの資料は、和装本・漢籍・特殊言語資料など、目録データの作成に時間がかかるものですが、九州大学にしかない貴重なコレクションも含まれています。目録カード画像検索システムは、このような未登録資料の目録カードの検索・閲覧を可能にしました。

利用者は図書館に足を運ぶことなく、資料を探することができますし、図書館はカードを処分することにより、スペースの有効利用が図れます。また、目録カード画像データを利用して図書目録データベースへ遡及入力する場合、同一画面上で作業ができますし、さらに、複数人が同時に入力できることから、今後の入力作業の効率化にも役立つと思われます。

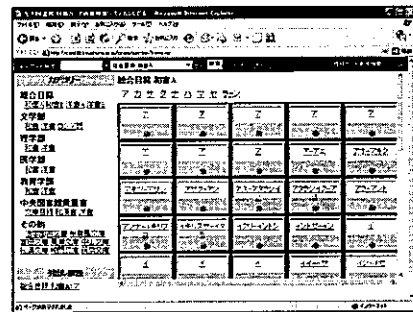


図2 システムの引出し一覧

## 3. システム開発の経緯

九州大学附属図書館研究開発室では、平成8年度の設置当初から、電子図書館システムの研究開発に取り組んできました。この取り組みの一環として、平成10年度に目録カード画像検索システムの開発を始めました。当時は図書の遡及入力に長い時間がかかることが見込まれており、全蔵書の電子的検索を早期に実現することを目的としました。

最初は対象とする目録カードを絞り、カード

の画像データを蓄積し、Web上での検索・表示のためのプロトタイプシステムを作成しました。高速イメージスキャナを用いて、1日に1万件以上を処理し、かかる費用も1枚約10円程度と、短期間かつ低コストでの作業が実現できました。

その後システム改善を重ね、平成13年度および平成15年度の科学研究費により、全学に範囲を広げたカードの画像化およびシステム整備を実施し、平成16年3月、本公開に至りました。

さらに平成16年9月の大幅なリニューアルにより、カードボックスの仕切り名によるキーワード検索が可能になりました。画面上部の検索窓にキーワードを入力して検索ボタンを押すと、カードボックスのリンクをたどることなく直接目的のカードにたどり着くことができます。

また、図3のように引き出しのどの部分をサムネイル表示しているのかを赤いバーで示すことで、引き出しの中身のナビゲーションを実現しました。

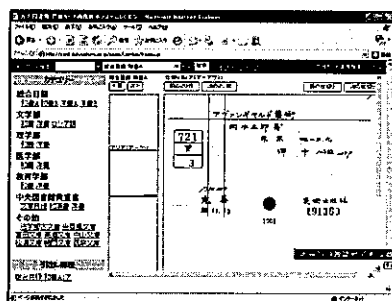


図3 引出し内部表示画面

#### 4. 他機関への導入

目録カード画像検索システムは、現在福井大学と桐朋学園大学に導入されています。福井大学では古い資料の検索用として、桐朋学園大学では音楽学部附属図書館所蔵のLPレコードの検索用に利用されています。

低コストであること、カードボックス撤去による閲覧スペース拡大が図れること、その図書館に合わせた運用が可能であることなどを評価していただいております。

システム導入の際には、以下のとおり用意すべきファイルがあります。

ひとつは画像ファイルです。1枚のカードに対して、2種類の画像が必要です。

##### 【拡大表示用画像】

ファイル形式：2値のPNG形式又はJPEG形

式

画像解像度：幅約1,440ピクセル×高さ約850ピクセル

1枚あたりの容量：約1KB～20KB

##### 【サムネイル画像】

上記画像ファイルの一枚あたりを幅と高さ約3分の1に縮小したPNGファイル。容量は20枚の合計サイズが150KB程度に収まるようにする。

次に、カードボックスの名称、連番、(仕切りカード)見出し語、(仕切り内)カード枚数、画像データが格納されているディレクトリ名などの情報を記述した設定ファイル(図4～6)を用意する必要があります。設定ファイルの文字コードはUnicodeです。

九州大学では、以下の環境で動作を確認しております。

OS：SunOS 5.7

perl：v.5.8.4

詳細については、下記担当窓口へお問合せください。

##### 【担当窓口】

九州大学附属図書館

コンテンツ整備課電子化係

E-mail：db@lib.kyushu-u.ac.jp

#### 5. おわりに

平成17年度に、システム導入大学および学内利用者に対してアンケートを実施しました。

目録カードをインターネットで検索できる便利さは一定の評価を得ましたが、スクロールバーが2本表示されてわかりづらい等、画面表示の改善を要望する意見が複数寄せられました。より使いやすいインターフェースを考えるのが今後の課題です。

また、システム管理を支援する機能を組み込んだり、貴重図書の本文画像とリンク付けするなど、機能の拡張が実現できれば、単なる遡及入力の手補完ではなく、図書館サービスの発展につながることを期待されます。

このシステムを九州大学で実装することができたのは、附属図書館研究開発室の竹田正幸先生(システム情報科学研究院教授)、南俊朗先生(九州情報大学教授)、喜田拓也先生(現・北海道大学助教授)の多大なご尽力によ

るものです。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

【設定ファイル】

```
#総合目録
和書 A sougou_wasyo_A sougou/wasyo/A
和書 B sougou_wasyo_B sougou/wasyo/B
洋書 A sougou_yousho_A sougou/yousho/A
洋書 B sougou_yousho_B sougou/yousho/B
%%
#文学部
和書 bungaku_wasyo bungaku/wasyo
洋書 bungaku_yousho bungaku/yousho
ロシア語 bungaku_rusia bungaku/russian
%%
#理学部
和書 rigaku_wasyo rigaku/wasyo
洋書 rigaku_yousho rigaku/yousho
%%
#医学部
和書 igaku_wasyo igaku/wasyo
洋書 igaku_yousho igaku/yousho
%%
```

図4 category.iniファイル

(各分野・種別のデータ管理をするファイル)

```
%%
#001a 0 ア
001a 1432 ア (アーアサ):
002ajia 502 アジア (アーク):
%%
#002a 0 ア
001ajia 1040 アジア (ケイケイザイタ):
002ajia 512 アジア (ケイザイチャーコ):
%%
#003a 0 ア
001ajia 420 アジア (サート):
002ajia 664 アジア (ナーノ):
003ajia 384 アジア (ハーレ):
004a 684 ア (アシアート):
%%
#004a 0 ア
001a 896 ア (アナアメ):
002amerika 608 アメリカ (アーク):
003amerika 460 アメリカ (ケーサ):
```

図5 info.iniファイル

(各引き出し内の仕切り名、表示する画像枚数を管理するファイル)

```
%%
#ア
001a ア
002a ア
003a ア
004a ア
005a ア

006a ア
007a ア
008a ア
009a-ae アーアエ
010ao-akita アオーアキタ

011akitsu-asashi アキツアサシ
012asata-ashi アサターアシ
013asu-atarashiiso アスアタラシイソ

... (中略)...

066oki-oko オキーオコ
067osa-owa オサーオワ
068on オン
%%
#カ
069ka カ
070ka カ
071ka カ
```

図6 gjon.iniファイル

(引き出しの名の表示順を管理するファイル)

[参考文献]

1. 南俊朗、栗田英和、有川節夫：イメージによる図書目録カード検索システム—遡及入力問題の一解決法—、デジタル図書館、No. 18、2000
2. 喜田拓也、南俊朗：図書目録カード画像検索システムの改善—扱いやすく柔軟なインタフェースへの移行—、電子情報通信学会技術研究報告、DE、データ工学、105(172)、2005
3. 喜田拓也、南俊朗：テキストファイルによる図書目録画像データベースの構築と管理、日本データベース学会Letters、Vol. 4、No. 2、2005
4. 小野真由美：目録カード検索システムリニューアルについて、九州大学附属図書館図書館情報、Vol. 41、No. 3、2006

たなか ゆきこ  
(九州大学附属図書館)



日 時：平成18年11月13日(月)  
14時～16時30分  
会 場：活水女子大学大チャペル  
対 象：市民、大学・公共図書館関係者  
参加費：無料  
主 催：長崎県大学図書館協議会  
後 援：長崎県公共図書館等協議会

#### 4) 個別開催

共同イベントの他に、各館で可能な範囲の展示会等を開催する。数館による共同開催や、各館が従来から行っている特別事業の時期を「長崎県大学図書館週間（仮称）」にあわせる等、各館が出来る範囲で参加のために取り組む。個別開催は、各館の方針に基づき、内容を今後検討していく。

#### 5) スケジュール

～8月 個別開催の企画募集  
9月 合同ポスター制作・配布  
10月 広報  
読書週間（10月27日～11月9日）を中心にイベント開催  
11月 13日(月)シンポジウム開催

以上の他に、合同イベント開催経費20万円を予算計上すること、実際の準備作業は研修企画委員会が中心になって行うことが了承された。

### 3. 貴重資料合同展示会

テーマ：大学から地域へ

—図書館資料の開放—

期 間：2006年10月12日(木)～14日(土)

会 場：アルカスSASEBO交流スクエア

#### 1) 企画・立案

総会にて共同イベントの開催が議決されたものの、個別開催については、各館で展示会等を開催しても、それほどの集客は見込めないこともあり、7月末の段階で共同での催し物を模索していたところ、アルカスSASEBO（JR佐世保駅に隣接）の交流スクエアという場所（1階フロアのロビー兼南北の入り口を結ぶ通路）が無料で借りられ

ることがわかり、上記日程で会場を押さえた。ここでは、書道・絵画・華道などの展示会がよく開催されており、公共性が高く人通りも多く、好立地好条件として申し分ない場所である。当初予定の「文字・活字文化の日」や「読書週間」より1ヶ月ほど前であり、準備期間も2ヶ月足らずと厳しい状況であったが、研修企画委員会では、開催の方向で進めることを決定し、予算15万円以内で企画・立案して、加盟各館に出展参加を呼びかけることにした。

#### 2) 計画時の留意点

- ① 何かをやることで県内大学図書館をアピールする
- ② お金をかけず、時間をかけずできることをやる
- ③ 出来るだけ多くの人に参加してもらう

平成18年度の総会で承認された共同開催イベントとして、県北の佐世保にあるアルカスSASEBOという好立地・好条件の場所を借りての貴重資料合同展示会を企画した。

その理由としては、

- ・限られた予算の中で行わなければならないこと
  - ・各館での催し物を開催しても、一般市民がそれぞれの図書館に足を向ける可能性はあまり高くないであろうこと
  - ・なるべく多くの館がイベントに参加できる環境を用意できないかと考えたこと
- があり、アルカスSASEBOの交流スクエアで開催すれば、
- ・展示会場を無料で借りられる
  - ・展示用具等の設備が整っている
  - ・佐世保駅に近く、人通りが多い
  - ・会場が広く、多館の参加が可能であったからである。

#### 3) 参加募集

以下の「参加募集要項」によって行った。

##### 【参加募集要項】

出展時間：10時～17時（アルカス開館時間は9：00～22：00）

開催期間：2006年10月12日(木)～14日(土)

開催場所：アルカスSASEBO交流スクエア  
(広さ 8 m×27m=216㎡)

会場費：無料

開催内容：各図書館の紹介や所蔵書(品)  
等の展示を基本路線とします。

- ・古書、貴重書、稀覯書、コレクションの展示
- ・パネル展示
- ・ポスターの展示
- ・館内施設でのビデオ放映(図書館紹介や図書館活動の紹介ビデオなど)
- ・朗読

開催要綱：

- ① 予算の範囲内で展示ケース、椅子、机を借りる予定です。展示ケースの大きさは150cm×60cm×90cmでケースの中は高さ30cm
- ② 貴重書等は展示ケースにての展示を予定していますが、予算の関係で台数に限りがありますから、出展点数が多い場合は点数を制限する必要があります。
- ③ 出展物は開催日当日に現品を持ち込むか、ダンボールに入る程度のものであれば、国際大図書館に前日までに届くように郵送して下さい。(往復の送料は各館負担)
- ④ 国際大に郵送された時の展示場所は当日の担当者の判断で決定させていただきます。
- ⑤ 展示する場合は、出版物であれば、A4サイズに書誌事項のほか簡単な説明文書(出展校名も明記)を添えて下さい。
- ⑥ パネルやポスターは備え付けのスライディングボードやポスターボードを利用できます。
- ⑦ ビデオ放映はパソコン以外の映像機器から出力されるもの(VHSやDVD)をご用意ください。(パソコンからだとは出力できない可能性あり)
- ⑧ 朗読を希望する場合は予め日時をご連絡下さい。また、会場で用意された椅子をご利用下さい。

⑨ 図書館案内(ガイド)等あれば、机上に置いて持ち帰り自由ということでの配布は可能です。

※注意点：

- ① 会場の借用目的に反するため、大学の宣伝、入試募集に関する資料の配布は不可です。
- ② アルカス佐世保開館時間外(22:00～翌朝9:00)は館内警備員がいますが、開館中は自主管理をしなければなりませんので、その辺を思料の上、出展をご検討下さい。
- ③ インターネットは接続環境を整えるための費用が掛かるため、利用不可です。

参加募集の結果、9大学からの参加表明があり、合同展示会が可能となった。具体的な準備・スケジュール・予算等は研修企画委員会で検討を進めた。

#### 4) ポスターの作成

本稿冒頭のポスター2点は、経費節約のため、9月末に同時に作成した。加盟各館へ配布するとともに、長崎県公共図書館等協議会を通じ、公共図書館等への配布を依頼した。

#### 5) マスコミ各社への対応

開催日の前週、佐世保地区にあるマスコミ各社を訪問し、「今回のイベントは長崎県大学図書館協議会としては初めての試みであること。協議会主催の合同イベントで各大学が所蔵している貴重資料や開架されていない普段見ることの出来ない資料の公開は全国的にも珍しいはず」と、今回のイベントの記事掲載と取材を依頼した。訪問先は長崎新聞、西日本新聞、NHK、KTN、NBC、NCC、NIB、テレビ佐世保(ケーブルテレビ)。記事掲載は西日本新聞(10月4日)、長崎新聞(10月12日)。当日取材はNHK、KTN、テレビ佐世保。放送はNHK(10月13日お昼のニュース長崎版)、KTN(10月13日午前お昼のニュース)、テレビ佐世保(10月13日午後7時から4時間おきに6回放送)

## 6) 参加館と展示内容

| 図 書 館 名                             | 展 示 内 容  |
|-------------------------------------|--|
| 長崎県立大学図書情報センター                      | 18世紀、19世紀ロンドンの街路景観<br>18世紀ロンドンの営業記録                          |
| 長崎国際大学図書館                           | 驚異の書ーマルコポーロ東方見聞録ー<br>松浦鎮信流茶道関係資料（鎮信公直筆の巻物）                   |
| 長崎短期大学図書館                           | 松浦鎮信流茶道具及び関連資料   |
| 活水女子大学図書館                           | 聖書、賛美歌、楽譜、オルガン関係洋書、<br>モーツァルト関係洋書、古地図、古版画、<br>ビデオ上映、ステレオ写真体験 |
| 長崎総合科学大学附属図書館                       | 雑誌のなかの帆船ー海洋絵画集ー  |
| 長崎外国語大学・長崎外国語短期大学<br>マルチメディア・ライブラリー | 欽定英訳聖書、彩絵本中国民間故事   |
| 長崎ウエスレヤン大学附属図書館                     | 点訳聖書、宮沢賢治童話朗読会、<br>図書館ドラマDVD上映                               |
| 玉木女子短期大学図書館                         | 日本の女子宮廷服ー実物写真と構成技法ー  |
| 長崎大学附属図書館                           | 幕末・明治期の日本古写真ー文明開化の諸相ー  |

## 7) 合同展示会の成果

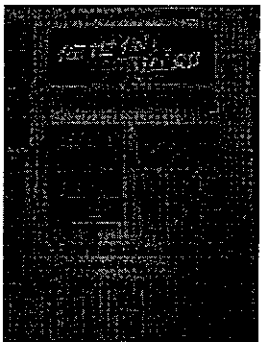
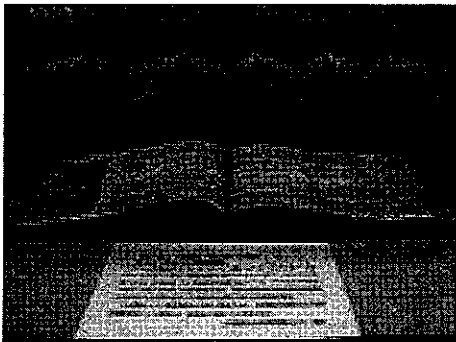
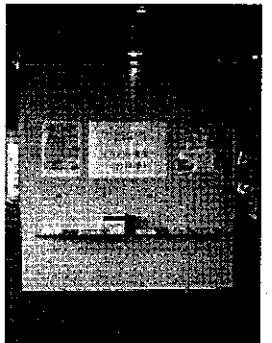
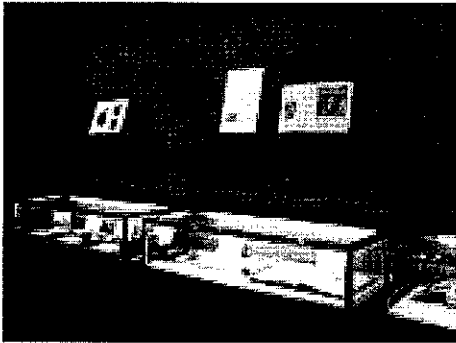
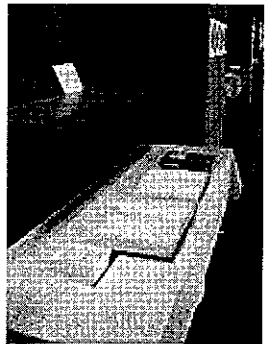
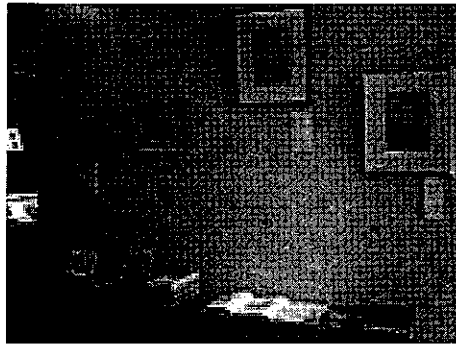
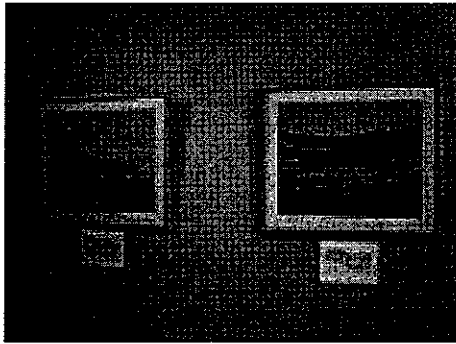
3日間の館内入場者は約1,600人を数え、多くの方にご覧頂けた。敷居が高いと言われる大学図書館の情報公開・地域への開放という意味でも意義深いものであった。展示物はそれぞれの大学の特色を活かした内容であり、ご覧になった一般市民の方の理解も十分に得られたと思う。アンケートでは、大学図書館を利用した経験がないと答

えている人が60%近くいる中で、逆に76%の人がこれからは利用したいと答えている等、かなりの反響があった。また、「こんな貴重な資料は初めて見た」、「このような展示会をもっとやって欲しい」との要望も寄せられた。こうした活動を一過性のもので終わらせることなく、継続性を持って発展させることが必要であると認識を新たにした。

## 【会場風景・展示風景・長崎新聞記事】







(詳細参照) <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/kendai/topics/20061011/arkas.htm>

#### 4. シンポジウム

テーマ：図書館にくつろぎの空間をつくる

日 時：2006年11月13日(月)

14：00～16：30

会 場：活水女子大学大チャペル

佐世保地区での「長崎県大学図書館協議会貴重資料合同展示会」につづき、長崎地区でのシンポジウムを行った。

##### 1) 開会：代表幹事館挨拶

長崎大学附属図書館長 岡林隆敏氏  
インターネットの普及など、取り巻く状況の著しい変化に伴い、大学図書館はどういう場所を提供していかなければならないのか。図書館の空間をもう一度見直し、公

共図書館がこれまで行ってきたことを参考にしながら、どういう空間を要求されているのか我々は探っていかなければならない。

##### 2) パイプオルガン演奏

活水女子大学音楽学部助教授 堀江光一氏  
演奏者の簡単なプロフィール紹介があり、その後、演奏に移った。

「荒城の月」、「星の界」、バッハの「小フーガ」、小田和正の「ラブ・ストーリーは突然に」、「琵琶湖周航歌」の順に演奏され、会場は熱気と荘厳な雰囲気包まれた。

最後の曲目「琵琶湖周航歌」は、滋賀県より来られた基調講演の講師、渡部幹雄氏を歓迎する意味で演奏されたことが司会進行役より補足説明された後、基調講演に移

った。

### 3) 基調講演

演題：図書館にくつろぎの空間をつくる  
一人でも多くの来訪を願って

講師：渡部幹雄氏（滋賀県愛荘町立愛知川  
図書館長）

#### 講演要旨

利用者は、愛知川図書館では次に述べる  
ようなさまざまな工夫により、むかし勤務  
していた長崎県北高来郡森山町にある森山  
図書館時代のおよそ2倍は伸びている。

手書きの掲示や島を作り特集を組む、ス  
ーパーのカーツの利用（冊数無制限のため）や図書館の入り口を多く設けるとい  
った「利用促進の工夫」。子どもが自分で利  
用できるような図書コーナーを設けるなど  
の「安全性の追求」。子どもが声を出して  
遊べるような階段のコーナー、ホテルのよ  
うなラウンジコーナー、わざと机を不規則  
に並べるなど、くつろいだ雰囲気を出す  
「快適性の追求」。その他、町内の飲食  
店の折り込みチラシを集めて利用者に提供  
するといった「地域貢献の追求」。館外の  
景色にもこだわりベンチを設け、本を読む  
のに飽きたらゆっくりくつろぐ空間を提供  
するなどの「満足度の追求」。利用率の低  
い高齢者を図書館に呼び込むために、冊子  
物（「学び舎（や）のおもひで」）を作成す  
るなどの「組織活性化の追求」。その他、  
地域の「古写真の収集」や「古写真の発  
見」なども行っている。

図書館のサービスはホテルのサービスと  
似ている。出すぎず、それでいてしっかり  
サポートする。それが大切なのである。

また、図書館は屋根のある「公園」であ  
る。そこでは、さまざまな活動が可能であ  
り、さまざまな広がりを持っているのであ  
る。

### 4) パネルディスカッション

コーディネーター

佐藤快信氏（長崎ウエスレヤン大学現代  
社会学部教授）

### パネリスト

講 師 渡部幹雄氏（滋賀県愛荘町  
立愛知川図書館長）

市 民 尾崎寿美氏（夢いっぱい！  
としよかん塾）

公共図書館 田浦知子氏（長崎県立長崎  
図書館）

大学図書館 植松久子氏（長崎ウエスレ  
ヤン大学附属図書館）

#### 発言要旨

植松；長崎ウエスレヤン大学附属図書館  
は、2002年に開始以来、年に1回  
「やすらぎコンサート」としてジ  
ャズコンサートを催している。ま  
た諫早市立図書館と連携して、市  
立図書館で借りた本を本館に返却  
できるサービスも行っている。こ  
うしたサービスを通してヒントに  
なることがあったので、このまま  
継続していければと思っている。

田浦；大学図書館は専門性を持った、大  
学図書館らしい存在であってほし  
い。そのサービスの中で、あらゆる  
知識に対応していくことができ  
れば、ベストであろう。例えば、  
音楽の楽譜に関して我々は桐朋学  
園大学（音楽学部）の附属図書  
館を利用させてもらっているが、そ  
こでは「この楽譜もいいが、こ  
ういった資料もありますよ。」とい  
った形での援助がある。公立図書  
館ではどうしても知識が浅く広  
くながちなので、大学図書館は専  
門的な部分に長けた図書館であ  
ってほしい。

尾崎；長崎は国立・公立・私立と大学が  
充実している。自分の家に近い大  
学図書館を自由に市民が利用す  
ることができるになれば、市民  
の満足度も上がるのではないか。  
その時、閲覧だけでなく貸出もし  
てほしい。もちろん、大学図書館  
の資料は学生や教員のためのもの  
であるので、無制限に利用できな  
くてもよい。ただ、そのことで敷

居の高かった大学図書館が、身近に感じられるようになるのではないかと。

植松；本学も図書館を市民に開放しているが、1つのテーマについて質問してくる学生と違い、市民の場合は聞きたいことを幅広く聞いてくる。そのため、職員の方も知識の引き出しを多く用意する必要がある。

佐藤；結論的な部分は出し切れないが、地域開放については公共図書館との連携が必要になってくる。そのことにより、公共図書館・大学図書館が、市民のニーズに対応できるようになるだろう。

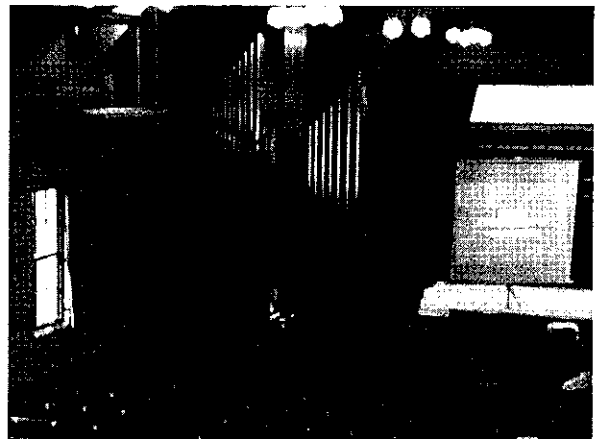
以上のように、専門性の高い資料をそろえ公共図書館を支援する必要性が訴えられる一方、公共図書館との連携の上に市民を受入れ更に発展していく大学図書館の方向性が示された。

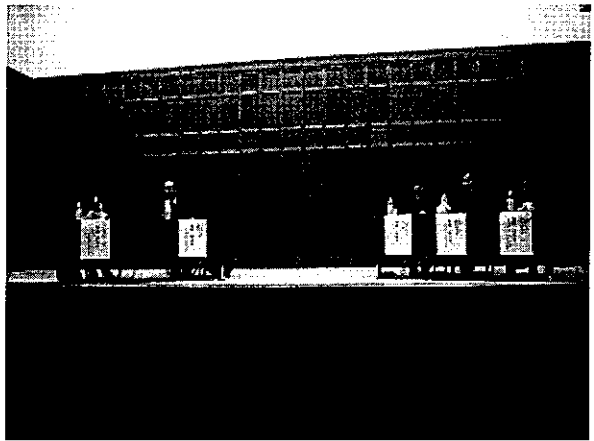
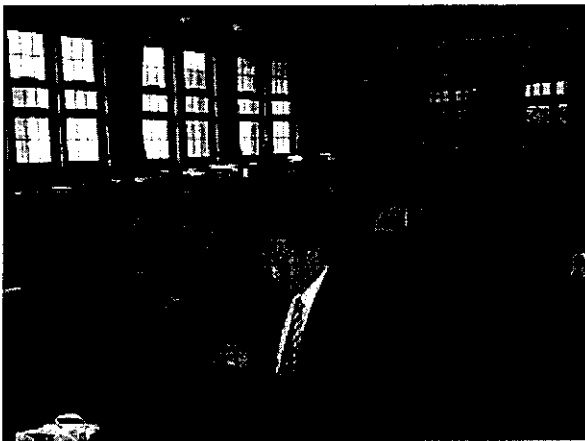
## 5) 閉会：会場挨拶

活水女子大学図書館長 宮崎隆広氏  
図書館のサービスは、設備や備品といった物質的な面を充実させることはもちろんであるが、同時にそのサービスの主体は人間である。我々はそのことに立ち返らなければならない。

当日の参加者は100名を若干越えた。パイプオルガン演奏、基調講演、パネルディスカッションと盛りだくさんの内容であったが、来場者は最後まで席を立つことなく、アンケートにも好評な回答が寄せられた。長崎県大学図書館協議会として初めて開催したシンポジウムは、たいへん実りある会になったと思っている。なお、合同展示会の時と同様、前週に長崎市内のマスコミ各社を訪問し、シンポジウムの趣旨と概要を説明した。その結果、長崎新聞、西日本新聞、毎日新聞、朝日新聞の4社で事前の新聞報道があり、当日の開催記事が翌11月14日(火)の長崎新聞に掲載された。

【活水女子大学と大チャペル内会場風景】





(詳細参照) <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/kendai/topics/20061011/kwassui.htm>

## 5. 個別開催イベント

10月23日(月)から11月29日(水)にかけて、  
協議会加盟13館のうち7館が、一般市民を対

象に展示会・講演会・お話しの会・朗読会等  
を開催した。

### 【開催館と開催内容】

| 開催期間                          | 開催館名             | 開催内容  |
|-------------------------------|------------------|---|
| 10/23(月)～10/27(金)             | 長崎女子短期大学図書館      | 「知れば差がつくコ・ト・バ」展                             |
| 10/27(金)～11/9(木)              | 長崎純心大学早坂記念図書館    | 「42行聖書と降誕祭絵本」展                              |
| 10/29(日)                      | 県立長崎シーボルト大学附属図書館 | 「図書館にくつろぎの空間を」<br>マンドリン演奏、お話しの会、古本市         |
| 11/1(水)                       | 長崎大学附属図書館        | 「鳥瞰写真と地図で見る幕末・明治の長崎」展                       |
| 11/8(水)                       | 長崎県立大学図書情報センター   | 「虫の目が見た世界」<br>栗林慧氏(昆虫写真家)講演会                |
| 11/12(日)<br>11/14(火)～11/17(金) | 佐世保工業高等専門学校図書館   | 「みんな あるはず Surprise & Discover」展             |
| 11/18(土)                      | 長崎ウエスレヤン大学附属図書館  | 「おはなしの空間」<br>島田啓子氏(NIBアナウンサー)による<br>詩・絵本の朗読 |
| 11/29(水)                      | 長崎県立大学図書情報センター   | 「モダン都市の世界」<br>谷澤毅氏(長崎県立大学助教授)講演会            |

## 6. おわりに

今回は、長崎県大学図書館協議会として初めての試みであったが、最初から予定されていたシンポジウムの他に、合同展示会に9館が参加し、個別イベントを7館が開催するという豊富な内容となったことで、加盟13館が何らかの形で参加するという当初の目標を達成することができた。各館がそれぞれに企画を持ち寄って参加したことは、特に意義深いと思われる。開催に至るまでの手続きや連絡に不行き届きがあったことは否めないが、短期間にも拘わらず各館の力を結集し、成功裡に終らせることができた。今回のイベントが今後における同様イベントの礎となることに疑いはない。

また、マスコミ各社の反応が良好であったことも明記しておきたい。図書館は公開事業によって大学の評価向上に貢献することができる。図書館は大学の顔になりうると各大学内で認知されるように今後も努力を続けたい。

最後に、本協議会による合同イベントの開催が、九州地区各県の大学図書館協議会にとって、多少とも参考になれば幸いである。

### (文責)

|               |      |
|---------------|------|
| 長崎国際大学図書館     | 飯島芳典 |
| 長崎大学附属図書館     | 下田研一 |
| 長崎総合科学大学附属図書館 | 伴 卓士 |
| 活水女子大学図書館     | 森 茂樹 |

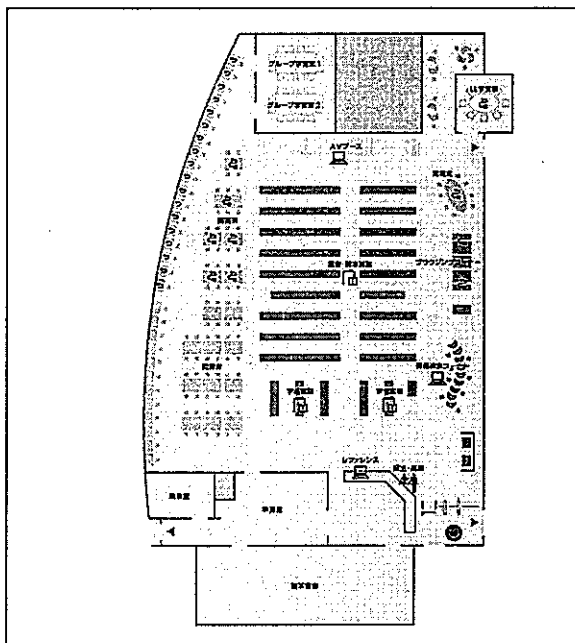
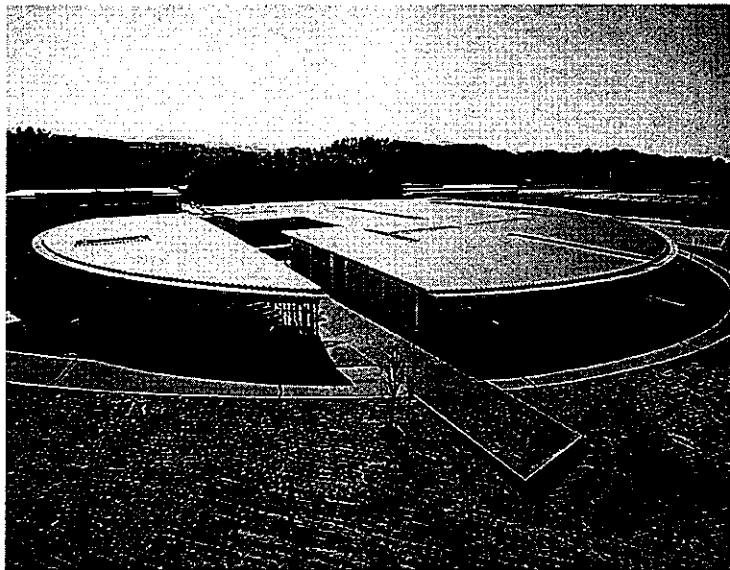
## 図書館紹介

### 【熊本保健科学大学附属図書館】

平成18年度新規加盟させていただきました熊本保健科学大学附属図書館と申します。同法人（学校法人銀杏学園）の銀杏学園短期大学は、平成17年度に閉学しました。長年にわたり、大変お世話になり、ありがとうございました。今後は、熊本保健科学大学として、どうぞよろしくお願いいたします。

熊本保健科学大学は、平成15年4月に開学し、平成18年度が完成年度となります。大学の学部構成は、保健科学部 衛生技術学科、看護学科

の1学部2学科で、平成19年度より、リハビリテーション学科、助産別科が、開設されます。キャンパスは、熊本市の北部（JR鹿児島本線西里駅近く）、田園風景の中に浮かぶ直径132mの白い円形の建物で、2003年度グッドデザイン賞を受賞しました。現在は、新たな学舎を建設中で、残念ながら、JR側から丸い学舎を見ることは出来ません。図書館は、円形の南側の部分です。中央のメディアストリート側の壁は、一面ガラス窓で、光が差し込み、明るく温もりのある図書館です。

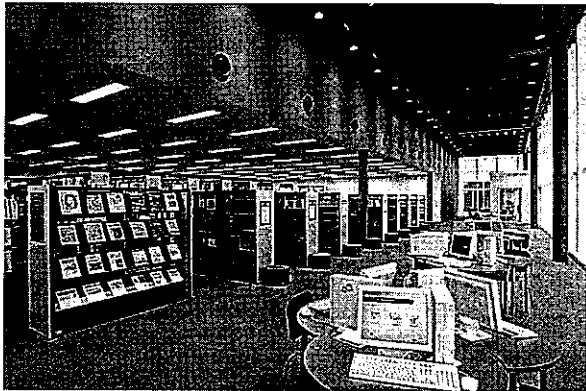


### 施設設備

- ・面積：1,093㎡
- ・閲覧席：115席
- ・蔵書冊数：32,115冊  
製本雑誌：7,828冊
- ・継続雑誌数：183誌（紀要除）  
（2007年から50誌増）
- ・情報検索コーナー：PC 8台
- ・AVブース：6ブース12席
- ・LL学習室：PC 4台
- ・グループ学習室：2室
- ・情報コンセント付閲覧席：50席
- ・入館管理システム（ICカード使用）
- ・BDSシステム

図書館は、縦に3つのゾーンに分かれ、入り口から、メディアストリートに沿って、情報検索メディアゾーン、中央が書架ゾーン、そして閲覧席ゾーンと縦長に配置しています。

入館システムには、IC読み装置を取り入れています。学生証・職員証は、ICを内蔵しており、カードをかざすと扉が開く、非接触型のシステムです。一般の方の入館には、ICカードを当日のみ貸出し、入館していただいています。

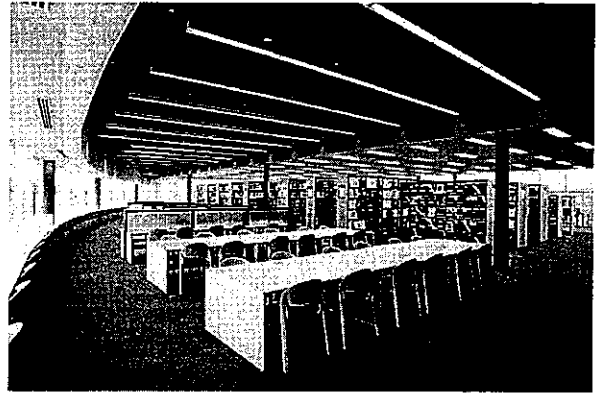


入ってすぐの情報検索メディアゾーンは、手前から情報検索コーナー、パソコンを8台設置。検索データベースは、OPACのほか、医学中央雑誌、CINAHL、新聞記事データベース等を導入。そして、その奥には、LL学習室としてパソコン4台を設置。こちらは、語学学習システムを取り入れていますので、音声は漏れないようにガラスの壁で仕切られ、英会話の学習ができるようになっています。

入ってすぐ左手にメインカウンター、その横にレファレンスカウンターを設置しています。その前には、参考図書コーナー。事典辞書類のほか、看護の二次資料「最新看護索引」（1987年～）「日本看護関係文献集」（1974年～）を揃えています。

JR側の閲覧席ゾーンには、閲覧席が並び、情報コンセントが付いています。また、グループ学習室も2室、こちらも情報コンセント、視聴覚設備を備えています。

図書館の中央の書架ゾーンには、一般書架と製本架との列に分け書架を配置。書架には高低差があり、入り口側を低くし、圧迫感を感じさせないようにしています。図書資料は、医療系専門書を中心に収集。（平成19年度学科増設に伴い、図書、雑誌、視聴覚資料とも増加予定。）



そして視聴覚コーナーとして、6つのAVブース、同時に2名の視聴が可能。視聴覚資料は医療系を中心に約600タイトル。

また、カウンターの内側に事務室、館長室、閉架書庫があります。閉架書庫は、移動式の書架を使っています。

スタッフは、正職員が1名、臨時職員が2名。

開館時間は、月～金：9：00～20：00 土：10：00～17：00

学外者の利用は、閲覧複写のみ。卒業生には、貸出も行なっています。近隣の医療関係者の方々にもご利用いただいております。特に看護師の方々には、院内研究のための文献検索にご利用いただいております。

利用教育としては、新入学時の図書館ガイダンスの他、文献検索ガイダンス（小グループ制）を行なっています。19年度より、学生数も増えるため、内容、実施方法等、検討中です。

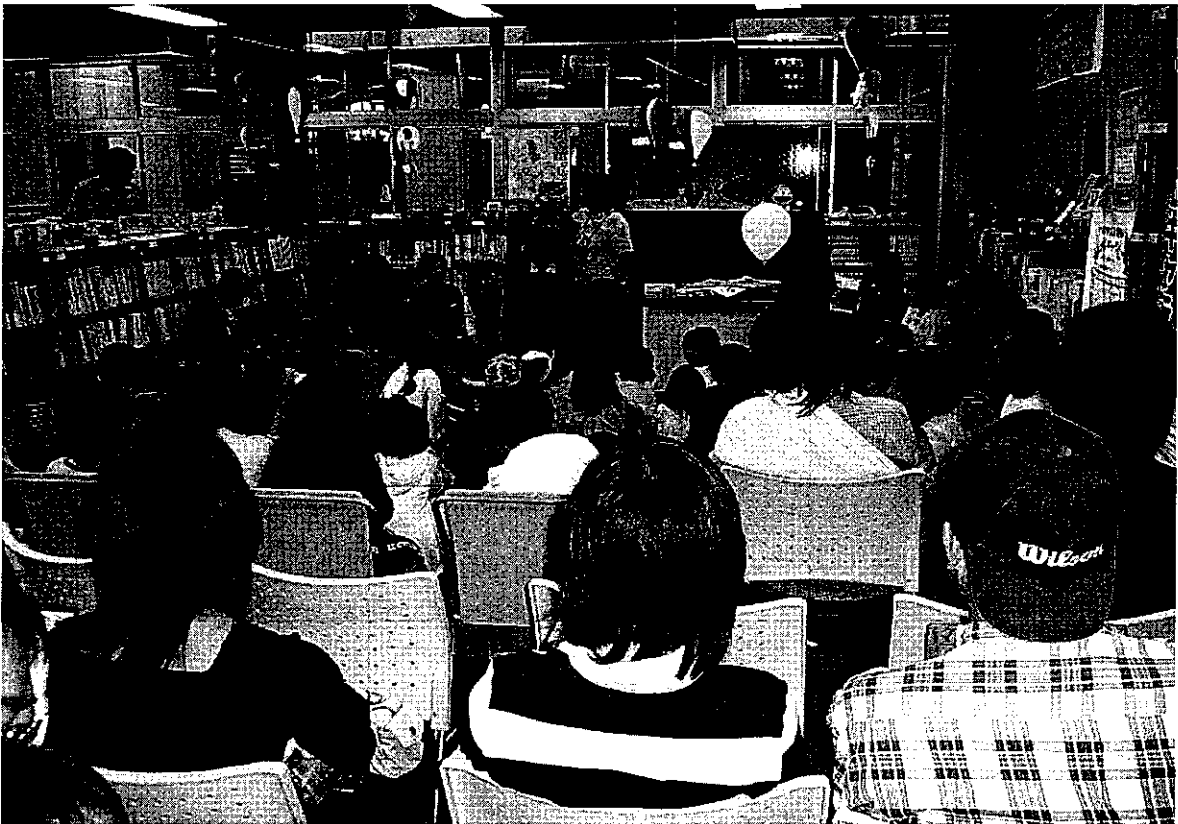
今年度完成年度を迎え、大学図書館として歩みはじめたばかりです。短期大学時代同様、どうぞよろしくお願いいたします。

## 【大分大学附属図書館】

### 2006大学開放イベント（附属図書館関係）の実施

大分大学附属図書館では、11月5日（日）に開催された大学開放イベントに、今年度は「こども劇場」と銘打って、午前部の本学教育福祉科学部の学生の協力を得て、来場した子どもたちを対象に「絵本の読み聞かせ」や会話をしながらの「粘土遊び」・「折り紙の作成」を行いました。また、午後部では、由布市立図書館協会の「おはなしキャラバン隊」による「腹話術」、「人形劇」、「ミニミニ劇」、「エプロ

ンシアター」など盛りだくさんの内容を実演しました。当日は、天候にも恵まれ、例年の1.5倍近い延べ1,165人の方の入館者数がありました。特に、「おはなしキャラバン隊」による実演が始まる際には、1階児童図書コーナーとその周辺には子ども達や保護者の方達で溢れ、多数の立見が出るほどの盛況となりました。また、玄関では、去年に続き今後利用されないだろうと判断され、廃棄手続きの済んだ25タイトルの一般雑誌427冊を終日無償で配布しました。



児童図書コーナーで開催された「こども劇場」の様子

## 【鹿児島大学附属図書館】

### 1. 夏休み子ども見学デーを開催

各府省庁等の「子ども夏休み見学デー」に呼応して、「夏休み子ども見学デー：大学図書館ってどんなところ？」を8月23日に開催した。大

学図書館で親子が一緒になって「夏休みの自由研究や体験学習」の機会にってもらう目的で企画した結果、小学生と保護者を単位とする14グループ37名の参加があった。



第1ステージの館内見学では、大量の専門図書や国内外の学術雑誌、江戸時代の「古文書」を見学し、第2ステージの図書館体験スタンプラリーでは、鹿児島県の歴史や文化の問題、図書や雑誌を使って解く問題、パソコンを使って図書館の本を探す問題等に図書館職員の助言を受けながらチャレンジした。問題を解いたグループは、スタンプをもらってパスポートに貼ることができ、次々に問題に挑戦するグループなどもあって、大変盛況であった。

最後に、夏休み子ども見学デーの全コースを修了したことを証して、早川附属図書館長から子ども全員に修了証書が手渡された。

## 2. 東ローマ帝国の農業書『ゲオーポニカ (Geoponica)』を発見

本学農学部的前身である鹿児島高等農林学校の蔵書を整理中に、10世紀東ローマ帝国の農業書「ゲオーポニカ」の再版本を発見した。本学教育学部伊藤正教授（西洋史）に鑑定を依頼したところ、きわめて稀少な資料であることが判明した。

同書は、10世紀に東ローマ帝国の皇帝コンスタンティノス七世の命で編纂されたものであり、気象、農事暦、ブドウやオリーブの栽培法、ワインの製造法、養蜂、牧畜等について記されている。今回発見した版は、1781年にドイツのラ

## 【鹿屋体育大学】

### 1. 日曜開館の実施

平成18年度後期から授業期間中の日曜日限り、13時から17時まで開館することにした。ただし休業期間中の日曜日、祝日等は従来のとおり休館となっている。

### 2. 附属図書館ホームページのリニューアル

附属図書館では電子図書館的機能の強化のため、ホームページのデザインを変更した。従来のホームページではトップページに占めるリン

クスの割合が少ないため、トップページから利用者にとって必要なページへの移動がうまくいかないケースがあった。そのためトップページをリンク中心のレイアウトに変更し、電子ジャーナル、データベース等のポータルサイトとしての利便性を高めた。

また来館者向けサービス向上のため今回新たに、図書館概要、アクセス、案内図などのページを追加し、トップページには開館カレンダーを追加した。

### 3. 貴重書展示会・記念講演会を開催

鹿児島大学附属図書館では、10月18日から22日まで中央図書館において、11月17日から19日まで指宿市考古博物館（時遊館COCCOはしむれ）において貴重書展示会及び記念講演会を開催した。本事業は、平成11年度より毎年、大学公開の一環として薩摩藩玉里島津家の旧蔵書である玉里文庫を公開しているものである。

第8回目となる今回は「描かれた自然－江戸の植物図－」というテーマのもとに、「薩摩の博物学・本草学」「江戸時代の植物図」「江戸のガーデニング」「江戸の農書」「絵画の中の植物図」の5部構成で、植物画の描かれている玉里文庫の書籍や本学総合研究博物館の植物標本写真を展示した。

また、本学農学部的前身である鹿児島高等農林学校の蔵書を整理中に発見した、10世紀東ローマ帝国の農業書「ゲオーポニカ」の再版本（1781年にドイツで刊行）を特別展示した。

また来館者向けサービス向上のため今回新たに、図書館概要、アクセス、案内図などのページを追加し、トップページには開館カレンダーを追加した。

また来館者向けサービス向上のため今回新たに、図書館概要、アクセス、案内図などのページを追加し、トップページには開館カレンダーを追加した。



新ホームページ



旧ホームページ

附属図書館ホームページ <http://www.lib.nifs-k.ac.jp/>

### 【九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学図書館】

『あなたに贈りたい一冊……お薦め本棚』の設置

#### ○設置の経緯

本学は、学生数1,300人ほどの小規模の図書館である。

近年、本学ではレポートや試験などで専門図書は利用するが、それ以外の本は手に取らない学生が増えてきている。これは本学だけの状況ではないようである。

図書館に関するアンケートをとると、「固い本ばかり置いている」「どこに自分が読みたい本があるか分からない」という意見が多々あった。

ただ本を並べるだけでなく、図書館側からの積極的な取り組みも必要ではないかという意見

### 3. Serials Solutionsの導入

附属図書館では現在契約している電子ジャーナルと、無料公開されている主要な電子ジャーナルをより効率的に利用してもらうためにSerials Solutionsを導入した。出版社やデータベースを超えた電子ジャーナル検索が可能となり、本学で利用できる電子ジャーナルの把握が利用者にとって容易になった。

#### 会議開催

今年度は、次のように本学が当番で会議を開催しました。

第36回九州地区国立大学図書館協会総会

平成18年4月20日(木)

開催場所 鹿児島市

第57回九州地区大学図書館協議会総会

平成18年4月21日(金)

開催場所 鹿児島市

平成18年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議

平成18年10月16日(月)、17日(火)

開催場所 鹿屋市

なお、各会議の概要については、本誌「図書館活動報告」と「総会記録」を参照してください。

に達した。

数年前に、短大の研修会でテーマを設けて各図書館独自の本の展示を行ったことがあり、その時割合好評だったので、2年程前から『あなたに贈りたい一冊……お薦め本棚』を設置することにした。

○設置に当たっての留意点及び実施後の感触度実施するに当たって以下の点に留意した。

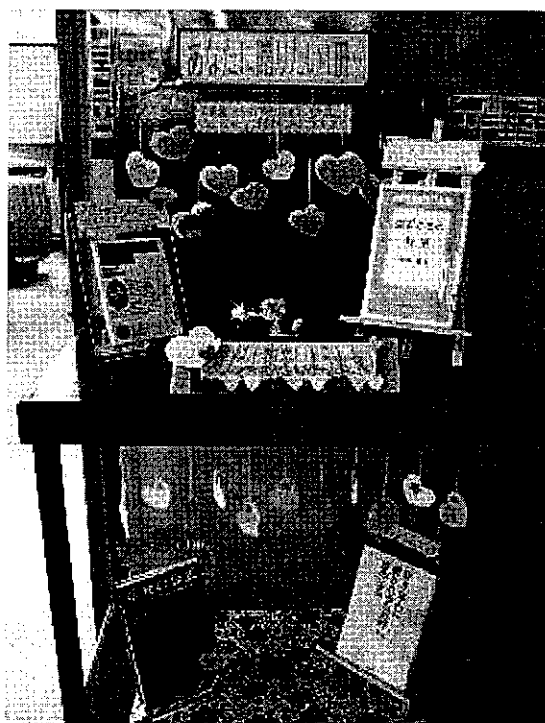
- 一、出来る限り同じテーマを使用しないこと。
- 二、各テーマの展示期間は1ヶ月。
- 三、本学の図書館の特色を出し、時期・流行を考えること。
- 四、ただ推薦の本を並べるだけでなく、短いコメントをつける。

初期の頃は、手探りの状態で、棚も朽ちかけ

た状態のものを修繕し再利用した。テーマは毎月話し合っていて決めるのだが、学生に反応の良いものもあれば、殆ど見向きもされないものもあり、中々難しい。引きつけるテーマ名、コメント内容を工夫はしているが、学生の大半が女性で占められているせいか、やはり「恋愛」だとか「オシャレ」関連のテーマの方が反応よいようである。

何度か実施していくうちに、学生にも参加を呼びかけ、新しい照明器具を備え付け、棚の装飾も目に付くように工夫をするようになった。

徐々に関心度及び貸出率も高くなり、手応えを感じているので、更なる向上を目指したい。



(注：上記写真は、「恋」をテーマにしたときの展示物の一部です。写真では見え難いのですが、ハートマークの中に利用者から「恋」に対するメッセージを書いてもらいました。)

## 【九州大学附属図書館】

### 企画展示会

#### 1. 福岡県図書館協会設立記念展示会「源氏物語—中世から現代まで—」を開催

平成17年3月の福岡県図書館協会の設立を記念して、「源氏物語—中世から現代まで—」を平成18年2月23日から28日までの6日間、アクロス福岡で開催した。

展示内容は昨年5月に本学附属図書館で開催し、好評を博した貴重文物展示「源氏物語の本いろいろ」を基軸にしたもので、九大図書館が所蔵する古い資料（写本や版本、絵巻物など）と福岡県立図書館を中心として公共図書館等が所蔵する新しい資料（現代語訳、マンガ、映画資料など）とに分け、ゆったり鑑賞できるようにレイアウトした。一般的に関心の高い源氏物語関連の展示会ということとマスコミによるPR効果により、約2,000名の入場者を記録した。

また、期間中に開催した漫画家の長谷川法世

氏と今西裕一郎九州大学教授の関連講演会も大盛況であった。

#### 2. 九州大学理系図書館開館記念特別企画展—貴重資料『蒙古襲来絵詞』他一般公開—を開催

平成17年10月にオープンした伊都キャンパスの九州大学理系図書館開館記念として、前原市の伊都国歴史博物館で、九州大学附属図書館が所蔵する「蒙古襲来絵詞」の他「竹とり物語」「伊勢物語」「曾我物語」「中将姫」などの奈良絵本を一般公開した。開催期間は平成18年1月20日から2月19日までで、同博物館におけるこの間の入場者は通常の2倍ほどに増えたとのことで、反響の大きさを感じた。

### 3. 貴重文物展示・附属図書館付設記録資料館 設立記念「記憶と記録―炭鉱（やま）は生きる―」を開催

附属図書館では平成18年5月11日から18日までの8日間、開学記念行事の一環として「記憶と記録―炭鉱（やま）は生きる―」を開催した。この展示会は昨年4月の附属図書館付設記録資料館の設立を記念したもので、同資料館の産業経済資料部門が所蔵する膨大な石炭関係資料の中から生活に密着したものを選び、エネルギー革命で炭鉱閉山が相次いだ厳しい時代を懐かしい記憶として蘇らせた。期間中は350名を超える市民らが訪れ、展示資料に見入っていた。

また、関連講演会では記録資料館の三輪宗弘教授の熱のこもった講演に、100名を超える来場者は熱心に聴講していた。

さらに、山本作兵衛の炭鉱絵画をもとに製作されたドキュメンタリー映画「炭鉱（ヤマ）に生きる」を上映し、大好評であった。

### 4. 「九州大学学術情報リポジトリ」を公開

本学で生産された研究成果物を収集・蓄積・保存し、学内外に発信するシステムである「九州大学学術情報リポジトリ」を、平成18年4月より公開した。これは、国立情報学研究所による最先端学術情報基盤（CSI）構築推進事業の委託を受け、平成17年度に基本となるシステムを構築し、公開するに至ったものである。今年度もCSI事業の委託契約を締結し、コンテンツの拡充に向けた活動を展開するとともに、業績データベースとの連携、学内各種データベースとの統合検索、リンクリゾルバへの対応、研究コミュニティ創出支援等のシステム開発を他大

## 【熊本大学附属図書館】

### 図書館ガイダンスの実施

4月から5月にかけて新入生ガイダンス、基礎セミナーガイダンス「図書館活用法」を実施した。

基礎セミナーガイダンスは、学部1年生の基礎セミナーの一コマを借り、図書館の基本的な利用法の習得を目的とするもので、館内資料の探し方・OPACの使い方などを紹介した。

学等との共同事業として進める計画である。また、本事業の一環として、職員1名をクイーンズランド工科大学（オーストラリア）へ派遣（9月～2月）している。

### 5. 平成18年度国立大学図書館協会電子ジャーナルタスクフォース地区説明会（九州地区）

平成18年8月22日、電子ジャーナルタスクフォース主査である土屋俊氏（千葉大学附属図書館長）及びメンバーである加藤晃一氏（千葉大学情報部）を迎え、電子ジャーナルタスクフォース地区説明会を開催した。九州地区国立大学より実務担当者を中心に24名が出席した。電子ジャーナルに関する基本的な情報を確認した後、これまでの電子ジャーナル契約に関連する状況とタスクフォースの活動概況を踏まえ、今後の活動の展望等について説明があり、質疑応答が行われた。

なお、同日には、学術講演会「リンクリゾルバに見るWeb時代の図書館サービス：きゅうとLinQの評価と展望」も開催され、説明会の出席者を含め35名が参加した。

### 6. その他

- ・目録システム地域講習会を開催  
平成18年6月14～16日
- ・講演会「デジタル時代の知的財産保護と知る権利：アメリカと日本の図書館」  
平成18年8月29日
- ・学術情報セミナー「Web時代の学術情報利用環境を考える」  
平成18年10月6日
- ・ステップアップ研修の開始

### 熊本大学附属図書館南棟・放送大学熊本学習センター竣工記念式典

4月25日熊本大学附属図書館南棟・放送大学熊本学習センターの合築棟竣工記念式典が崎元学長、御手洗放送大学学園理事長ほか多数の来賓を招いて挙行了。

合築棟は地上3階地下1階で延4,200平方メートル。1階及び地下が図書館の閲覧室・書庫となり2階、3階が学習センターとして利用さ

れている。1階閲覧室には、新聞・雑誌コーナーやマイクロ資料コーナー、郷土資料コーナーなどのほか熊本大学の前身である五高の卒業生田中千束氏から寄贈を受けた現代国際政治・社会・経済等の洋書約3,000冊を配架している。

### 水俣病関連資料の公開

平成18年は水俣病が公式に確認されてから50年に当たる。公害病の原点として今日なお未解決の問題を抱えている水俣病をどうとらえ、向き合っていくかが問われている。

熊本大学附属図書館は、平成11年、「熊本大学学術資料調査研究推進室」を設置し、その活動の一つとして水俣病関係学術資料の整理収集を推進してきたが、公式確認50年に当たり、資料の一部をホームページ上に公開した。

<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/suishin/minamata/index.html>

### 永青文庫セミナー開催

7月24日文学部と附属図書館の共催で、一般市民を対象にした永青文庫セミナーを開催した。永青文庫は熊本藩主であった細川家に伝わる資料で、初代細川藤孝（幽齋）以来約300年に及ぶ熊本藩の藩政資料であり、近世史研究上極めて価値の高い資料である。今回のセミナーは熊本大学客員教授川口恭子氏（元図書館専門員）による「手紙から見た細川重賢の交遊」と題する講演。第8代藩主であり、宝暦の改革で窮迫した藩財政を立て直した細川重賢が残した手紙類により、当時一流の文化人でもあった重賢の交遊について紹介したものである。

## 【佐賀大学附属図書館】

### 1. 図書館月間の開催

図書館利用の活性化や一般市民の図書館利用の促進を図る目的で、毎年11月を図書館月間として位置付けし、講演会、公開セミナー、展示会等を行っている。今年度は以下の催しを開催した。

#### (1) 貴重資料展示

大庭雪齋関連資料を展示した。大庭雪齋は、幕末期に、佐賀藩藩医として西洋医学や西洋

### 阿蘇家文書修復完成記念「阿蘇の遺産展」開催

熊本大学附属図書館が所蔵する重要文化財阿蘇家文書は、阿蘇神社の官司阿蘇家に伝来した平安末期から幕末に及ぶ貴重な資料群であり、特に鎌倉期から戦国期を中心とした社会経済史、政治史、宗教史にわたる第一級の中世文書群である。このたびこの阿蘇家文書の18年をかけた修復事業が完成したことを記念し、熊本県立美術館と共催で9月8日から10月22日までの39日間「阿蘇の文化遺産展」を開催した。国立大学と美術館の初めてのコラボレーションであり、全34巻の阿蘇家文書ほか阿蘇地方の文化財が多数展示され、さらに出品資料のすべてを収録し詳細に解説した図録を編集、発行した。

また、会期中には土曜連続セミナーとして、熊本大学教員をはじめとした実行委員会のメンバーによる講演会を行った。

### 熊本県大学図書館協議会実務者研修会の開催

9月11日本館の当番で国立九州博物館修復施設技師長 鈴木裕氏を招き「文化財の修復と保存—装飾師の立場から—」と題した講演を実施した。

### 附属図書館・放送大学熊本学習センター特別講演会の開催

9月24日附属図書館と放送大学熊本学習センター共催の特別講演会「中世の阿蘇は…」を開催した。演題は熊本大学助教授稲葉継陽氏の「阿蘇家文書が語る中世世界」及び放送大学客員教授・熊本大学名誉教授 北野隆氏の「中世の阿蘇神社の建築について」。100名を超える市民が参集し、熱心に聴講した。

自然科学の普及につとめた人物。小城鍋島文庫所蔵資料のうち、『民間格致問答』、『体液究理分離則』、『Ogen Ziekten』、『算字算法基原或問』等を展示した。

#### (2) 文化講演会

・「知遊館への誘い～私のプリコラージュの楽しみ～」

講師：小巻正直（元・富士ゼロックス総合教育研究所・スペースアルファ神戸

所長)

### (3) 公開セミナー

- ・「芭蕉山脈の九州そして佐賀」  
講師：上野信好（元・佐賀市収入役）
- ・「虹の松原～ショウロ（松露）、再び～」  
講師：田中明（佐賀大学海浜台地生物環境  
研究センター）
- ・「小城鍋島文庫大庭雪齋史料について」  
講師：青木歳幸（佐賀大学地域学歴史文化  
研究センター）
- ・「オーケストラよもやま話」  
講師：久原興民（アルモニア管弦楽団主宰  
者）
- ・「映画に魅せられて～もう一度逢いたい！  
～」  
講師：久原正之（鹿島市教育委員会生涯学  
習センター「エーブル館」館長）

### (4) 検索講習会

市民の方々を対象に、インターネットを利

用した情報検索講習会を実施した。

## 2. 読書奨励企画

平成16年度より、読書奨励のための企画を毎年行なっているが、今年度は、以下を企画した。

### (1) 原書を読む会

『ティファニーで朝食を』を原書で読む会」と題し、毎週土曜日に開催（平成18年11月～19年2月予定）。英語専修の大学院生3人をチューターに依頼し、『Breakfast at Tiffany's』（Truman Capote著）をテキストに、気軽に英語に親しむ会とした。参加対象を学生・教職員に加えて、一般市民に広げ募集した。

### (2) 学生選書委員

各学部より選出された学生選書委員に、地元の書店にて選書を行なってもらう企画である（平成19年1月予定）。

## 【長崎大学附属図書館】

### 1. 図書館業務用システムを更新

平成18年3月に図書館業務用システムを更新した。今回から、全学的な方針もあり、情報メディア基盤センターシステムに組み込まれた形での契約となった。これには他に、機関リポジトリも視野に入れた「長崎大学デジタルアーカイブ」構築用システムも含まれている。図書館業務用システムは、従来のリコー製LIMEDIOから、NTTデータ製のNALISに移行した。

今回の更新では以下の諸点に重点を置いた。

- ① 電算機資源の強化：業務用端末及びプリンタの全台レンタル化。メンテナンスの軽減。
- ② 資産管理の一元化と効率化：資産としての図書館資料の一元管理。財務会計システムとの連携。
- ③ 利用者サービスの充実：メールや携帯端末の活用。OPACのレスポンス改善。
- ④ 学術情報発信サービスの強化：学術情報発信サーバのレンタル化。学内の学術情報資源の収集と発信。
- ⑤ 館内学習環境の整備：館内利用者用端末台数の増加。ガイダンス、講習、講義への対応。

### 2. 目録システム地域講習会を開催

国立情報学研究所との共催により、5月31日（水）から6月2日（金）までの3日間、平成18年度目録システム地域講習会（図書コース）を開催した。

長崎大学の職員3名に加え、国立情報学研究所、熊本大学、鹿児島大学からも各1名の講師を迎え、NACSIS-CATによる全国総合目録の拡充及び品質管理に必要な知識と技術の習得を目的に開催した。

参加した15名の受講者は、3日間の講義と実習に真剣に取り組み、講師に対して熱心に質疑を重ね、日頃の疑問を解消していた。

### 3. 幕末・明治期日本古写真及びグラバー図譜の新データベースを正式公開

幕末・明治期日本古写真及びグラバー図譜の新データベースが完成した。平成18年6月20日（火）に完成披露式及び記者発表会を開催し、正式に公開した。

従来のデータベースからデータを引き継ぐとともに、画像や解説を拡充し、ユーザインターフェースを一新した。メタデータを標準化する

ことにより、国内外の学術情報検索サイトへの情報発信も可能となっている。

旧データベースの公開以来、アクセス数は既に100万件に迫ろうとしているが、これまで以上に、学校教育や生涯教育の教材、海外における日本語学習や日本研究のツールになることが期待される。

#### 4. 放送大学との増築工事及びアスベスト除去工事

放送大学との増築工事は、中央図書館南側に4階建ての新棟を建設し、上2階を放送大学が、下2階を図書館が利用しようというもの。

今期の工事では1階部分はピロティーとなるに留まるが、2階には、寛いだ雰囲気でもネット利用も可能な学生ラウンジ、端末室として講義に使うことも可能なメディアコーナーが開設される予定。また、エレベータやユニバーサルデザイン・トイレの整備により、バリアフリー化を推進する。平成19年春竣工の予定。

アスベスト除去工事は、調査の結果、書庫の2層を含む中央図書館内6か所に存在することが判明したアスベストを完全に除去するためのもの。8～9月の夏季休暇期間を中心に利用者エリアの工事を終え、平成18年11月に完了した。

#### 5. 古写真研究の国際ワークショップを開催

幕末・明治期日本古写真の世界的拠点の形成は当館の主要な事業計画の一つであるが、その一環として、古写真研究の国際ワークショップを開催した。

International Workshop of Research Project for the Old Photographs in Nagasaki

日 時：平成18年11月22日(水)

### 【福岡教育大学附属図書館】

#### 子ども図書室の開設

この10月から、子ども図書室を開設して運用を開始しました。

教員養成系大学の特色を活かすため、国語教育の学生が読み聞かせの研修を行ったり、幼児教育の学生がおはなし会等を開催することによる実践的能力の向上を支援するとともに、地域社会との連携を子どもを通して図る計画です。

10：00～12：30

会 場：長崎大学附属図書館

Lecture 1. : History of early photography at Nagasaki (Terry Bennett, Old Japan, UK)

Lecture 2. : Early 20th-Century Picture Postcards: Nagasaki Then and Now (Brian Burke-Gaffney、長崎総合科学大学教授)

参加者：18名

外国人講師による講演の後、学内外から参加した郷土史家、古写真研究関係者との間で熱心な議論が交わされた。

#### 6. 教育著作権セミナーを開催

教育に携わる人が知っておかなければならない著作権の基礎知識と、実際に第三者の作成した著作物等を利用する際にどのように考えていけばいいのかなど、著作権に関する実践的な能力を身につけることを目的に、メディア教育開発センターの尾崎史郎教授(元文化庁著作権課マルチメディア著作権室長)を講師に迎え、講義と質疑応答の形式により行なった。

テーマ：教育現場におけるメディア活用と著作権

日 時：平成18年12月1日(金)

13：00～17：00

講 師：尾崎史郎(メディア教育開発センター教授、元文化庁著作権課マルチメディア著作権室長)

受講者：52名

4時間という長時間のセミナーであったが、最後の質疑応答も活発で、受講者の関心の高さが窺われた。

学生が参加した読み聞かせ研修会を定期的に開催し、附属幼稚園がキャンパス内にあることで、園児を集めたおはなし会も実施しています。また、子どもたちが楽しく過ごせる空間になるような壁面構成を学生が中心となって考えています。

## 大学オープンキャンパス協賛展示「触れる!紙と本の歴史 ミニ展」

大学のオープンキャンパス行事と連動して、紙の歴史と日本における本の歴史の概略を振り返りました。

普段は、余り手に触れる経験がない和装本等を展示し、直に触って頁をめくすることで、難しそうな古文献へ一歩近づいてくれたかもしれません。

## 宗像大学のまち相互協力

平成18年4月から宗像市内の三つの大学（福岡教育大学、東海大学福岡短期大学、日本赤十

## 【宮崎大学附属図書館】

### 学習スペースの拡充

医学分館では本年2月にグループ学習室を新設し、それぞれ学習スペースの拡充を行った。

### 学生対象アンケートの実施

本年1月、学生を対象に利用状況アンケートを実施した。今後、このアンケート集計結果を参考にして、学生へのサービスの向上を図っていきたい。

### 一般市民向けアンケートの実施

本年3月、宮崎県内公共図書館利用者を対象に、利用状況アンケートを行った。このアンケートの集計結果を参考にして、一般市民向けのサービス向上を検討していきたい。

### 県内の大学図書館と公共図書館との図書現物貸借の促進に向けて

今年度、宮崎県大学図書館協議会加盟館における一般市民対象の相互利用サービスの現状を

## 【琉球大学附属図書館】

### 沖縄県内大学図書館職員実務研修を受入

附属図書館は、図書館職員の実務能力の育成を図る目的で、沖縄県内大学図書館職員の実務研修を受入れ実施しました。今回は2大学から希望のあった職員を対象に平成17年12月～平成18年1月の間、実際の業務に携わりながら経験

する研修を行いました。

字九州国際看護大学）と宗像市立図書館間において相互協力協定を締結しました。宗像市民図書館の市内デリバリー便を利用して、各図書館間での相互貸借を行うシステムになっています。

### 日曜・祝日の開館

平成18年4月から、通常期の日曜日及び祝日の休日も開館しています。開館時間は午後1時から午後5時までです。

従来は、学内試験期間の前1週間から試験終了日までのみ実施していたのですが、利用者の要望も多く、日曜・祝日開館を拡大しました。

調査し、その調査結果を宮崎県立図書館（宮崎県公共図書館連絡協議会事務局）に報告した。また、県内の大学図書館と公共図書館との現物貸借の促進に向けて、『宮崎県大学図書館協議会と宮崎県公共図書館連絡協議会における図書館資料の現物貸借要領（案）』を作成する（来年4月施行予定）など、活動を推進している。

### 日曜日開館の実施

本年4月より、本館では日曜日開館を実施している。開館時間は午後1時から午後5時であるが、年末年始、祝日、学生の休業期間中は閉館する。

### 企画展示の実施

本年2月に開催された『宮崎大学国際化特別講演会』に合わせた国際協力関連図書の展示を皮切りとして、『図書館の歩み』展、『写真集で見る宮崎』展など、テーマを設けた展示を数回実施している。



書コーナーを図書館2階情報ラウンジに設置しました。

企業、起業、経営、マネジメント、投資、ビジネス事情、就職、自己啓発等に関するビジネス新刊書を中心に配架しています。

#### 「資料で学ぶEU展」を開催

EU資料センターに指定されている本学附属図書館は、日・EUフレンドシップウィークの期間中の5月15日(月)から5月26日(金)、図書館2階情報ラウンジにおいて駐日欧州委員会代表部が主催する日本と欧州連合の友好週間イベントの一環として「資料で学ぶEU展」を開催しました。期間中は延べ400人余りの入場者がありました。

#### 延世大学校附属中央図書館と国際交流協定締結

附属図書館は、7月6日(木)に延世(ヨンセイ)大学校附属中央図書館(大韓民国)との間で国際交流協定を締結しました。

延世大学校から金泰樹(キム・テス)館長以下2名の関係者が本学を訪問し、附属図書館関係者の立ち会いのもと、金館長と親川兼勇館長が協定書に署名を行い、国際交流協定が締結されました。

延世大学校は、法学、社会科学、工学など19学部、法学、経済学、工学など18大学院研究科及び129附属研究機関を擁する、1885年に創立された韓国で最も歴史ある大規模総合大学であり、研究の高度化を積極的に推進し、世界各国の大学機関と広範な学問分野で共同研究を実施し、多大な成果を上げています。

今回の国際交流協定の締結により、学術的な結びつきの拡大、学術協力の強化、学術情報の国際流通の促進を図る協力体制の整備などとともに、国際的な学術コミュニケーションに関する研究開発がますます進むものと期待されます。

今後は、延世大学校附属中央図書館との間で図書館司書の交流、共同研究の実施、ワークショップ、展示会の開催、学術情報の交換等を活発に行っていく予定です。

調印式終了後には、互いの大学の概要説明が行われた後、今後の活動等について活発な意見交換が行われました。

#### 「矢内原忠雄文庫植民地関係資料データベースの公開」記者会見・レセプション

附属図書館は、日本学術振興会より平成17年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)の交付を受け、電子化に取り組んできた「矢内原忠雄文庫植民地関係資料データベース」の完成に伴いWebサイト上に正式公開し、7月13日に各関係者をご招待しプレス説明会・レセプションを行いました。

本データベースは、本学が所蔵する矢内原忠雄文庫のうち、南洋群島を軸とした植民地関係の原資料群を画像化し、これにインデックス等を付し、検索を可能とするとともに、インターネット上で閲覧できるようにしたものです(平成17年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)による画像データベースの構築事業)。

戦前沖縄から多くの県民が移民した南洋群島を始め、台湾、満州、朝鮮、樺太などを矢内原忠雄が踏査収集した資料や調査ノート、メモ類などを見ることができます。

#### 「平成18年度目録システム講習会(図書コース)」を開催

9月6日(水)から9日(金)の間、附属図書館では国立情報学研究所との共催による「平成18年度目録システム講習会(図書コース)」を、総合情報処理センターにおいて開催しました。

この講習会には、琉球大学のほかに県内外の公私立大学9大学から30名が参加し、講師の説明に熱心に耳をかたむけ、目録登録の方法について実習を受けました。

#### 琉球大学附属図書館貴重書展「琉球・沖縄の歴史と文化を探る」ー公共図書館と連携して開催ー

附属図書館は、公共図書館と連携して、資料の公開や地域貢献・地域連携の一環として毎年行っている貴重書展を今年は沖縄本島中部にある北谷町立図書館で開催しました。

今年の展示会テーマは「琉球・沖縄の歴史と文化を探る」で、所蔵している沖縄関係の貴重書の中からテーマに沿って選んだ25点と大正期の沖縄を撮影したガラス版写真(プール文庫)のパネル、明治期沖縄の写真アルバム、琉球大学歴史パネルなどを展示しました。

10月27日～11月2日（10月30日は休館）の開催期間中、約700名の見学者が訪れ、その模様はテレビや新聞でも紹介されました。

見学者から「昔の貴重な文献にふれることが出来てよかった」「もっと他の資料もみたい」「他の地域でもやって欲しい」といった感想・要望を書いたアンケートが多く寄せられ、また中には一度訪れた見学者が興味深い資料が多いことから、家族を呼んで見学を勧めるなど盛況な展示会でした。

#### 教養図書コーナー開設5周年記念「読書論文コンクール」

附属図書館は、教養図書コーナー開設5周年を記念して、「読書論文コンクール」を実施しています。応募対象者は学内の学部学生で募集

締切りは12月15日まで、選考結果の発表は2007年2月1日です。

募集テーマは「私が影響を受けた本」で、「大学入学後、知的刺激を受けた本、ものの考え方や人生観に影響を受けた本などの読書体験を中心に書くこと。人文・社会・自然・工学など分野は問いません。対象とする本は、本学附属図書館の教養図書コーナーに配架したものを始めとする本学所蔵のものから選ぶこと。」としています。

入賞者には、最優秀賞として学長賞＝欧米往復航空券と滞在費5万円、優秀賞として図書館長賞＝ノートパソコン、優良賞3編には図書カード（2万円）をそれぞれ贈呈することになっています。

# 図書館活動報告

## 福岡県・佐賀県大学図書館協議会

### 【北部地区研究会】

#### 第1回研究会

日 時：平成18年6月27日(火)

場 所：九州国際大学メディアセンター4階  
閲覧室

出席者：14館26名

#### 議 事

- (1) 平成17年度会計決算報告および監査報告
- (2) 平成18年度予算(案)審議
- (3) 協議事項
  - 1) 学生に対する図書の貸出において、福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区内の学生に対して、他大学の学生にも学生証の提示により貸出サービスを実施することは可能か。
- (4) 承合事項
  - 1) 図書購入に関する購入基準、規約若しくは内規について
  - 2) その他  
館内整理日として休館日を設けている館の有無について
- (5) 事例発表  
「図書館ガイダンスについて」  
九州国際大学図書館 原田佳子
- (6) 講 演  
「これからの大学図書館のあり方」  
元九州国際大学経済学部教授 福永義臣

#### 第2回研究会(開催予定)

日 時：平成18年12月8日(金)

場 所：北九州市立大学本館E-701

出席者：未定

#### 議 事

- (1) 表彰について
- (2) 協議事項
  - 1) 学生に対する図書の貸出において、福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区内の学生に対して、他大学の学生にも学生証の提示により貸出サービスを実施することは可能か。(第1回研

究会より継続審議)

- 2) 北部地区研究会の繰越金について
- (3) 承合事項
  - 1) 図書館ボランティアについて
- (4) 活動報告  
「目録所在情報サービスを対象とする講習会等に関する検討ワーキング・グループ活動状況報告」  
九州共立大学附属図書館 矢崎美香
- (5) 講 演  
「調べる身体：書庫とフィールドワークの狭間で」  
北九州市立大学基盤教育センター  
重信幸彦
- (6) 平成19年度当番館確認
- (7) その他

### 【福岡地区研究会】

日 時：平成18年11月24日(金)

13:30~16:30

場 所：福岡工業大学附属図書館  
(本部棟3階第2会議室)

出席者：14館26名

テーマ：「図書館サービスの充実について」

#### 内 容

1. 事例発表
  - (1) 「九州大学附属図書館におけるe-DDSの現状」  
九州大学附属図書館 高田宏昭氏
  - (2) 「福岡大学図書館ステップアッププログラムについて」  
福岡大学図書館 野口秀実氏
2. 承合事項
  - (1) 「一般市民の入館手続き及び貸出の可否・冊数について」  
提出館 九州大学附属図書館
  - (2) 「図書館利用を促進させる施策について」  
提出館 九州産業大学図書館

3. その他  
平成19年度福岡地区研究会当番校の確  
認  
福岡女子大学（幹事校）

中村学園大学  
筑紫女学園大学・短期大学部附属図書  
館

## 長崎県大学図書館協議会

### 1. 平成18年度総会

期 日：平成18年6月16日（金）  
14：00～16：20  
場 所：活水女子大学ラッセル館2階  
出席者：12館20名（オブザーバー：長崎県公  
共図書館等協議会より2名）

#### 議 題

- (1) 平成17年度事業報告
- (2) 平成17年度決算報告・監査報告
- (3) 平成18年度事業計画（案）について
- (4) 合同イベントの開催（案）について
- (5) 平成18年度予算（案）について
- (6) 総会当番館の順番について
- (7) 平成18・19年度役員館の選出について

#### 報告事項

- (1) 平成17・18年度研修企画委員について
- (2) 学術情報基盤の今後のあり方について
- (3) 学術ポータル担当者研修の申し込みに  
ついて
- (4) 日本図書館協会評議会について
- (5) 各館の当面する諸問題について

### 2. 研修事業（平成18年1月～12月）

- (1) 研修講演会（長崎大学附属図書館と共催  
の連続講演会：学術情報流通は今－現状と  
課題－③）

テーマ：学術機関リポジトリ

日 時：平成18年2月9日（木）  
15：00～17：00

会 場：長崎大学総合教育研究棟2階多目  
的ホール

講 師：逸村 裕氏（名古屋大学）  
小西和信氏（国立情報学研究所）  
星野忠次氏（千葉大学）

参加者：72名（本協議会加盟館から26名）

- (2) 実務研修会

テーマ：WEB検索データを加工、利用した  
文献リスト作成の技法について

日 時：平成18年3月20日（月）  
13：30～17：00

会 場：活水女子大学情報処理教室

講 師：森 茂樹氏（活水女子大学図書館）  
飯島芳典氏（長崎国際大学図書館）

参加者：20名

- (3) 公共図書館等協議会との合同実務研修会

日 時：平成18年9月25日（月）  
13：30～16：00

場 所：長崎県立長崎図書館講堂

テーマ：ビジネス支援のための図書館サー  
ビス

講 師：常世田良氏（日本図書館協会）

報告者：山口保彦氏（諫早市立諫早図書館）

参加者：130名（大学21名、公共等109名）

### 3. 合同イベント

- (1) 合同展示会

テーマ：大学から地域へー図書館資料の開  
放ー

期 間：平成18年10月12日（木）～14日（土）

会 場：アルカスSASEBO交流スクエア

参加館：本協議会加盟13館のうち9館

入場者：約1,600名

報 道：新聞2紙、テレビ3局

- (2) シンポジウム

テーマ：図書館にくつろぎの空間をつくる

日 時：平成18年11月13日（月）  
14：00～16：30

会 場：活水女子大学大チャペル

- ① パイプオルガン演奏

演奏者：堀江光一氏（活水女子大学）

- ② 基調講演

講 師：渡部幹雄氏（滋賀県愛荘町立  
愛知川図書館）

- ③ パネルディスカッション

コーディネータ

佐藤快信氏（長崎ウエスレヤン大学）

パネリスト

尾崎寿美氏 (夢いっぱいとしょかん塾)

田浦知子氏 (長崎県立長崎図書館)

植松久子氏 (長崎ウエスレヤン大学附属図書館)

参加者：約100名 (市民、学生、図書

館関係者)

報道：新聞4紙

(3) 個別開催イベント

10月23日(月)から11月29日(水)にかけて、本協議会加盟13館のうち7館が、一般市民を対象に、展示会・講演会・お話しの会・朗読会等の各種イベントを開催

### 熊本県大学図書館協議会

#### 1. 総 会

日 時：平成18年6月9日(金)

15：30～17：00

場 所：熊本大学くすのき会館

出席者：12館22名 欠席館1館

議 事：

(1) 平成17年度総会議事録の確認

(2) 平成17年度事業報告について

(3) 承認事項

平成17年度収支決算並びに監査報告について

(4) 協議事項

ア) 会則の改正について

イ) 平成18年度事業計画(案)について

ウ) 平成18年度予算(案)について

エ) 次年度世話館について

(5) その他

ア) 各館の意見や報告による情報交換

#### 2. 実務者研修会

日 時：平成18年9月11日(月)

14：00～15：50

場 所：熊本大学くすのき会館

出席者：8館35名

内 容：講演及び質疑応答

演題 「文化財の修復と保存一装こう師の立場から」

講師 鈴木 裕氏 (九州国立博物館修復施設技師長 榑松鶴堂 技師取締役)

### 大分県大学図書館協議会

#### 1. 総 会

日 時：平成18年9月21日(木)

15：00～17：30

場 所：別府大学32号館

出席者：8館14名

議 題：

(1) 平成17年度事業報告及び決算報告について

(2) 平成18年度事業計画並びに予算(案)について

(3) 大分県大学図書館協議会20周年記念誌のホームページ掲載及び冊子の発行について

(4) 平成19年度役員館並びに当番館について

(5) その他

講演会

演題：日本のアーカイブズ学とアーカイブズ教育をめぐる状況

講師：針谷武志 別府大学文学部助教授 別府大学附属図書館見学

#### 2. 研 修 会

日 時：平成19年1月～2月(未定)

場 所：別府大学附属図書館

演 題：未定

## 宮崎県大学図書館協議会

### 1. 平成18年度宮崎県大学図書館協議会総会

日 時：平成18年7月31日(月)

13:30～16:00

会 場：宮崎国際大学（宮崎学園図書館3階多目的室）

出席者：加盟7大学、1高専及び宮崎県立図書館（オブザーバー館）

議 事：

(1) 平成17年度決算報告及び監事報告

(2) 平成18年度事業計画及び収支予算

(3) 協議事項

「宮崎県大学図書館協議会と宮崎県公共図書館連絡協議会間の図書館資料の現物貸借要領（案）について」

(4) 承合事項

「図書現物貸借の現状について」

### 2. 平成18年度宮崎県大学図書館協議会講演会

日 時：平成18年12月4日(月)

13:30～15:00

会 場：宮崎国際大学2号館307教室

テーマ：「個人情報保護制度について」

参加者：19名

講 師：谷元良二氏（宮崎県総務部総務課）

### 3. 平成18年度宮崎県大学図書館協議会講演会（第2回）

日 時：平成19年2月14日(水)

13:30～15:30

会 場：宮崎県立図書館視聴覚室

テーマ：「健康情報サービスと図書館の役割」

講 師：常世田 良氏（日本図書館協会事務局次長）

## 鹿児島県大学図書館協議会

### 1. 第27回鹿児島県大学図書館協議会総会

日 時：平成18年5月24日(水)

15:00～17:00

会 場：鹿児島大学附属図書館ライブラリホール

出席者：加盟10大学、1高専及び鹿児島県立図書館（オブザーバー館）計24名

議 事

(1) 平成17年度会務報告

(2) 平成17年度決算報告および監査報告

(3) 平成18年度事業計画

(4) 平成18年度予算審議

(5) 協 議

「今後の図書館サービスについて（提案）」の取扱いについて

(6) その他

本協議会資料の保存について

### 2. 平成18年度鹿児島県大学図書館協議会研修会

日 時：平成18年12月11日(月)

10:00～12:00

会 場：鹿児島県大学附属図書館情報リテラシー支援室

テーマ：各大学で実施している新入生ガイダンス等について

参加者：16名

### 3. 平成18年度鹿児島県大学図書館協議会講演会

日 時：平成18年12月11日(月)

13:30～15:00

会 場：鹿児島大学附属図書館ライブラリホール

テーマ：『双子の競作：疎開船・金十丸と三角兵舎を書いて』

講 師：前橋松造氏（鹿児島国際大学・鹿児島純心女子短期大学 非常勤講師）

参加者：26名

## 沖縄県大学図書館協議会

### 1. 平成18年度（第34回）総会

日 時：平成18年7月28日（金）

14：30～15：20

会 場：沖縄国際大学図書館4階AVホール

出席者：7館34名

#### 議 題

平成17年度決算報告

平成17年度監査報告

会則の改正について

平成18年度事業計画（案）について

平成18年度予算（案）について

平成19年度の当番館及び平成18年度監査館  
の選出

講 師：植松貞夫氏（筑波大学附属図書館  
長）

出席者：38名

### (2) 平成18年度第1回講演会

日 時：平成18年7月28日（金）

15：35～16：45

会 場：沖縄国際大学図書館4階AVホール

演 題：「脳と図書館：心の哲学から考  
える」

講 師：武田一博氏（沖縄国際大学図書館  
長）

出席者：37名

### 2. 講演会

#### (1) 平成17年度第2回講演会

日 時：平成18年2月17日（金）

15：00～17：00

会 場：琉球大学附属図書館多目的ホール

演 題：「これからの大学図書館の管理と  
サービス」

### 3. 研修会

日 時：平成18年3月13日（月）

14：00～17：00

会 場：琉球大学附属図書館多目的ホール

テーマ：「簡易製本の手法」

講 師：宮城剛助氏（沖縄国際大学総合文化  
学科非常勤講師）

出席者：25名

## 第36回九州地区国立大学図書館協会総会議事要録

### 1. 開 会

当番館の鹿屋体育大学附属図書館能勢学術図書情報課長から、開会宣言があった。

### 2. 地区代表館の挨拶

九州地区代表館の有川九州大学附属図書館長から挨拶があった。

### 3. 当番館の挨拶

当番館の田口鹿屋体育大学附属図書館長から挨拶があった。

### 4. 会議日程説明・配布資料確認

能勢学術図書情報課長から、日程説明及び資料の確認があった。

### 5. 議長選出

慣例により、当番館長である田口鹿屋体育大学附属図書館長が選出された。

### 6. 議長就任挨拶

田口鹿屋体育大学附属図書館長から挨拶があった。

### 7. 出席者自己紹介

出席者の自己紹介があった。記録者等の陪席者は能勢学術図書情報課長から紹介された。

### 8. 協議事項

#### 1) 機関リポジトリによる学術情報流通への影響と意義について

提案大学の熊本大学から提案理由および次世代学術情報コンテンツ基盤共同構築事業委託事業公募要項に基づき説明がなされ、熊本大学の機関リポジトリの現状について紹介された。平成18年度の次世代学術情報コンテンツ基盤共同構築事業委託事業公募要項について九州大学から説明があった。平成17年度の次世代学術情報コンテンツ基盤共同構築事業の取組みについて長崎大学、九州大学、熊本大学より報告された。

現状では今後の取組みについて各大学独自に検討を重ねていくこととなった。

(意見)

- ・紙媒体での紀要発行をやめて、電子ジャーナル化することでマルチメディア化が可能となった事例の紹介があった。
- ・ビジネスモデルをどうするのか。効率のいい機関リポジトリの構築についての検討が必要ではないか。

・大学の教員はこれまで著作権については無関心であったが、今後のリポジトリ化に当たっては著作権に関する知識が必要になる。

・現在機関リポジトリには、最終原稿という条件で多数の出版社はリポジトリへのアップを許可している。

・紀要類だけではなくe-learning教材などをつくった教員とも著作権に関する取り決めをつくる必要があるのではないか。

・機関リポジトリのコンテンツの著作権問題については今後の話し合いが必要なのではないか。

・著作権問題回避のため各教員から許諾書をいただいて、機関リポジトリにアップすることとした事例が紹介された。

・機関リポジトリシステムからの情報発信によって、外部への評価が上がるのではと考えている。

・紀要は電子化することで、150万から50万に費用が節減された。機関リポジトリ維持費として初年度は10万、次年度以降5万が大学から支給されている事例が紹介された。

#### 2) いわゆる「2007年問題」への対応について

提案大学である九州大学から、いわゆる「2007年問題」として近々大量の団塊世代が定年を迎える。また、「高齢者の雇用の安定等に関する法律」の改正が平成18年4月1日に施行され、国立大学においても再雇用制度の本格的な導入が必要となる。他大学の状況を参考としたい旨説明があり、各大学間での意見交換が行われた。

(意見)

・小規模大学では、該当者数が少ないので問題が顕在化していない。

・元図書館職員を開学100周年記念事業推進室に再雇用を実施した。ノウハウを知っている方がそばにいと良い面もあるが、小規模大学での組織の中では定年退職後の再雇用において、事務職員の配置部署についてはこれから大きな問題とな



るのではないか。

- ・管理職を再雇用する場合、色々な問題があるのではないか。
- ・再雇用される年輩者に向けて、年輩者が大事に扱われるような、新しいカルチャーを作る必要があるのではないか。
- ・再雇用する場合、年金支給まで雇用するか、65歳まで雇用するか、兼ね合いの問題もある。

### 3) 国立大学図書館職員の採用について

提案大学である九州大学から現在、九州地区では全国共通の試験問題を使って、合同で図書館職員の新規採用試験を行っているが、継続的な人員削減や定年退職者の再雇用制度の導入等により計画的な採用者数の確保が難しく、地区単位での合同採用を継続することが難しくなることも予想される。今後の図書館職員確保のあり方について各館の率直な意見を伺い、来年度の採用試験に向けた「全国図書系職員採用試験委員会」での協議に備えたいとの説明が行われた。

協議の結果、合同採用の継続を望む声が多く、現時点で結論を出すことは早計ではないかとの結論に達した。

(意見)

- ・図書館では原則として試験に合格した職員を採用しているが、今後は公募などの方法をとることも検討する必要があるのではないか。
- ・図書館職員の専門性を確保するべきなのではないか。そうでなければアウトソーシング化に飲み込まれるのではないか。
- ・24時間開館が行えるような体制をつくってほしい。
- ・外国人にも雇用の門戸を開放してほしい。
- ・とりあえず九州地区を希望するが、最終的に他の地区への異動を希望する職員への対策が必要ではないか。
- ・どの職種に、どのような専門性が必要なかを定義したい。
- ・業務の分析を行った上で、業務に対する数量化ができていないのではないか。
- ・現在在籍している職員による効率化を図るべきなのではないか。

- ・図書館の業務をアピールする必要があるのではないか。
- ・業務の専門性と試験の内容について、もっとリンクさせる必要があるのではないか。

### 4) 九州地区国立大学図書館協会の代表館選出について

九州大学が選出され、有川九州大学附属図書館長から代表館を引き受ける旨の挨拶があった。

### 5) 国立大学図書館協会等の運営について

#### ① 第53回総会のワークショップで取り扱うテーマについて

以下の3点について意見が出され、これらを元に九州大学へテーマの決定が一任され九州地区の意見として提案されることとなった。

- ・図書館職員の確保について
- ・機関リポジトリに関する著作権問題について
- ・大学図書館の将来像として学術情報基盤の今後の整備の在り方について

#### ② 平成18年度九州地区選出理事候補館の選出について

理事候補館として九州大学が選出された。

#### ③ 平成19年度国立大学図書館協会総会の当番館について

当番館として九州大学が選出された。

#### ④ その他

国立大学マネジメントセミナーの案内が九州大学より行われた。

### 6) 九州地区大学図書館協会等の運営について

#### ① 平成18年度九州地区大学図書館協議会の役員館の選出について

副幹事館は長崎大学が任期中であるので継続して行うこととなった。表彰委員館として佐賀大学、編集委員館として鹿屋体育大学が了承された。

#### ② 平成19年度九州地区国立大学図書館協会総会の当番館について

当番館として九州大学が選出された。

#### ③ その他

九州大学の有川附属図書館長から挨拶

があった。

#### 9. 承合事項

夜間延長開館の実施体制について

提案大学の長崎大学から提案理由に基づき説明がなされた。

- ・夜間開館の際にカウンターに配置する人数について
- ・夜間・休日開館の際にカウンターに配置す

る職員について

・夜間・休日開館を実施するために雇用している職員の総人数について

・図書館と同一のキャンパスにある学部の数について

・夜間・休日の開館時間について

以上の5項目について調査・回答が行われた。

※ 以上で総会を閉会した。

### 平成18年度九州地区国立大学附属図書館長、事務（部・課）長会議

日 時：平成18年11月30日（木）

15：00～16：30

会 場：九州大学附属図書館視聴覚ホール  
（新館4階）

出席者：11大学30名

議 事

・報 告

1. 理事会報告
2. 事務（部・課）長 会議報告

3. その他

・協議題

1. 「学術情報基盤としての大学図書館等の今後の整備の在り方について」（平成18年3月23日科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会報告）に対する各大学の取組状況と今後の課題等について

2. その他

### 平成18年度九州地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議

日 時：平成18年11月30日（木）

13：15～14：45

会 場：九州大学附属図書館視聴覚ホール  
（新館4階）

出席者：11大学20名

議 事

・報 告

1. 理事会報告

2. 実務者連絡会議

3. その他

・協議題

1. 附属図書館運営費以外の経費確保について
2. 平成19年度図書系職員採用試験について
3. その他

### 平成18年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議

日 時：平成18年10月16日（月）、17日（火）

会 場：国立大隅青少年自然の家、鹿屋体育  
大学附属図書館

出席者：11大学13名

議 事

協議事項

- (1) 機関リポジトリによる学術情報コンテンツの収集とその公開について
- (2) 機関リポジトリのメタデータ管理について
- (3) 電子ジャーナル導入経費の共通経費化

について

- (4) 電子ジャーナル及びデータベースの契約形態について

承合事項

- (1) 機関リポジトリシステムの導入と運用について
- (2) メタデータ項目について
- (3) 紀要の電子化について
- (4) 電子ジャーナル及びデータベースの契約形態および契約期間について

私立大学図書館協会 西地区部会  
2006（平成18）年度 第1回九州地区協議会

1. 期 日：平成18年4月20日（木）
  2. 場 所：城山観光ホテル
  3. 当 番 館：鹿児島国際大学
  4. 参加者数：42校68名
- ⑨ 2006年度事業計画（案）について  
⑩ 行事・会議予定

I. 報告事項

- (1) 九州地区協議会関係
  - ① 第1回定例幹事会、第2回定例幹事会報告
- (2) 九州地区大学図書館協議会関係
  - ① 九州地区大学図書館協議会幹事館・副幹事館会議会務報告
- (3) 西地区部会関係
  - ① 2005年度西地区部会会務報告
  - ② 2006年度西地区部会事業計画（案）及び予算（案）
  - ③ 2006年度予算の暫定執行
  - ④ 2006年度西地区部会総会開催要領
  - ⑤ 2006年度館長懇話会の内容
  - ⑥ 2006年度西地区部会研究会概要
  - ⑦ 役員校・当番校等一覧
- (4) 私立大学図書館協会関係
  - ① 2005年度協会会務報告
  - ② 2005年度協会賞審査委員会・研究助成委員会報告
  - ③ 国際図書館協力委員会報告
  - ④ 協会ホームページ委員会報告
  - ⑤ 国公立大学図書館協力委員会報告
  - ⑥ 国立情報学研究所関係報告
  - ⑦ 日本図書館協会関係報告
  - ⑧ 第7回図書館総合展フォーラムの後援について

II. 協議事項

- (1) 九州地区協議会関係
  - ① 西地区研究会の本会からの研究発表者発掘について
  - ② 大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナーへの参加について
  - ③ 九州地区協議会研究会の開催場所及び研究会報告について
- (2) 九州地区大学図書館協議会関係
  - ① 平成18年度九州地区大学図書館協議会の役員校について

III. 承合事項

無し

IV. 確認事項

- (1) 九州地区協議会HP及びMLの運用について
- (2) 外国新聞分担保存について
- (3) 九州地区協議会役員校等ローテーション表（2005年度版）及び同表解説について
- (4) 九州地区協議会年度別幹事校
- (5) 本会関係行事・会議等スケジュール

V. その他

- (1) 2006（平成18）年度の当番校・幹事校・役員校等の紹介
- (2) 西地区部会及び私立大学図書館協会関係の連絡事項（別資料）

私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会  
2006（平成18）年度 第1回定例幹事会

1. 期 日：平成18年5月26日（金）
2. 場 所：コンパルホール（大分市）
3. 当 番 館：日本文理大学
4. 参加者数：7館10名

I. 協議事項

- (1) 2006年度九州地区研究会開催（案）について
- (2) 本会の未加盟館への入会勧誘について

## II. 確認事項

- (1) 九州地区協議会年度別幹事校について

## の連絡事項

- (2) 協会賞の申請内容及び選考の経緯について

## III. 報告事項

- (1) 西地区部会及び私立大学図書館協会関係

### 私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会 2006（平成18）年度 九州地区研究会

1. 期 日：平成18年8月24日（木）  
図書館見学（日本文理大学）  
平成18年8月25日（金）  
研究会  
沖縄大学図書館 城間 尚樹氏
2. 場 所：トキハ会館
3. 当 番 館：日本文理大学
4. テー マ：「図書館における利用促進のための取り組みについて」  
九州大学附属図書館利用支援課長  
甲斐 重武氏
5. 参加者数：32館48名
6. 内 容
- (1) 事例発表「授業と連携した英語スキルアップ支援…ゼロから始めるGraded Reader」  
南九州大学・南九州短期大学図書館  
圖師 明子氏
- (2) 講演「大学図書館における利用促進と支援」  
九州大学附属図書館利用支援課長  
甲斐 重武氏
- (3) 事例発表「きてみて図書館…学生の興味を引くきっかけとして…」  
南九州大学・南九州短期大学図書館  
圖師 明子氏
- (4) 事例発表「学生の館内での利用行動の調査」  
西日本工業大学図書館 坂田 貞美氏

### 私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会 2006（平成18）年度 九州地区研究会準備委員会

1. 期 日：平成18年11月10日（金）  
13：30～15：30  
本文理大学）
2. 場 所：熊本学園大学図書館 会議室  
2) 2007年度九州地区研究会について（熊本学園大学）
3. 参加者数：7館10名  
(2) その他
4. 内 容
- (1) 協議事項
- 1) 2006年度九州地区研究会について（日

### 私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会 2006（平成18）年度 第2回定例幹事会

1. 日 時：平成18年12月8日（金）  
13：30～15：30  
(案) について（西南女学院大学）
2. 場 所：西南女学院大学図書館
3. 参加者数：8館11名
4. 議 事
- (1) 協議事項
- 1) 2006年度九州地区協議会総会の報告について（鹿児島国際大学）
- 2) 2007年度九州地区協議会総会実施計画
- 3) 2006年度九州地区協議会・研究会の会計報告について（鹿児島国際大学・九州東海大学）
- 4) 西地区研究会の本会からの研究発表者の発掘について（九州東海大学）
- 5) 九州地区協議会HP及びMLの運用について
- 6) 2007年度九州地区大学図書館協議会の

私立大学部会の表彰委員館・編集委員館  
の選出について（九州東海大学）

校について（九州東海大学）

(3) その他

(2) 確認事項

1) 本会関係の次年度以降の役員校・当番

### 平成18年度九州地区私立短期大学図書館協議会夏期研修会概要

1. 日 時：平成18年9月1日（金）

13：00～16：30

2. 会 場：福岡国際大学・福岡女子短期大学  
図書館

3. 参加者：14館22名

4. 議 事

(1) 開 会

会長（佐賀女子短期大学図書館 白根  
恵子氏）が開会の挨拶を述べた。続いて、  
会場館の下條瑞恵氏の挨拶があった。

(2) 研 修

① 事例報告

「学生利用者へのサービスについて  
—図書館員の意識が変われば図書館が変  
わる—」のテーマで、以下4館の事例  
報告が行われ、活発な意見交換がなさ  
れた。

報告館

佐賀女子短期大学図書館

香蘭女子短期大学図書館

久留米信愛女学院短期大学図書  
館

福岡国際大学・福岡女子短期大  
学図書館

② 図書館見学

会場の提供館である「福岡女子短期

大学図書館」を見学。先進的な設備と  
余裕のある施設状況に加えて、利用促  
進のための工夫が随所に見られ、当該  
図書館の活発な活動を見学できた。

③ 自由討議

ここでも「① 事例報告」に関して、  
報告館に対する質問等が相次いだ。特  
に、図書予算に関する事、及び、DVD  
等の貸出しと著作権の関係に討議が集  
中した。

④ 読みきかせ

白根恵子氏によって、絵本や童話を  
使った読み聞かせの実際が行われた。

(3) その他

① 報 告

平成19年度総会の当番館である、第  
一保育短期大学図書館の服部美幸氏か  
ら、総会の日程等が次のように報告さ  
れた。

1) 日 時：平成19年4月19日

2) 会 場：福岡ガーデンパレス

(4) 閉 会

会長の白根恵子氏から閉会の挨拶が述  
べられた。

# 事務局報告

## 平成18年度九州地区大学図書館協議会 幹事館・副幹事館会議

平成18年11月20日(月)に、書面回議により開催の結果、意見等の申し出がなかったため原案のとおり承認されました。

平成19年度九州地区大学図書館協議会等実施計画(案)

[九州大学附属図書館]

4月20日の総会

福岡ガーデンパレス

・総会 1階 「ガーデンホールA  
・B・C」

・講師控室・資料整理室 4階 「藤」

### 1. 日程

[部会]

平成19年4月19日(木)

13:00~13:30 受付 ※各部会毎に

13:30~17:00 会議

17:00~17:30 休息

17:30~19:30 懇親会

※ 時間の割り振りは各部会の判断により  
設定可能

[総会]

平成19年4月20日(金)

9:30~10:00 受付

10:00~12:00 会議

12:00~13:00 昼食

13:00~14:30 講演

(講演者検討中)

14:30~16:00 会議

### 2. 会場

4月19日の各部会

福岡ガーデンパレス

(<http://www.hotelgp-fukuoka.com/>)

福岡市中央区天神4-8-15

電話 (092)-713-1112 (代表)

- ・国立部会 3階 「宝満」
- ・公立部会 3階 「雲仙」
- ・私立部会 1階 「ガーデンホールA  
・C」
- ・私短部会 3階 「阿蘇」
- ・懇親会 1階 「ガーデンホールA  
・B・C」

※ 私短部会は3階「阿蘇」

### 3. 宿泊

[案内施設] 福岡ガーデンパレス

宿泊料金(1泊朝食付き、税込み)

シングル 6,550円

ツイン 12,500円

### 4. 経費等

#### ① 会議室借料

・19日の各部会室借料 各部会負担

・20日の総会室借料 総会費用充当

・その他(看板、生花、マイク等)

総会費用充当

#### ② 資料作成費(経費節約する)

③ 懇親会費 5,500円(税込み)[私立短大部会は別途]

#### ④ 20日(総会)の昼食費等

昼食費 1,500円[19日の部会受付時に  
徴収]

### 5. その他

① 各部会の会議及び各部会合同での懇親会は福岡ガーデンパレスで行う。(私短部会は別会場)

② 各部会の会議室のレイアウトは、それぞれの部会にて行う。

③ 総会の会議室のレイアウトは、スクール方式とする。

④ 宿泊予約は、宿泊者が直接ホテルに申し込む。

⑤ 福岡ガーデンパレスの案内については、ホームページを参照する。

⑥ 20日の昼食は、総会会場で弁当を配布する。

- ⑦ 総会会場のお茶・コーヒーは、会場内の一隅に準備する。
- ⑧ 総会の議長、副議長、講演者には、おしぼり、お茶を準備する。
- ⑨ 総会の講演者等は現在未定。
- ⑩ 駐車場について
  - ・福岡ガーデンパレス
  - 30台可能だが、出来るだけ公共交通機関を利用。
  - 1泊 500円（但し、宿泊者で事前に申し込みされた者）

## その他

- 1. 講演、協議事項等について
  - 何かご意見等がございましたらお知らせください。
  - なお、協議事項等は別途当番大学から照会予定です。
- 2. 副議長について
  - 総会における議長及び副議長は、平成11年度からの副幹事館制度の発足により副議長は副幹事館の図書館長により次の順番で執り行われています。
  - 平成11年度福岡女子大学附属図書館長（公立大学部会副幹事館長）
  - 平成12年度鹿児島国際大学図書館長

- （私立大学部会副幹事館長）
- 平成13年度沖縄キリスト教短期大学図書館長（私立短大部会副幹事館長）
- 平成14年度福岡教育大学附属図書館長（国立大学部会副幹事館長）
- 平成15年度宮崎公立大学附属図書館長（公立大学部会副幹事館長）
- 平成16年度筑紫女学園大学・短期大学附属図書館長（私立大学部会副幹事館長）
- 平成17年度九州東海大学付属図書館長（私立大学部会副幹事館長）
- 平成18年度長崎大学附属図書館長（国立大学部会副幹事館長）
- 以上の経緯から平成19年度の副議長については公立大学部会副幹事館の図書館長にお願いしたいと思います。
- 3. 表彰委員館、編集委員館の交代について
  - 平成19年度は表彰委員館、編集委員館の交代ですので各部会で検討をお願いします。
- 4. 平成20年度の総会は中部地区の当番で国立大学部会の当番館は長崎大学に内諾を得ていますので各部会でも当番館をお決めになるときは考慮していただくようお願いいたします。

## 第57回九州地区大学図書館協議会総会記録

### 日 程 表

1. 期 日 平成18年 4月21日(金)
2. 会 場 かごしま県民交流センター 2階 「大ホール」  
〒892-0816 鹿児島市山下町14-50  
TEL 099-221-6600  
URL <http://www.kagoshima-pac.jp/>
3. 日 程
- |       |    |                            |
|-------|----|----------------------------|
| 9:30  |    | 受付開始                       |
| 10:00 | 1  | 開 会                        |
|       | 2  | 当番館長挨拶                     |
|       | 3  | 幹事館長挨拶                     |
|       | 4  | 会議日程・資料の説明                 |
|       | 5  | 議長・副議長選出                   |
|       | 6  | 議長・副議長挨拶                   |
|       | 7  | 新任館長等紹介                    |
|       | 8  | 表彰式                        |
|       | 9  | 新規加入館の承認                   |
|       | 10 | 幹事館報告                      |
|       | 11 | 平成17年度決算及び監査報告             |
|       | 12 | 平成18年度予算案                  |
| 11:00 | 13 | 国立・公立・私立・私立短期大学部会報告        |
| 12:00 |    | 昼 食                        |
| 13:00 | 14 | 講 演                        |
|       |    | 講師：江戸川大学学術情報部<br>部長 中尾 光孝氏 |
|       |    | 演題：図書館の業務委託の現状と課題          |
| 14:00 | 15 | 協議事項                       |
|       | 16 | 承合事項                       |
|       | 17 | 次期役員館の選出                   |
|       | 18 | 次期当番館挨拶                    |
|       | 19 | 議長・副議長の解任                  |
| 15:30 | 20 | 閉 会                        |



## 出席者名簿 (○は新任者)

### 【国立大学】

九州工業大学附属図書館

附属図書館長 前田 博  
事務長 ○小川 みやこ

福岡教育大学附属図書館

附属図書館長 ○高田 清  
図書館課長 栗山 平

九州大学附属図書館

附属図書館長 ○有川 節夫  
事務部長 濱崎 修一  
図書館企画課長 末次 美知夫  
利用支援課長 甲斐 重武

佐賀大学附属図書館

附属図書館長 ○高崎 洋三  
学術研究協力部長 木塚 建一  
情報図書館課長 金子 弘康

長崎大学附属図書館

附属図書館長 岡林 隆敏  
学術情報部長 ○淵上 光明  
学術情報サービス課長 能村 浩次

熊本大学附属図書館

附属図書館長 中山 仁  
学術研究協力部長 東 雅彦  
図書館サービス課長 柿本 義行

大分大学附属図書館

附属図書館長 ○伊藤 哲郎  
附属図書館分館長 ○柳澤 繁孝  
研究・社会連携部長 久保 文門  
学術情報課長 ○飯田 昇平

宮崎大学附属図書館

附属図書館長 ○永田 雅輝  
学術研究協力部長 金城 孝夫  
情報図書館課長 小川 稔

鹿児島大学附属図書館

附属図書館長 早川 勝光  
事務部長 ○寺垣 敏司  
情報管理課長 ○古賀 幸成  
情報サービス課長 吉田 英明

琉球大学附属図書館

附属図書館長 親川 兼勇  
事務部長 堀内 眞也  
情報サービス課長 ○高橋 輝

鹿屋体育大学附属図書館

附属図書館長 田口 信教  
学術図書情報課長 ○能勢 明雄

出席館 11館 33名

欠席館 なし

### 【公立大学】

北九州市立大学学術情報総合センター

学術情報課長 吉野 光夫  
学術情報係 安本 雅美

九州歯科大学附属図書館

附属図書館長 高田 豊  
嘱託職員 大峯 紀美恵

福岡女子大学附属図書館

学務部長 ○倉田 修

福岡県立大学附属図書館

附属図書館長 中野 榮子  
事務長 ○鬼丸 健二

県立長崎シーボルト大学附属図書館

図書館長 松永 恵子  
図書館課長 ○吉村 勝徳

長崎県立大学図書情報センター

図書情報センター長 山田 千香子  
図書館課長 永松 和人

熊本県立大学学術情報メディアセンター  
学術情報メディアセンター長 ○松岡 泰  
事務長 ○田中 彰

大分県立芸術文化短期大学附属図書館  
附属図書館長 ○凍田 和美  
副主幹 ○後藤 秀一

大分県立看護科学大学附属図書館  
附属図書館副館長 ○高橋 敬  
嘱託職員 中野 美佐子

宮崎公立大学附属図書館  
事務長補佐 原 芳輝

宮崎県立看護大学附属図書館  
附属図書館長 赤星 誠

教務主幹 ○満留 芳之  
主任主事 川添 哲也

鹿児島県立短期大学附属図書館  
附属図書館長 ○朝日 吉太郎  
附属図書館副館長 前田 和平  
主査 猿渡 直子  
参事付 福元 博文  
司書 渡邊 聡美

沖縄県立芸術大学附属図書館 芸術資料館  
副参事 玉那覇 有仁

出席館 13館 27名

欠席館 1館

#### 【私立大学】

西日本工業大学図書館  
図書評価室長 宗広 明則

西南女学院大学図書館  
図書館長 ○大里 文人  
図書課長 ○友枝 伸一  
司書 浜田 美紀

九州国際大学図書館  
課長補佐 宮崎 昭

九州共立大学附属図書館  
図書館長 ○宮 菌 和 禧  
業務課長 古賀 進

九州女子大学・短期大学附属図書館  
図書館長 高橋 昇  
図書館業務課長 ○松尾 伸二

福岡工業大学附属図書館  
係長 坂本 祥嗣

福岡女学院大学図書館  
図書館課長 佐田 ひろみ

九州産業大学図書館  
図書館長 ○高橋 公忠  
事務部長 山本 正三

福岡大学図書館  
図書館長 ○長谷川 正国  
図書部事務部長 石田 積  
学術情報課長 ○高木 秀人

中村学園大学図書館  
図書課長 猿渡 健一

西南学院大学図書館  
事務次長 篠崎 珣  
課長補佐 古庄 敬文

第一薬科大学図書館  
図書館長 原 千高

九州情報大学附属図書館  
附属図書館長 南 俊朗

筑紫女学園大学・短期大学部附属図書館  
館長 ○川邊 武芳  
図書館課課長 ○関 彰

福岡国際大学・福岡女子短期大学図書館

図書館長 ○石田裕之  
課長 下條瑞恵

久留米工業大学図書館

図書館長 深野徹  
室長 萩尾文子

久留米大学御井図書館

図書館長 西土純一  
課長 熊谷まゆみ

西九州大学附属図書館

図書館長 簗原和秀

活水女子大学図書館

図書館長 宮崎隆広  
図書館課長 森茂樹

長崎総合科学大学附属図書館

図書館課長 伴卓士

長崎外国語大学ライブラリー

マルチメディア・ライブラリー  
事務室係長 岡村泰子

長崎純心大学早坂記念図書館

図書館長 岩下康夫  
事務室長 岩崎由希子

長崎ウエスレヤン大学図書館

司書 植松久子

長崎国際大学図書館

図書館課長 飯島芳典

崇城大学図書館

図書館長 梶谷尚  
図書館課長 ○原みゆき

九州ルーテル学院大学図書館

司書係長 水谷江美子

熊本学園大学附属図書館

図書館事務次長 緒方良二  
図書館図書課課長補佐 津村秀夫

九州東海大学附属図書館

附属図書館長 ○渡邊千賀恵  
熊本図書館長 山崎松男  
熊本図書館課長 岡村晴夫  
熊本図書館課長補佐 板東弘

九州東海大学附属図書館

図書館長 江頭洋祐

日本文理大学図書館

図書館事務室係長 小平正典

立命館アジア太平洋大学ライブラリー

メディア・センター課長 北村滋朗

別府大学附属図書館

図書館長 佐藤允昭

九州保健福祉大学附属図書館

附属図書館事務 伊藤倫子

南九州大学・南九州短期大学図書館

図書館長 澁澤透  
学務部長 中村稔

鹿児島国際大学附属図書館

附属図書館長 上村俊雄  
事務長 藤田淳二  
事務長補佐 山下友司

鹿児島純心女子大学附属図書館

図書館長 犬塚孝明  
図書館課長 森山学

志學館大学図書館

司書 ○木佐木和代

沖縄国際大学図書館

図書館長 ○武田一博  
図書館次長 新川宣安

沖縄大学図書館  
図書館長

田 里 修

出席館 40館 64名  
欠席館 3館

名桜大学附属図書館  
図書館長

吉 川 安 一

【私立短期大学】

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学図書館  
図書館長  
主任司書

山 田 千 秋  
小 林 由 憲

鹿児島女子短期大学附属図書館

附属図書館長 前 原 隆 鋼  
図書館課長 ○石 塚 勝 雄  
図書館係長 濱 田 みゆき  
司 書 川井田 智 美

聖マリア学院大学図書館  
司 書

山 口 真由美

鹿児島純心女子短期大学図書館

九州大谷短期大学図書館  
司 書

○溝 田 イミ子

図書館長 小 川 孝 夫  
図書館課長 西 眞知子

中九州短期大学附属図書館  
附属図書館長

田 中 喜 典

出席館 7館 12名  
欠席館 2館

東九州短期大学図書館  
司 書

釘 丸 知 子

## 第57回九州地区大学図書館協議会総会議事要録

第57回九州地区大学図書館協議会総会議事要録

配布資料の確認があった。

### 1. 開 会

当番館の鹿屋体育大学附属図書館能勢学術  
図書情報課長から、開会宣言があった。

### 2. 当番館長挨拶

当番大学の鹿屋体育大学田口附属図書館長  
から、挨拶があった。

### 3. 幹事館長挨拶

幹事館の九州大学有川附属図書館長から、  
挨拶があった。

### 4. 会議日程・資料等の説明

能勢学術図書情報課長から、日程説明及び

### 5. 議長選出

「九州地区大学図書館協議会総会運営に関  
する細則」の第2項により、当番館長である  
田口鹿屋体育大学附属図書館長が選出され、  
続いて挨拶があった。

### 6. 副議長選出

議長より、副議長に副幹事館の長崎大学岡  
林附属図書館長が指名され、承認された。続  
いて挨拶があった。

### 7. 新任館長等紹介

今回は新任者が多いため、出席者名簿に基  
づき確認のみ行われた。

### 8. 表彰式

九州地区大学図書館協議会表彰規程に基づき、12名が表彰された。

#### (1) 勤続期間20年以上の者で退職または転職した者（表彰規程第2条第2項）

(所属機関、氏名の五十音順)

|   | 表彰の区分  | 大 学 名      | 氏 名                    |
|---|--------|------------|------------------------|
| 1 | 第2条第2号 | 鹿児島大学附属図書館 | もり まつ むつ お<br>森 松 睦 雄  |
| 2 | 〃      | 九州大学附属図書館  | まつ もと たか ふみ<br>松 本 孝 文 |
| 3 | 〃      | 〃          | やま さき ひろ と<br>山 崎 弘 人  |
| 4 | 〃      | 長崎大学附属図書館  | こ やま てる ちか<br>小 山 哲 郎  |

#### (2) 勤続期間20年に達した者（表彰規程第2条第1項）

|   | 表彰の区分  | 大 学 名     | 氏 名                    |
|---|--------|-----------|------------------------|
| 1 | 第2条第1号 | 大分大学附属図書館 | やま た てつ ゆき<br>山 田 哲 敬  |
| 2 | 〃      | 沖縄国際大学図書館 | あら がわ のぶ やす<br>新 川 宣 安 |
| 3 | 〃      | 九州産業大学図書館 | みや まる ゆみ こ<br>宮 丸 由美子  |
| 4 | 〃      | 佐賀大学附属図書館 | た なか はな こ<br>田 中 華 子   |
| 5 | 〃      | 長崎大学附属図書館 | にし おら り え<br>西 村 理 絵   |
| 6 | 〃      | 琉球大学附属図書館 | あか むね ひさ お<br>赤 嶺 久 夫  |
| 7 | 〃      | 〃         | きん じょう まもる<br>金 城 守    |
| 8 | 〃      | 〃         | やなぎ せ よし お<br>柳 瀬 吉 雄  |

## 9. 新規加入館の承認

平成17年度新規加入について熊本保健科学大学から申込みがあり、九州地区大学図書館協議会入会に関する細則に基づき、九州東海大学山崎熊本図書館長より入会申込館の概略について説明され、承認された。

## 10. 幹事館報告

幹事館から次の4件について、報告があった。

- (1) 平成17年度新規加入館の承認を受け、加盟館数は78館である。内訳は国立11館、公立14館、私立44館、私立短大9館である。各部会に加盟しているが総会には加盟していない大学もあるため加盟活動を進めたいので、各部会においても積極的な広報をお願いしたい旨、発言があった。
- (2) 平成18年2月付けで九州地区大学図書館協議会誌第48号を刊行した旨の報告があった。
- (3) 九州地区大学図書館協議会のメーリングリストについて、すでに稼働している旨の報告があった。
- (4) 第2回フレッシュパーソンセミナーを平成19年度に九州地区で開催する予定である旨の報告があった。

## 11. 平成17年度決算及び監査報告

幹事館から、資料4の決算(案)に基づき報告があり、続いて九州産業大学から監査の結果、収入・支出とも適切な処理がされている旨の報告がなされた。審議の結果、承認された。

## 12. 平成18年度予算案

幹事館から、平成18年度予算案について資料5に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

## 13. 国立・公立・私立・私立短期大学部会報告

### (1) 国立大学部会報告

協議事項について、鹿屋体育大学田口附属図書館長から以下の3件について報告された。

- 1) 機関リポジトリによる学術情報流通へ

の影響と意義について

平成18年度の次世代学術情報コンテンツ基盤協同構築事業委託事業公募要綱について熊本大学から提案があった。

平成17年度の機関リポジトリの実績について熊本大学、九州大学、長崎大学より報告された。その中で問題点として機関リポジトリに収録されるコンテンツの著作権問題が挙げられた。

また、紀要電子化のメリットとして電子化によるコスト削減効果と、マルチメディア化によるサービスの向上が報告された。

今後の取り組みについて各大学で検討を重ねていくことになった。

### 2) いわゆる「2007年問題」への対応について

「2007年問題」について、定年退職者の再雇用制度が主な対策となっている。しかし、制定したばかりであり今後も注意深く動向を見守る必要がある。また、管理職職員の再雇用について、それなりのポストを確保している現状が報告され、こちらについても動向を見守ることが必要との意見が出た。

### 3) 国立大学図書館職員の採用について

現在、九州地区は合同で図書館職員の採用試験を行っているが、継続的な人員削減や定年退職者の再雇用制度等により計画的な採用者数の確保が難しく、地区単位での合同採用を継続することが難しくなるのではないかと、この意見が出たが、合同採用の継続を望む声が多く、現時点で結論を出すことは早計ではないかとの結論に達した。

### (2) 公立大学部会報告

鹿児島県立短期大学朝日附属図書館長から協議事項1件、承合事項3件について、報告された。

#### ・協議事項

- 1) 図書購入費の推移及び図書資料の研究費等との購入比率について

今日、自治体の財政難の中で図書館の財政をどうするか、また法人化が進む中で図書館の役割として財政をいか

にして確保するか議論された。

苦しい状況の中で考慮しなければならない問題であるが、予算の確保について、図書館運営の実績の中で適切なマネジメントを行っていく必要性があるとの意見があった。

全体的にみて財政的に大変な中ではあるが、これをチャンスとして何処かに移行させる方法等、問題意識をもって対応することとなった。

・承合事項

1) 図書館利用アンケートについて

学生や地域住民等からアンケートをとり、また学生との懇談、学生自治会等の意見を集約し改善できる意見については直ちに改善した旨の報告があった。

2) 視聴覚資料の所蔵数、貸出の状況等について

貸出について議論をしたが、全体としてまだ貸出ができる状況ではない。このため学生や地域住民へ図書館としてのサービスについて更に検討を要することとした。

3) 公立大学の図書館の性格について

図書館サービスについて議論が行われ、自主的に大学内または大学間で協力をを行っている。また、土・日曜日の開館や館内利用時間の延長等で地域へのサービス向上を図っている。

(3) 私立大学部会報告

鹿児島国際大学上村附属図書館長から、私立大学部会について次のとおり報告が行われた。

部会は加盟館50館中42館、68名の出席で開催された。

・報告事項

1) 九州地区協議会関係

- ① 第1回定例幹事会
- ② 第2回定例幹事会

私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会定例幹事会が、平成17年5月13日・同年12月9日に開催され、2005年度九州地区研究会開催(案)・協議会未加入大学への入会

勧誘の件・永年勤続表彰制度廃止の件・2006年度九州地区協議会開催(案)・研究会の開催校と開催場所の関係等について、協議された旨報告が行われた。

2) 九州地区大学図書館協議会関係

① 九州地区大学図書館協議会幹事館・副幹事館会議会務報告

2006年度表彰委員館(福岡女学院大学)・編集委員館(筑紫女学園大学)の確認と今回の九州地区大学図書館協議会総会開催(案)についての報告が行われた。

3) 西地区部会関係

- ① 2005年度西地区部会会務報告
- ② 2006年度西地区部会事業計画(案)及び予算(案)
- ③ 2006年度予算の暫定執行
- ④ 2006年度西地区部会総会開催要領
- ⑤ 2006年度館長懇話会の内容
- ⑥ 2006年度西地区部会研究会概要
- ⑦ その他
- ⑧ 役員校・当番校等一覧

私立大学図書館協会の会務報告・事業計画・予算決算等についての報告があり、今年度の加盟校は243校。九州地区協議会関係分は、新規加盟希望校2校について、2005年8月25日総会において承認され、本協議会加盟校は50校となった。

4) 私立大学図書館協会関係

- ① 2005年度協会会務報告
- ② 2005年度協会賞審査委員会・研究助成委員会報告
- ③ 国際図書館協力委員会報告
- ④ 協会ホームページ委員会報告
- ⑤ 国公立大学図書館協力委員会報告
- ⑥ 国立情報学研究所関係報告
- ⑦ 日本図書館協会関係報告
- ⑧ 第7回図書館総合展フォーラムの後援について
- ⑨ 2006年度事業計画(案)について
- ⑩ 行事・会議予定  
協会の会務報告・事業計画(案)

- ・予算決算・各委員会報告・国公立大学図書館協力委員会報告・国立情報学研究所関係報告・日本図書館協会関係報告等が行われた。また、以下3点について提案がなされ、検討することとなった。
- (a) 西地区内文書のメール配信について
- (b) 地域間交流として、各地区で行われる研究会等への近隣地区からの参加について
- (c) 協会活動活性化に伴う規程改正について
- ・協議事項
  - 1) 九州地区協議会関係
  - 2) 九州地区大学図書館協議会関係
    - ① 平成18年度九州地区大学図書館協議会の役員校について
- ・承合事項…特になし
- ・確認事項
  - 1) 九州地区協議会HP及びMLの運用について
  - 2) 外国新聞分担保存運営委員会関係
  - 3) 九州地区協議会役員校等ローテーション表(2006年度版)及び同表解説
  - 4) 九州地区協議会年度別幹事校
  - 5) 本会関係行事・会議等スケジュール
    - (a) 九州地区協議会HP及びMLの運用について確認がなされた。
    - (b) 外国新聞分担保存運営委員会関係について、外国新聞分担保存に関する協定書・担当館・保存期間等の確認がなされた。
    - (c) 九州地区協議会役員校等ローテーション表(2006年度版)及び同表解説について説明がなされ、役員校等ローテーション表にもとづき平成18年度役員校が確認された。
    - (d) 本会関係行事・会議等スケジュール表をもとに、総会・研究大会、役員会等、今年度開催予定の行事・会議等のスケジュールが発表された。
- ・その他
  - 1) 2006(平成18)年度の当番校・幹事校・役員校等の紹介

- (4) 私立短期大学部会報告
  - 鹿児島純心女子短期大学小川図書館長から次のような報告があった。
  - ・総会で4館(帝京大学福岡短期大学附属図書館、西南女学院大学図書館、筑紫女学園大学・短期大学部附属図書館、聖マリア学院短期大学図書館)の退会報告がなされた。
  - ・購入基準の問題について及び無断持ち出しについて協議された。
  - ・多くの学校が第三者評価(認証評価)をひかえ、それに図書館がどう対応するかが話題となった。  
不足の部分は、それを率直に認め、次の評価まで改善する意志を示すなど、誠実に対応すれば問題ないだろうという結論となった。
  - ・本を返却しないまま卒業する学生がいるとの意見があり、本を返却しなければ「卒業証書を渡さない」旨の指導をしている大学もあるとの報告があった。
  - ・次期会長館は、佐賀女子短期大学附属図書館が引き受けられることとなった。

#### 14. 講演

「図書館の業務委託の現状と課題」(中尾光孝氏)

鹿屋体育大学附属図書館能勢学術図書情報課長から、講師の紹介があった。

講演の後、図書館の業務委託、図書館サービス、図書の選書等について活発な質疑応答がなされた。

「質疑」沖縄国際大学

図書館業務の外部委託と個性的な図書館づくりのあり方についてどう考えるか。

「回答」江戸川大学 中尾氏

現在、大学側としては特別なことは考えていないが、大学側からの働きかけ次第で、業者が対応してくれると考えている。

「質疑」沖縄国際大学

教職員学生の意見が、図書館の選書にどう反映されているか。



「回答」江戸川大学 中尾氏

教員、学生からの希望をできるだけ反映させるようにしている。

「質疑」沖縄国際大学

図書館運営のための会議はどう運営しているか。

「回答」江戸川大学 中尾氏

館長および図書館のスタッフでメンバーが構成されている。

「質疑」九州女子大学

外部委託による高度な専門性の実態についてどうなっているか。

「回答」江戸川大学 中尾氏

司書の資格を持つ職員数の割合の向上と大学図書館職員としてのキャリアが長い職員を確保することで専門性について確保できた。

「質疑」

外注化によりスタッフの人数はどう変わったか。

「回答」江戸川大学 中尾氏

外注化以前は図書館課長1名、定員3名、パート3名、専門学校から2名であったのが、外注化後、学術情報部2名、業務委託のスタッフ9名になった。

## 15. 協議事項

「学術情報基盤としての大学図書館の情報提供サービスのあり方について」

提案の趣旨、提案理由として機関リポジトリおよび次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業委託事業について九州大学から説明された。

(意見等)

【立命館アジア太平洋大学 北村】

大学等から情報発信されているが、雑多な情報が発信されているため目的の情報が手に入らない。大学からの情報を集約するための手段を用意できないか。

【立命館アジア太平洋大学 北村】

平成18年度の次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業委託事業提案書の公募についてのホームページはどこにあるのか。

【活水女子大学 森】

次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業の中間報告は学長宛に文書で送付されたが最終報告会の予定はあるのか。

大学教育の質の保証の問題に関連して、図書館の開館時間や指定図書制度の整備についてわかるようなら教えてほしい。

【九州情報大学 南】

九州大学の研究開発室では評価情報について研究中であり、要望や意見などは研究開発室に伝えてほしい。

## 16. 承合事項

1件の承合事項があり回答は別冊子のとおり、参考にしていただきたい旨報告された。

## 17. 次期役員館の選出

### (1) 幹事館の選出

昨年度の総会で選出され、任期は平成17年度から平成18年度まで九州大学

### (2) 監査館の選出

福岡国際大学・福岡女子短期大学が選出された。

### (3) 副幹事館、表彰委員館、編集委員館の選出

昨日の各部会の結果等を踏まえて、九州大学から次のとおり説明があり、承認された。副幹事館は、国立【長崎大学】、公立【熊本県立大学】、私立【九州東海大学】、私立短大は【鹿児島純心女子短期大学】

表彰委員館は、国立【佐賀大学】、公立【鹿児島県立短期大学】、私立【福岡女学院大学】、私立短大【九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学】

編集委員館は、国立【鹿屋体育大学】、公立【福岡県立大学】、私立【筑紫女学園大学】、私立短大【九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学】

### (4) 次期当番館

福岡地区の九州大学が承認された。

## 18. 次期当番館挨拶

九州大学の濱崎事務部長から有川附属図書館長に代わり、次期当番を引き受ける旨の挨拶があった。

19. 議長・副議長の解任

議長・副議長から、解任の挨拶があった。

20. 閉 会

鹿屋体育大学附属図書館能勢学術図書情報  
課長から、閉会の宣言がなされた。

平成17年度決算

一般会計

| 収入の部  |         |         |                     | 支出の部     |         |         |                |
|-------|---------|---------|---------------------|----------|---------|---------|----------------|
| 科目    | 予算      | 決算      | 備考                  | 科目       | 予算      | 決算      | 備考             |
| 会費    | 462,000 | 462,000 | 6,000円×77館          | 総会運営費    | 300,000 | 300,000 | 当番館：熊本大学       |
| 協議会誌代 | 125,600 | 125,600 | 47号(2004) 800円×157部 | 協議会誌発行費  | 200,000 | 151,200 | 48号(2005) 200部 |
| 広告掲載料 | 300,000 | 293,665 | 15社                 | 事務費      | 55,000  | 30,965  | 会誌送料、通信費、会議費等  |
|       |         |         |                     | 積立金会計へ繰入 | 332,600 | 399,100 | 総会関係研修事業補助     |
| 小計    | 887,600 | 881,265 |                     | 小計       | 887,600 | 881,265 |                |

積立金会計

| 収入の部     |         |         |       | 支出の部   |         |         |                   |
|----------|---------|---------|-------|--------|---------|---------|-------------------|
| 科目       | 予算      | 決算      | 備考    | 科目     | 予算      | 決算      | 備考                |
| 前年度繰越金   | 480,142 | 480,142 |       | 表彰経費   | 60,000  | 49,045  | 9名(1号該当5名、2号該当4名) |
| 預金利子     | 10      | 12      | 6円×2回 | 研修会経費  | 100,000 | 50,000  | 総会講演謝金等           |
| 一般会計から繰入 | 332,600 | 399,100 |       | 研修会補助費 | 270,000 | 240,000 | 各県協議会(8地区)研修経費補助  |
|          |         |         |       | 次年度繰越金 | 382,752 | 540,209 |                   |
| 小計       | 812,752 | 879,254 |       | 小計     | 812,752 | 879,254 |                   |

|    |           |           |  |    |           |           |  |
|----|-----------|-----------|--|----|-----------|-----------|--|
| 総計 | 1,700,352 | 1,760,519 |  | 総計 | 1,700,352 | 1,760,519 |  |
|----|-----------|-----------|--|----|-----------|-----------|--|

平成18年3月28日

監査館 九州産業大学図書館

事務室長 城戸武文 監査済

平成18年度予算

一般会計

| 収入の部  |         |                     | 支出の部     |         |                |
|-------|---------|---------------------|----------|---------|----------------|
| 科目    | 予算      | 備考                  | 科目       | 予算      | 備考             |
| 会費    | 462,000 | 6,000円×77館          | 総会運営費    | 300,000 | 当番館：鹿屋体育大学     |
| 協議会誌代 | 125,600 | 48号(2005) 800円×157部 | 協議会誌発行費  | 200,000 | 49号(2006) 200部 |
| 広告掲載料 | 290,000 | 15社                 | 事務費      | 55,000  | 会誌送料、通信費、会議費等  |
|       |         |                     | 積立金会計へ繰入 | 322,600 | 総会関係研修事業補助     |
| 小計    | 877,600 |                     | 小計       | 877,600 |                |

積立金会計

| 収入の部     |         |    | 支出の部   |         |                    |
|----------|---------|----|--------|---------|--------------------|
| 科目       | 予算      | 備考 | 科目     | 予算      | 備考                 |
| 前年度繰越金   | 540,209 |    | 表彰経費   | 60,000  | 12名(1号該当8名、2号該当4名) |
| 預金利子     | 10      |    | 研修会経費  | 100,000 | 総会講演謝金等            |
| 一般会計から繰入 | 322,600 |    | 研修会補助費 | 270,000 | 各県協議会(9地区)研修経費補助   |
|          |         |    | 次年度繰越金 | 432,819 |                    |
| 小計       | 862,819 |    | 小計     | 862,819 |                    |

|    |           |  |    |           |  |
|----|-----------|--|----|-----------|--|
| 総計 | 1,740,419 |  | 総計 | 1,740,419 |  |
|----|-----------|--|----|-----------|--|

## 九州地区大学図書館協議会会則

昭和25年11月27日施行  
昭和32年9月12日改正  
昭和41年6月2日改正  
昭和51年4月23日改正  
昭和55年5月9日改正  
平成9年4月25日改正  
平成10年4月24日改正

(名 称)

第 1 条 本会は九州地区大学図書館協議会と称する。

(会 員)

第 2 条 本会は別に定める資格を有する九州地区の大学図書館をもって組織する。

会員は大学をもって一会員とする。

本会に入会するには、所定の入会申込書を提出し、総会の議決を経るものとする。

(目 的)

第 3 条 本会は会員の緊密な連絡と協力によって、大学図書館の施設、管理及び運営等の健全な進歩発達をはかり、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

(事 業)

第 4 条 本会は前条の目的を達するためにつきの事業を行う。

1. 図書館の研究・調査に関する事項
2. 研究会・講習会等の開催に関する事項
3. 日本図書館協会等の連絡提携に関する事項
4. 学術図書文献の調査及び総合目録の調整に関する事項
5. 学術図書文献の収集、保存及び活用に関する事項
6. その他必要とする事項

(役 員)

第 5 条 本会に幹事館、副幹事館及び監査館を置く。

幹事館は会務を総括し、本会を代表する。

副幹事館は、幹事館とともに会務を処理する。

監査館は、会計を監査する。

第 6 条 幹事館は、総会で互選し、その任期は2年とする。但し、再選を妨げない。

副幹事館は、国立大学、公立大学、私立大学及び私立短期大学からそれぞれ1館を総会で互選し、その任期は2年とする。但し、再選を妨げない。

監査館は、総会で互選し、その任期は1年とする。但し、再選できない。

(事 務 所)

第 7 条 本会の事務所は幹事館内におく。

(会 議)

第 8 条 本会は毎年 1 回総会を開催する。但し必要に応じ会員の 3 分の 1 以上から請求があった場合は、臨時総会を開くことができる。

第 9 条 総会の運営は、輪番に定められた当番館が幹事館と協議してこれに当たる。

第 10 条 総会は次の事項を行う。

1. 事業計画
2. 決算の承認
3. 予算の決定
4. 幹事館、副幹事館及び監査館の選任及び当番館の決定
5. その他必要なる事項の決定

第 11 条 総会の票決権は 1 大学につき 1 票とし、議決は多数決による。

可否同数の時は幹事館の決するところによる。

(会 計)

第 12 条 本会の経費は会費その他をもってあてる。

第 13 条 会費は年額 6,000 円とし、毎会計年度始めに幹事館に納入するものとする。

第 14 条 本会の予算は毎年総会の議決を経て決定し、決算は監査を受け次の総会において承認を得なければならない。

第 15 条 本会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

(会則変更)

第 16 条 本会則の変更は総会にはからなければならない。その決定には出席会員の 3 分の 2 以上の賛成を必要とする。

## 九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則

昭和 32 年 9 月 12 日決定

昭和 37 年 10 月 2 日改正

昭和 48 年 5 月 11 日改正

昭和 53 年 5 月 12 日改正

平成 11 年 4 月 23 日改正

1. 本協議会総会の運営は簡素を尊重し、輪番に当番を引受け易くするためにこの細則を定める。
2. 総会の議長は当番館の館長とする。
3. 議長は副議長を指名することができる。
4. 当番館は幹事館及び副幹事館と協議の上、2ヶ月前に会員宛日程・場所等を通知し、出席者の職氏名及び協議事項・承合事項の提出を求める招請状を送ること。  
但し、緊急を要する臨時総会等の場合はこの限りでない。
5. 当番館は協議事項をまとめ、議題として提案理由、又は簡単な説明を付して、出席者に配付し、調査研究の余地を充分与えるように努めること。
6. 当番館は総会の議事録を作成し、会員に配付するものとする。

7. 幹事館及び副幹事館は当番館と協力して、総会で決議された要求事項を貫徹するよう努力する。
8. 総会と同時に研修会を開催し、研究発表者は九州地区内の大学図書館職員とし3年位に1回の割合で、文部省・国会図書館或は他地区の大学より最適任者を招聘する。
9. 会員以外の出席を許すことがある。但し票決権はない。
10. 当番館は加盟館の所属県を次の三地区に分け、地区ごとに等しく持ち廻る。  
福岡地区 福岡県  
中部地区 長崎県、佐賀県、熊本県、大分県  
南部地区 鹿児島県、宮崎県、沖縄県
11. 総会の経費は主として会費及び出席者から徴収する金員より支出し、総会の議決を経た予算案によって実行するものとする。
12. 研修会の講師招聘に要する旅費、謝礼等の費用は、毎年会費の内から積立てて支弁する。

## 九州地区大学図書館協議会入会に関する細則

昭和32年9月1日施行

平成9年4月25日改正

1. 本協議会へ入会を希望する大学図書館（以下「入会申込館」という。）は、最寄りの本協議会会員の紹介書（別記様式1）により、入会申込書（別記様式2）を、総会の3ヶ月前までに幹事館に提出する。
2. 紹介を依頼された会員は、総会において入会申込館の概略を説明する。
3. 入会資格の基準は下記のとおりとする。
  - (1) 大学又は短期大学の図書館であること。
  - (2) 本協議会の目的及び事業に賛同し、熱意が十分認められること。
4. 入会申込館は、総会当日は、入会承認まではオブザーバーとして出席することができる。

## 九州地区大学図書館協議会入会紹介書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大 学 名

図 書 館 名

図 書 館 長 名

公 印

下記の図書館は、本協議会の目的及び事業に賛同され、また熱意が十分認められますので、本協議会への入会を紹介します。

### 記

1. 学校（法人）名：

2. 大 学 名：

3. 図 書 館 名：

4. 図 書 館 長 名：

5. 所 在 地：



## 九州地区大学図書館協議会入会申込書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大 学 名

図 書 館 名

図 書 館 長 名

公 印

貴協議会の趣旨に賛同し、平成 年度からの入会を申し込みます。

1. 学校（法人）名：

2. 大 学 名：

3. 大 学 設 置 年：

4. 学 生 数：

5. 図 書 館 名：

6. 所 在 地：

（電話、FAX番号）

7. 図 書 館 長 名：

8. 図 書 館 の 概 要：（別紙）

9. 紹 介 館 名：

## 図書館の概要

|              |  |            |          |
|--------------|--|------------|----------|
| 図書館名         |  |            |          |
| 事務責任者職・氏名    | (電話番号 )  |            |          |
| 図書館職員数       | 人(内、司書数 人)                                     |            |          |
| 図書館延床面積      | m <sup>2</sup>                                 | 閲覧座席数      | 席        |
| 蔵書冊数         | 冊(内和書 冊、洋書 冊)                                  |            |          |
| 年間受入図書冊数     | 冊  | 年間受入雑誌種数   | 種        |
| 年間開館日数       | 日  | 通常開館時間     | 時 分～ 時 分 |
| 土曜開館         | 1 実施 2 未実施                                     |            |          |
| 日曜祝日開館       | 1 実施 2 一部実施 3 未実施                              |            |          |
| 奉仕対象学生数      | 人  | 奉仕対象教職員数   | 人        |
| 年間貸出冊数       | 冊  |            |          |
| 図書館相互協力      | 図書貸借   | 1 実施 2 未実施 |          |
| 同上           | 文献複写   | 1 実施 2 未実施 |          |
| 学外者へのサービス    | 1 実施 2 未実施                                     |            |          |
| コンピュータの導入    | 1 導入済 2 未導入                                    |            |          |
| コンピュータの適用業務  | 1 貸出 2 図書受入 3 図書整理 4 雑誌管理 5 OPAC               |            |          |
| ネットワーク環境     | 1 学内LAN接続済 2 インターネット接続済                        |            |          |
| 国立情報学研究所との接続 | 1 接続(1 NACSIS-CAT/ILL 2 NACSIS-IR 3 その他) 2 未接続 |            |          |

## 九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規

平成2年4月20日施行

平成5年4月23日改正

平成11年4月23日改正

1. (1) 本協議会誌は、総会記事のほか各部会報告、ニュース等を掲載し、九州地区大学図書館間の情報誌としての機能を果たすこととする。  
(2) 本協議会誌編集のために編集委員会を設ける。
2. (1) 編集委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された編集委員館で構成する。  
(2) 幹事館及び総会当番館は、業務上の必要から編集委員館として参加することとし、上記2- (1)の編集委員館を兼ねることができる。  
(3) 各部会の編集委員館は、幹事館の近隣地区から選出されることが望ましい。  
(4) 編集委員館の任期は1年とし再任を妨げない。
3. (1) 編集委員館は、それぞれの所属する各部会の記事の提出を担当する。  
(2) 総会当番館は、総会記事を担当する。  
(3) 幹事館は、編集に関する事務を担当する。
4. 本協議会誌発行のため、印刷代、送料、編集会議費、原稿執筆等謝礼は、毎年会費の内から支弁する。
5. 本協議会誌に掲載された論文・記事は、九州地区大学図書館協議会ホームページに掲載することとする。

## 九州地区大学図書館協議会表彰規程

(目 的)

第1条 この規程は、九州地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に加盟の大学図書館職員を表彰するため、必要な事項を定めることを目的とする。

(表彰を受ける者)

第2条 表彰は、次の各号の1に該当し、かつ勤務成績が良好である者について行う。

- (1) 勤務期間20年に達した者
- (2) 勤務期間20年以上の者で退職または転職した者
- (3) 図書館学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者

(表彰状の授与)

第3条 表彰は、協議会が別紙様式による表彰状を授与することによって行う。

2 第2条に該当する者については、前項の表彰状にあわせて記念品を贈呈することができる。

(被表彰者の選考)

第4条 表彰をうける者は、所属図書館長の推薦（別紙様式による）に基づき、表彰委員会が選考し、協議会の総会の承認を経て決定する。

(表彰委員会)

第5条 表彰委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された表彰委員館各1館で構成し、任期は1年として再任を妨げない。

(表彰の日)

第6条 表彰は、協議会の総会において行う。

(勤務期間の計算)

第7条 第2条第1号および第2号の勤務期間は、国公私立大学図書館およびその他の図書館に在職し、10年以上を加盟の大学図書館に勤務したものでなければならない。

2 次の各号に掲げる期間は、勤務期間から除算する。

(1) 休職の期間（公傷病の期間は除く）

(2) 懲戒処分により停職された期間

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、表彰の実施に関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、昭和42年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和55年5月9日から施行する。

附 則

この規程は、平成9年4月25日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年4月23日から施行する。

文書番号

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会幹事館

〇〇大学附属図書館長

殿

〇〇大学（附属）図書館長

○ ○ ○ ○

## 平成 年度表彰者の推薦について

下記の者を本年度の総会における被表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。  
なお、別紙のとおり表彰者調書を提出します。

# 表彰者調書

大学（附属）図書館

|                |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
|----------------|--------|------------|-----------|------|-------------|---------|--------|---|---|
| 職名             |        | ふりがな<br>氏名 |           | 生年月日 | 明<br>大<br>昭 | 年       | 月      | 日 |   |
| 表彰の区分          | 第2条第1号 |            | 第2条第2号    |      | 第2条第3号      |         |        |   |   |
| 勤務成績           |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| 第6条第2項第2号該当の有無 |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| 履 歴 事 項        |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| 年              | 月      | 日          | 勤 務 内 容 等 |      |             | 勤 務 期 間 |        |   |   |
|                |        |            |           |      |             | 加盟館期間   | その他の期間 |   |   |
|                |        |            |           |      |             | 年 月 日   | 年 月 日  |   |   |
| ～              |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| ～              |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| ～              |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| ～              |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| ～              |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| ～              |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| ～              |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| ～              |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| ～              |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| ～              |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| ～              |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| ～              |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| ～              |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
| 計              |        |            |           |      |             |         |        |   |   |
|                |        |            |           |      |             | 合計      | 年      | 月 | 日 |

- 註 (1) 勤務期間の計算は暦日数によるものとし日を月に換算するときは30日をもって1月とすること。
- (2) 第7条第2項各号の除算期間は朱書すること。
- (3) 第2条第3号に該当する場合は、「勤務成績」欄は「業績」と書きかえて記入し、参考となる資料等を添付すること。

表彰状様式(1)第2条第1号および第2号該当者

## 表 彰 状

殿

あなたは 年間のながい間大学図書館関係の業務に精励されその功労はまことに大きいものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

平成 年 月 日

九州大学図書館協議会

---

表彰状様式(2)第2条第3号該当者

## 表 彰 状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

平成 年 月 日

九州大学図書館協議会

## 研修会の補助に関する申合せ

平成6年9月20日決定

平成7年9月1日改正

平成8年4月24日改正

平成9年4月25日改正

平成10年4月25日改正

平成15年4月25日改正

九州地区大学図書館協議会

地区の大学図書館活動を発展させるため、研修会、講演会等（以下「研修会」という。）の経費を補助する申合せ事項を次のとおり定める。

1. 研修会経費を補助する対象は、九州地区大学図書館協議会に加盟している大学図書館が主体となって構成する県又は地区単位の組織とし、別紙のとおりとする。
2. 補助する経費の金額は、年間1組織に対して3万円を限度とする。
3. 研修会に要する経費の補助を受けようとするときは、別記様式による申請書を幹事館に提出するものとする。
4. 経費の補助を受けた組織は、本協議会誌に活動報告を掲載するものとする。
5. 経費の支出は、積立金会計を適用する。
6. 新たな組織から経費の補助の申し出があったときは、総会において承認を得るものとする。
7. これに関する事務は、幹事館で行う。

### 別 紙

#### 経費を補助する県又は地区単位の組織

1. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（北部地区）
2. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（福岡地区）
3. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（南部地区）
4. 長崎県大学図書館協議会
5. 熊本県大学図書館協議会
6. 大分県大学図書館協議会
7. 宮崎県大学図書館協議会
8. 鹿児島県大学図書館協議会
9. 沖縄県大学図書館協議会



別記様式

## 平成 年度九州地区大学図書館協議会・研修会経費補助申請書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会  
幹事館

殿

組 織 名  
代 表 者  
(所属大学)

九州地区大学図書館協議会の研修会経費の補助を受けたく、下記のとおり申請します。

記

|                    |   |
|--------------------|---|
| 研 修 会 名<br>及 び 内 容 |   |
| 開 催 期 間            | 自 平成 年 月 日( ) 時 分<br>至 平成 年 月 日( ) 時 分  |
| 開 催 場 所            |   |
| 参 加 機 関 数          |   |
| 参 加 人 数            |   |
| 必 要 経 費<br>(具体的に)  | ア. 講師謝金 _____<br>イ. 資料代金 _____<br>ウ. 会場借上費 _____<br>エ. その他 _____<br>合 計 _____ |
| 連 絡 担 当 者          | 氏名 _____ 職 _____ 電話 _____ (内線)  |

※ 研修内容は、大学図書館活動を促進させるテーマであること。

## 副幹事館の役割

平成10年8月31日

幹事館・副幹事館会議

### 1 通常時

1. 年度の事業・活動についての立案・協議
2. 所属部会との連絡調整と情報の提供
3. 入会の勧誘等、協議会の広報（特に所属部会の各大学に対して）
4. ホームページ充実のための提言等、意見具申

### 2 会誌発行時

各部会から編集委員館は選出されているため、特に役割はないと思うが

- ・ 所属部会の情報（研究発表等、原稿情報）の提供等

### 3 総会時

1. 副議長職に館長を選出等、当番館及び幹事館と協力しての総会運営
2. 前日決定された各部会における各役員館の事務局への連絡
3. 総会終了後、当番館作成の議事録の確認

### 4 その他

- ・ 別段ある場合は、適宜副幹事館から提案

## 九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について

平成10年8月31日

幹事館・副幹事館会議

1. 九州地区大学図書館協議会ホームページ（以下、「ホームページ」という。）は、九州大学附属図書館のサーバに置く。

（URL <http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/kyogikai/kyutiku.htm>）

2. ホームページの管理、維持（デザイン・構成を含む）は、当分の間、九州地区大学図書館協議会事務局（以下、「事務局」という。）が行う。

3. ホームページに掲載する事項は当面以下のものとし、それぞれ以下の館が作成する。

- ・ トピックス&NEWS

加盟館、各設置部会毎協議会、各県毎協議会等からの原稿に基づき事務局が作成

総会議事録は総会当番館が原稿を作成

- ・ 加盟館一覧 事務局が作成
- ・ 役員館一覧 事務局が作成
- ・ 当番館一覧 事務局が作成

- ・九州地区大学図書館協議会誌  
事務局が作成（論文等執筆者に対しては原稿依頼時にホームページ掲載方の承諾を得るものとする。）
  - ・地区内の図書館活動  
各設置部会毎の図書館協議会等及び各県毎協議会が作成
  - ・各種関連資料集 事務局が作成
  - ・関連サイトへのリンク集 事務局が作成
  - ・地区内各館の相互利用案内 各加盟館からの原稿に基づき事務局が作成
  - ・フォーラムページ  
協議会が設定するテーマに対する加盟館からの自由な意見・回答のページで、投稿は直接電子メールによる
4. 「3.」のほか、ホームページに文書・記事等の掲載を希望する副幹事館及び加盟館は、HTML形式等で原稿を作成し、事務局に送付するものとする。  
事務局は内容を確認のうえ、ホームページに掲載する。

## 九州地区大学図書館協議会加盟館一覧

19. 1. 末 現在

|  | 館名  | 郵便番号       | 所在地                            | 電話番号<br>( )内はFAX番号             |
|--|---|------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 国<br>立                                   | 九州工業大学 附属図書館<br>(館長 前田 博, 事務長 小川みやこ)          | 804-8550   | 北九州市戸畑区仙水町1の1                  | 093-884-3072<br>(093-884-3075) |
|  | 福岡教育大学 附属図書館<br>(館長 高田 清, 図書館課長 栗山 平)         | 811-4192   | 宗像市赤間文教町1番5号                   | 0940-35-1257<br>(0940-35-1705) |
|  | 九州大学 附属図書館<br>(館長 有川節夫, 事務部長 濱崎修一)            | 812-8581   | 福岡市東区箱崎6丁目10の1                 | 092-642-2325<br>(092-642-2330) |
|  | 佐賀大学 附属図書館<br>(館長 高崎洋三, 学術研究協力部長 木塚建一)        | 840-8502   | 佐賀市本庄町1                        | 0952-28-8902<br>(0952-28-8909) |
|  | 長崎大学 附属図書館<br>(館長 岡林隆敏, 学術情報部長 瀧上光明)          | 852-8521   | 長崎市文教町1の14                     | 095-819-2193<br>(095-819-2196) |
|  | 熊本大学 附属図書館<br>(館長 中山 仁, 学術情報総主幹 松藤典生)         | 860-8555   | 熊本市黒髪2丁目40の1                   | 096-342-2213<br>(096-342-2210) |
|  | 大分大学 附属図書館<br>(館長 伊藤哲郎, 研究・社会連携部長 植田善夫)       | 870-1192   | 大分市大字旦野原700                    | 097-554-7482<br>(097-554-7488) |
|  | 宮崎大学 附属図書館<br>(館長 永田雅輝, 学術研究協力部長 金城孝夫)        | 889-2192   | 宮崎市学園木花台西1丁目1                  | 0985-58-7759<br>(0985-58-2896) |
|  | 鹿児島大学 附属図書館<br>(館長 早川勝光, 事務部長 寺垣敏司)           | 890-0065   | 鹿児島市郡元1丁目21の35                 | 099-285-7415<br>(099-285-7413) |
| 鹿屋体育大学 附属図書館<br>(館長 倉田 博, 学術図書情報課長 能勢明雄) | 891-2393                                      | 鹿屋市白水町1    | 0994-46-4871<br>(0994-46-4157) |                                |
| 琉球大学 附属図書館<br>(館長 親川兼勇, 事務部長 堀内真也)       | 903-0214                                      | 中頭郡西原町字千原1 | 098-895-8153<br>(098-895-8154) |                                |
| 公<br>立                                   | 北九州市立大学 学術情報総合センター<br>(センター長 棚次奎介, 課長 吉野光夫)   | 802-8577   | 北九州市小倉南区北方4丁目2の1               | 093-964-4040<br>(093-964-4038) |
|  | 九州歯科大学 附属図書館<br>(館長 高田 豊, 事務長 神菌勝義)           | 803-8580   | 北九州市小倉北区真鶴2丁目6の1               | 093-582-1131<br>(093-583-7388) |
|  | 福岡女子大学 附属図書館<br>(館長 吉崎邦子, 学務部長 倉田 修)          | 813-8529   | 福岡市東区香住ヶ丘1丁目1の1                | 092-661-2411<br>(092-661-2416) |
|  | 福岡県立大学 附属図書館<br>(館長 中野榮子, 学務部長 松尾義信)          | 825-8585   | 田川市伊田4395                      | 0947-42-1760<br>(0947-42-9457) |
|  | 県立長崎シーボルト大学 附属図書館<br>(館長 松永恵子, 課長 吉村勝徳)       | 851-2195   | 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1            | 095-813-5075<br>(095-813-5224) |
|  | 長崎県立大学 図書情報センター<br>(センター長 山田千香子, 図書課長 永松和人)   | 858-8580   | 佐世保市川下町123                     | 0956-47-5958<br>(0956-26-2100) |
|  | 熊本県立大学 学術情報メディアセンター<br>(センター長 松岡 泰, 事務長 田中 彰) | 862-8502   | 熊本市月出3丁目1番100号                 | 096-383-2929<br>(096-383-2999) |
|  | 大分県立芸術文化短期大学 附属図書館<br>(館長 凍田和美, 管理グループ 後藤秀一)  | 870-0833   | 大分市上野丘東1の11                    | 097-545-4235<br>(097-545-4235) |
|  | 大分県立看護科学大学 附属図書館<br>(館長 市瀬孝道, 管理係長 小野永子)      | 870-1201   | 大分県大分市大字廻栖野2944-9              | 097-586-4330<br>(097-586-4373) |
|  | 宮崎公立大学 附属図書館<br>(館長 田中 薫, 事務長 黒木雄三)           | 880-8520   | 宮崎市船塚1丁目1番地2                   | 0985-20-4814<br>(0985-20-4806) |
|  | 宮崎県立看護大学 附属図書館<br>(館長 赤星 誠, 教務課長 大吉聖一郎)       | 880-0929   | 宮崎市まなび野3-5-1                   | 0985-59-7756<br>(0985-59-7773) |
|  | 鹿児島県立短期大学 附属図書館<br>(館長 朝日吉太郎, 副館長 前田和平)       | 890-0005   | 鹿児島市下伊敷1丁目52番1号                | 099-220-1111<br>(099-220-1115) |

|   | 館名   | 郵便番号        | 所在地                            | 電話番号<br>( )内はFAX番号             |
|---|--|-------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 公立  | 沖縄県立看護大学 附属図書館<br>(館長 前田和子, 事務責任者 盛島明哲)        | 902-0076    | 那覇市与儀1-24-1                    | 098-833-8806<br>(098-833-5134) |
|   | 沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館<br>(館長 喜瀬慎仁, 副参事 玉那覇有仁)    | 903-8602    | 那覇市首里当蔵町1-4                    | 098-882-5038<br>(098-882-5068) |
| 私立  | 西日本工業大学 図書館<br>(館長 高見徹志, 図書評価室長 宗広明則)          | 800-0394    | 福岡県京都郡苅田町新津1-11                | 0930-23-7729<br>(0930-24-7900) |
|   | 西南女学院大学 図書館<br>(館長 大里文人, 課長 友枝伸一)              | 803-0835    | 北九州市小倉北区井堀1丁目3の5               | 093-583-5959<br>(093-592-1885) |
|   | 九州国際大学 図書館<br>(館長 古巣邦彦, 事務室長 甲斐富美子)            | 805-8512    | 北九州市八幡東区平野1丁目6の1               | 093-671-8919<br>(093-671-8920) |
|   | 九州共立大学 附属図書館<br>(館長 宮菌和禱, 業務課長 古賀 進)           | 807-8585    | 北九州市八幡西区自由ヶ丘1の8                | 093-693-3036<br>(093-603-2260) |
|   | ※九州女子大学・九州女子短期大学 附属図書館<br>(館長 高橋 昇, 業務課長 松尾伸二) | 807-8586    | 北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1                | 093-693-3124<br>(093-603-0494) |
|   | 福岡工業大学 附属図書館<br>(館長 野田 稔, 事務長 武 哲也)            | 811-0295    | 福岡市東区和白東3-30-1                 | 092-606-0691<br>(092-606-7389) |
|   | 福岡女学院大学 図書館<br>(館長 増田 榮, 課長 佐田ひろみ)             | 811-1313    | 福岡市南区臼佐3丁目42の1                 | 092-581-1492<br>(092-585-7059) |
|   | 九州産業大学 図書館<br>(館長 高橋公忠, 事務部長 山本正三)             | 813-8503    | 福岡市東区松香台2丁目3の1                 | 092-673-5382<br>(092-673-5926) |
|   | 福岡大学 図書館<br>(館長 長谷川正国, 事務部長 石田 積)              | 814-0180    | 福岡市城南区七隈8丁目19の1                | 092-871-6631<br>(092-865-3794) |
|   | 中村学園大学 図書館<br>(館長 吉岡慶子, 図書課長 猿渡健一)             | 814-0198    | 福岡市城南区別府5丁目7の1                 | 092-851-2573<br>(092-841-7762) |
|   | 西南学院大学 図書館<br>(館長 後藤新治, 事務次長 篠崎 珣)             | 814-8511    | 福岡市早良区西新6丁目2の92                | 092-823-3426<br>(092-823-3480) |
|   | 第一薬科大学 図書館<br>(館長 原 千高, 事務職員 田中昌昭)             | 815-8511    | 福岡市南区玉川町22の1                   | 092-541-0161<br>(092-553-5698) |
|   | 九州情報大学 図書館<br>(館長 南 俊朗, 図書館司書 藤 理恵子)           | 818-0117    | 太宰府市宰府6丁目3番1号                  | 092-928-4000<br>(092-928-3200) |
|   | ※筑紫女学園大学・短期大学部 附属図書館<br>(館長 川邊武芳, 課長 関 彰)      | 818-0192    | 太宰府市石坂2丁目12の1                  | 092-925-9910<br>(092-925-3318) |
|   | ※福岡国際大学・福岡女子短期大学 図書館<br>(館長 石田裕行, 課長 下条瑞恵)     | 818-0193    | 太宰府市五条4丁目16-1                  | 092-922-3604<br>(092-922-3596) |
|   | 久留米工業大学 図書館<br>(館長 渡邊孝司, 事務室室長 萩尾文子)           | 830-0052    | 久留米市上津町2228                    | 0942-22-2345<br>(0942-22-2385) |
|   | 聖マリア学院大学 図書館<br>(館長 熊井昭彦, 司書 山口真由美)            | 830-8558    | 久留米市津福本町422番地                  | 0942-35-7271<br>(0942-37-1138) |
|   | 久留米大学 附属図書館<br>(館長 西土純一, 課長 熊谷まゆみ)             | 839-8502    | 久留米市御井町1635                    | 0942-44-4015<br>(0942-43-0348) |
|   | 西九州大学 附属図書館<br>(館長 香川せつ子, 課長 )                 | 842-8585    | 神崎市神埼町尾崎4490-9                 | 0952-52-4191<br>(0952-53-7869) |
|   | ※活水女子大学 図書館<br>(館長 宮崎隆広, 課長 森 茂樹)              | 850-8515    | 長崎市東山手町1の50                    | 095-822-4107<br>(095-823-3701) |
| 長崎総合科学大学 附属図書館<br>(館長 高 允宝, 課長 伴 卓士)  | 851-0193                                       | 長崎市網場町536   | 095-838-5140<br>(095-838-2072) |                                |
| 長崎外国語大学・長崎外国語短期大学 教育研究<br>メディアセンター マルチメディア・ライブラリー<br>(センター長 山川欣也, 事務長 佐田忠鴻) | 851-2196                                       | 長崎市横尾3-15-1 | 095-840-2005<br>(095-840-2205) |                                |

|                                      | 館名   | 郵便番号  | 所在地                            | 電話番号<br>( )内はFAX番号             |                                |
|--------------------------------------|--|---|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 私                                    | 長崎純心大学 早坂記念図書館<br>(館長 岩下康夫, 事務室長 岩崎由希子)    | 852-8558  | 長崎市三ツ山町235                     | 095-846-0084<br>(095-845-4279) |                                |
|                                      | 長崎ウエスレヤン大学 附属図書館<br>(館長 亘 明志, 司書 植松久子)     | 854-0081  | 諫早市栄田町1057                     | 0957-26-8203<br>(0957-26-2063) |                                |
|                                      | 長崎国際大学 図書館<br>(館長 平井誠也, 図書課長 飯島芳典)         | 859-3298  | 佐世保市ハウステンボス町2825-7             | 0956-20-5560<br>(0956-39-4894) |                                |
|                                      | 崇城大学 図書館<br>(館長 梶谷 尚, 主任 小野泰弘)             | 860-0082  | 熊本市池田4丁目22の1                   | 096-326-3111<br>(096-326-3000) |                                |
|                                      | 九州ルーテル学院大学 図書館<br>(館長 板橋和子, 司書係長 水谷江美子)    | 860-8520  | 熊本市黒髪3丁目12-16                  | 096-343-2494<br>(096-343-0354) |                                |
|                                      | 熊本学園大学 附属図書館<br>(館長 宇野史郎, 部長 塚本 諄)         | 862-8680  | 熊本市大江2丁目5の1                    | 096-364-5161<br>(096-362-5967) |                                |
|                                      | 九州東海大学 附属図書館<br>(館長 信國喜八郎, 図書課長 岡村晴夫)      | 862-8652  | 熊本市渡鹿9-1-1                     | 096-382-1141                   |                                |
|                                      | 熊本保健科学大学 附属図書館<br>(館長 守 且孝, 事務 山崎栄子)       | 861-5591  | 熊本市和泉町亀の甲325                   | 096-275-2264<br>(096-275-2265) |                                |
|                                      | 九州看護福祉大学 附属図書館<br>(館長 江藤洋祐, 事務職員 寺井直子)     | 865-0062  | 玉名市富尾888                       | 0968-75-1840<br>(0968-75-1873) |                                |
|                                      | 日本文理大学 図書館<br>(館長 川建和雄, 部長 藤原靖也)           | 870-0397  | 大分市大字一木1727                    | 0975-92-1600<br>(0975-93-2071) |                                |
|                                      | 立命館アジア太平洋大学ライブラリー<br>(センター長 汪 正仁, 課長 北村滋朗) | 874-8577  | 別府市十文字原1-1                     | 0977-78-1140<br>(0977-78-1141) |                                |
|                                      | 別府大学 附属図書館<br>(館長 佐藤允昭, 事務長 吉岡義信)          | 874-8501  | 別府市大字北石垣82                     | 0977-66-9633<br>(0977-66-7872) |                                |
|                                      | 九州保健福祉大学 附属図書館<br>(館長 森 憲正)                | 882-8508  | 延岡市吉野町1714-1                   | 0982-23-5562<br>(0982-23-5560) |                                |
|                                      | 宮崎産業経営大学 附属図書館<br>(館長 三好 充, 課長 森元康二)       | 880-0931  | 宮崎市古城町丸尾100                    | 0985-52-3205<br>(0985-50-4699) |                                |
|                                      | 南九州大学・南九州短期大学 図書館<br>(館長 澁澤 透, 課長 中村 稔)    | 880-0032  | 宮崎市霧島5-1-2                     | 0985-83-3430<br>(0985-83-3431) |                                |
|                                      | 立  | ※宮崎学園 図書館<br>宮崎国際大学・宮崎女子短期大学<br>(館長 安藤嘉章, 事務長 長友聖次) | 889-1605                       | 宮崎郡清武町加納1415                   | 0985-85-1410<br>(0985-85-8189) |
|                                      | 鹿児島国際大学 附属図書館<br>(館長 上村俊雄, 事務長 藤田淳二)       | 891-0191  | 鹿児島市下福元町8850                   | 099-261-3211<br>(099-261-1198) |                                |
|                                      | 鹿児島純心女子大学 附属図書館<br>(館長 犬塚孝明, 図書課長 森山 学)    | 895-0011  | 鹿児島県薩摩川内市天辰町2365               | 0996-23-5311<br>(0996)23-5030  |                                |
|                                      | 志学館大学 図書館<br>(館長 十島雍蔵, 課長 流合正晃)            | 899-5194  | 鹿児島県霧島市隼人町内1904-1              | 0995-43-1111<br>(0995-43-1114) |                                |
|                                      | 沖縄国際大学 図書館<br>(館長 武田一博, 次長 新川宣安)           | 901-2701  | 宜野湾市宜野湾2丁目6番1号                 | 098-892-1111<br>(098-893-3274) |                                |
| 沖縄大学 図書館<br>(館長 田里 修, 事務長 嘉敷和子)      | 902-8521                                   | 沖縄県那覇市宇国場555  | 098-832-5577<br>(098-834-1127) |                                |                                |
| 沖縄キリスト教学院 図書館<br>(館長 島袋忠雄, 主任 外間きみ子) | 903-0207                                   | 沖縄県中頭郡西原町字翁長777                                     | 098-946-1236<br>(098-946-1237) |                                |                                |
| 名桜大学 附属図書館<br>(館長 吉川安一, 図書課長 山田義孝)   | 905-8585                                   | 沖縄県名護市字為又1220-1                                     | 0980-52-4274<br>(0980-51-1065) |                                |                                |

|          | 館名   | 郵便番号     | 所在地               | 電話番号<br>( )内はFAX番号             |
|----------|--|----------|-------------------|--------------------------------|
| 私立<br>短大 | 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 図書館<br>(館長 山田千秋, 主任司書 小林由憲) | 803-8511 | 北九州市小倉北区下到尾津5の1の1 | 093-561-3541<br>(093-561-9728) |
|          | 九州造形短期大学 図書館<br>(館長 時 詩津男, 事務部長 荒川博一)        | 813-0004 | 福岡市東区松香台2丁目3の2    | 092-673-5188<br>(092-673-5199) |
|          | 九州大谷短期大学 図書館<br>(館長 斉藤英雄, 情報課長 坂川和彦)         | 833-0054 | 福岡県筑後市蔵敷495-1     | 0942-53-9893<br>(0942-53-9893) |
|          | 中九州短期大学 附属図書館<br>(館長 田中善典, 事務職 段原佳子)         | 866-8502 | 八代市平山新町4438       | 0965-34-7651<br>(0965-43-7117) |
|          | 東九州短期大学 図書館<br>(館長 錦 萬代, 事務長 山本博宣)           | 871-0014 | 中津市大字一ツ松211       | 0979-22-2425<br>(0979-25-3935) |
|          | 別府溝部学園短期大学 図書館<br>(館長 田邊 勲, 司書 宗岡千尋)         | 874-8567 | 大分県別府市野田78        | 0977-66-0224<br>(0977-67-8133) |
|          | 鹿児島女子短期大学 附属図書館<br>(館長 前原隆綱, 図書課長 石塚勝雄)      | 890-8565 | 鹿児島市紫原1丁目59の1     | 099-254-9191<br>(099-254-5914) |
|          | 鹿児島純心女子短期大学 図書館<br>(館長 小川李夫, 課長 西 真知子)       | 890-8525 | 鹿児島市唐湊4丁目22の1     | 099-253-2677<br>(099-254-5247) |

※印は、大学・短期大学を併せて1加盟館

## 九州地区大学図書館協議会役員館一覽

| 年次<br>(回数)     | 幹事館  | 監査館      | 表彰委員館       |                              |                               | 編集委員館 |
|----------------|------|----------|-------------|------------------------------|-------------------------------|-------|
| 昭和48年度<br>(24) | 九州大学 | 福岡女子短大   | 国<br>公<br>私 | 福岡教育大学<br>長崎国際経済大学<br>福岡大学   | 佐賀大学<br>長崎県立女子短大<br>西南大学      |       |
| 昭和49年度<br>(25) | 九州大学 | 福岡女子大学   | 国<br>公<br>私 | 九州工業大学<br>長崎国際経済大学<br>西南大学   | 九州芸術工科大学<br>長崎県立女子短大<br>福岡大学  |       |
| 昭和50年度<br>(26) | 九州大学 | 西南大学     | 国<br>公<br>私 | 佐賀大学<br>北九州大学<br>久留米大学       | 長崎大学<br>大分県立芸術短大<br>熊本商科大学    |       |
| 昭和51年度<br>(27) | 九州大学 | 九州産業大学   | 国<br>公<br>私 | 九州芸術工科大学<br>九州歯科大学<br>久留米大学  | 大分大学<br>長崎国際経済大学<br>西南大学      |       |
| 昭和52年度<br>(28) | 九州大学 | 福岡大学     | 国<br>公<br>私 | 福岡教育大学<br>福岡女子大学<br>西南大学     | 鹿児島大学<br>熊本女子大学<br>九州産業大学     |       |
| 昭和53年度<br>(29) | 九州大学 | 九州芸術工科大学 | 国<br>公<br>私 | 佐賀大学<br>長崎県立女子短大<br>西南大学     | 九州芸術工科大学<br>長崎国際経済大学<br>久留米大学 |       |
| 昭和54年度<br>(30) | 九州大学 | 九州産業大学   | 国<br>公<br>私 | 九州芸術工科大学<br>北九州大学<br>九州産業大学  | 佐賀大学<br>九州歯科大学<br>久留米大学       |       |
| 昭和55年度<br>(31) | 九州大学 | 福岡女子大学   | 国<br>公<br>私 | 宮崎大学<br>福岡社会保育短大<br>西南大学     | 九州工業大学<br>大分県立芸術短大<br>熊本商科大学  |       |
| 昭和56年度<br>(32) | 九州大学 | 西南大学     | 国<br>公<br>私 | 福岡教育大学<br>熊本女子大学<br>九州産業大学   | 熊本大学<br>鹿児島県立短大<br>福岡大学       |       |
| 昭和57年度<br>(33) | 九州大学 | 福岡大学     | 国<br>公<br>私 | 長崎大学<br>北九州大学<br>八幡大学        | 鹿児島大学<br>福岡女子大学<br>熊本商科大学     |       |
| 昭和58年度<br>(34) | 九州大学 | 九州芸術工科大学 | 国<br>公<br>私 | 琉球大学<br>福岡社会保育短大<br>鹿児島経済大学  | 宮崎医科大学<br>鹿児島県立短大<br>八幡大学     |       |
| 昭和59年度<br>(35) | 九州大学 | 福岡女子大学   | 国<br>公<br>私 | 佐賀医科大学<br>長崎国際経済大学<br>中村学園大学 | 大分医科大学<br>長崎県立女子短大<br>西日本工業大学 |       |
| 昭和60年度<br>(36) | 九州大学 | 中村学園大学   | 国<br>公<br>私 | 宮崎大学<br>熊本女子大学<br>鹿児島経済大学    | 九州工業大学<br>大分県立芸術短大<br>西日本工業大学 |       |
| 昭和61年度<br>(37) | 九州大学 | 福岡女子短大   | 国<br>公<br>私 | 熊本大学<br>北九州大学<br>長崎総合科学大学    | 大分大学<br>福岡社会保育短大<br>第一薬科大学    |       |
| 昭和62年度<br>(38) | 九州大学 | 九州芸術工科大学 | 国<br>公<br>私 | 宮崎医科大学<br>福岡女子大学<br>九州東海大学   | 大分医科大学<br>九州歯科大学<br>沖縄国際大学    |       |



| 年次<br>(回次)     | 幹事館  | 監査館      | 表彰委員館       |                              |                             | 編集委員館                                       |
|----------------|------|----------|-------------|------------------------------|-----------------------------|---|
| 昭和63年度<br>(39) | 九州大学 | 福岡女子大学   | 国<br>公<br>私 | 佐賀医科大学<br>長崎国際経済大学<br>福岡大学   | 琉球大学<br>鹿儿岛立短大学<br>八幡大      |   |
| 平成元年度<br>(40)  | 九州大学 | 九州産業大学   | 国<br>公<br>私 | 九州芸術工科大学<br>長崎県立女子短大学<br>西南大 | 佐賀大学<br>熊本女子大<br>中村学園大      |   |
| 平成2年度<br>(41)  | 九州大学 | 中村学園大学   | 国<br>公<br>私 | 福岡教育大学<br>北九州大学<br>九州産業大     | 長崎大<br>大分立芸術文化短期大<br>熊本商科大  | 九州大学<br>大分医科大学<br>福岡女子大<br>福岡大<br>福岡女子短期大   |
| 平成3年度<br>(42)  | 九州大学 | 福岡大学     | 国<br>公<br>私 | 九州工業大学<br>福岡県社会保育短期大<br>久留米大 | 鹿儿岛大<br>長崎県立大<br>西日本工業大     | 九州大学<br>鹿屋体育大<br>九州歯科大<br>中村学園大<br>筑紫女学園短期大 |
| 平成4年度<br>(43)  | 九州大学 | 福岡女子短期大学 | 国<br>公<br>私 | 宮崎大<br>福岡女子大<br>鹿儿岛経済大       | 大分大<br>九州歯科大<br>活水女子大       | 九州大学<br>福岡教育大<br>北九州大<br>九州国際大<br>東筑紫短期大    |
| 平成5年度<br>(44)  | 九州大学 | 福岡女子大学   | 国<br>公<br>私 | 宮崎医科大学<br>熊本女子大<br>活水女子大     | 大分医科大学<br>鹿儿岛立短期大<br>鹿儿岛経済大 | 九州大学<br>熊本大<br>福岡女子大<br>西南学院大<br>筑紫女学園短期大   |
| 平成6年度<br>(45)  | 九州大学 | 九州芸術工科大学 | 国<br>公<br>私 | 熊本大<br>大分立芸術文化短期大<br>活水女子大   | 佐賀医科大学<br>宮崎公立大<br>鹿儿岛経済大   | 九州大学<br>宮崎大<br>福岡県立大<br>九州産業大<br>筑紫女学園短期大   |
| 平成7年度<br>(46)  | 九州大学 | 九州産業大学   | 国<br>公<br>私 | 鹿屋体育大<br>北九州大<br>第一薬科大       | 琉球大<br>長崎県立大<br>南九州大        | 九州大学<br>九州工業大<br>九州歯科大<br>久留米大<br>筑紫女学園短期大  |
| 平成8年度<br>(47)  | 九州大学 | 西南学院大学   | 国<br>公<br>私 | 九州芸術工科大学<br>福岡女子大<br>九州東海大   | 佐賀大<br>九州歯科大<br>熊本学園大       | 九州大学<br>大分大<br>北九州大<br>九州共立大<br>西南女学院短期大    |
| 平成9年度<br>(48)  | 九州大学 | 福岡教育大学   | 国<br>公<br>私 | 九州工業大<br>熊本県立大<br>九州女子大      | 宮崎大<br>鹿儿岛立短期大<br>久留米工業大    | 九州大学<br>佐賀大<br>九州歯科大<br>福岡大<br>西南女学院短期大     |

| 年次<br>(回次)     | 幹事館  | 副幹事館  | 監査館          | 表彰委員館  | 編集委員館   |
|----------------|------|---|--------------|--|---|
| 平成10年度<br>(49) | 九州大学 | 国<br>九州芸術工科大学<br>公<br>福岡女子大学<br>私<br>九州国際大学<br>私短<br>中九州短期大学          | 中村学園大学       | 福岡教育大学<br>長崎大学<br>福岡県立大学<br>長崎県立女子短期大学<br>西日本工業大学<br>筑紫女学園大学 | 九州大学<br>佐賀大学<br>福岡女子大学<br>第一薬科大学<br>福岡国際大学・<br>福岡女子短期大学             |
| 平成11年度<br>(50) | 九州大学 | 国<br>九州工業大学<br>公<br>大分県立芸術文化短期大学<br>私<br>鹿児島経済大学<br>私短<br>沖縄キリスト教短期大学 | 福岡大学         | 鹿児島大学<br>大分県立芸術文化短期大学<br>別府大学<br>中九州短期大学                     | 九州大学<br>佐賀大学<br>長崎大学<br>福岡県立大学<br>熊本工業大学<br>福岡国際大学・<br>福岡女子短期大学     |
| 平成12年度<br>(51) | 九州大学 | 国<br>九州工業大学<br>公<br>大分県立芸術文化短期大学<br>私<br>鹿児島国際大学<br>私短<br>沖縄キリスト教短期大学 | 福岡女子大学       | 大分大学<br>宮崎県立大学<br>宮崎国際大学<br>中九州短期大学                          | 九州大学<br>沖縄国際大学<br>宮崎医科大学<br>北九州大学<br>西南女学院大学<br>福岡国際大学・<br>福岡女子短期大学 |
| 平成13年度<br>(52) | 九州大学 | 国<br>福岡教育大学<br>公<br>宮崎公立大学<br>私<br>福岡工業大学<br>私短<br>九州大谷短期大学           | 福岡教育大学       | 宮崎医科大学<br>北九州市立大学<br>筑紫女学園大学<br>沖縄キリスト教短期大学                  | 鹿児島大学<br>九州歯科大学<br>西九州大学<br>活水女子短期大学<br>九州大学<br>九州女子大学              |
| 平成14年度<br>(53) | 九州大学 | 国<br>福岡教育大学<br>公<br>宮崎公立大学<br>私<br>福岡工業大学<br>私短<br>九州大谷短期大学           | 福岡工業大学       | 大分医科大学<br>熊本県立大学<br>九州情報大学<br>九州大谷短期大学                       | 琉球大学<br>福岡県立大学<br>鹿児島純心女子大学<br>活水女子短期大学<br>九州大学<br>大分大学             |
| 平成15年度<br>(54) | 九州大学 | 国<br>佐賀大学<br>公<br>北九州市立大学<br>私<br>九州共立大学<br>私短<br>筑紫女学園大学・短期大学        | 筑紫女学園大学・短期大学 | 鹿屋体育大学<br>宮崎県立看護大学<br>九州ルーテル学院大学<br>筑紫女学園大学・短期大学             | 九州工業大学<br>福岡女子大学<br>九州看護福祉大学<br>西南女学院大学・<br>短期大学<br>九州大学<br>宮崎大学    |
| 平成16年度<br>(55) | 九州大学 | 国<br>佐賀大学<br>公<br>北九州市立大学<br>私<br>九州共立大学<br>私短<br>筑紫女学園大学・短期大学        | 西南学院大学       | 熊本大学<br>福岡女子大学<br>志學館大学<br>東九州女子短期大学                         | 福岡教育大学<br>九州歯科大学<br>南九州大学・<br>南九州短期大学<br>西南女学院大学・<br>短期大学           |

| 年次<br>(回数)     | 幹事館  | 副幹事館              |   | 監査館                 | 表彰委員館   | 編集委員館  |
|----------------|------|-------------------|---|---------------------|---|--|
| 平成17年度<br>(56) | 九州大学 | 国<br>公<br>私<br>私短 | 長崎大学<br>熊本県立大学<br>九州東海大学<br>鹿児島純心女子短期大学 | 九州産業大学              | 琉球大学<br>沖縄県立大学<br>西南女学院大学<br>鹿児島純心女子短期大学              | 熊本大学<br>北九州市立大学<br>西日本工業大学<br>鹿児島純心女子短期大学            |
| 平成18年度<br>(57) | 九州大学 | 国<br>公<br>私<br>私短 | 長崎大学<br>熊本県立大学<br>九州東海大学<br>鹿児島純心女子短期大学 | 福岡国際大学・<br>福岡女子短期大学 | 佐賀大学<br>鹿児島県立短期大学<br>筑紫女学園大学・短期大学<br>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 | 鹿屋体育大学<br>福岡県立大学<br>筑紫女学園大学・短期大学<br>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 |
| 平成19年度<br>(58) |      | 国<br>公<br>私<br>私短 |   |                     |   |  |
| 平成20年度<br>(59) |      | 国<br>公<br>私<br>私短 |   |                     |   |  |
| 平成21年度<br>(60) |      | 国<br>公<br>私<br>私短 |   |                     |   |  |
| 平成22年度<br>(61) |      | 国<br>公<br>私<br>私短 |   |                     |   |  |
| 平成23年度<br>(62) |      | 国<br>公<br>私<br>私短 |   |                     |   |  |

## 九州地区大学図書館協議会総会当番館一覽

| 回次 | 年度 | 県別  | 大 学         |
|----|----|-----|-------------|
| 1  | 25 | 福岡  | 九州大学        |
| 2  | 26 | 熊本  | 熊本大学        |
| 3  | 27 | 長崎  | 長崎大学        |
| 4  | 28 | 佐賀  | 佐賀大学        |
| 5  | 29 | 鹿児島 | 鹿児島大学       |
| 6  | 30 | 宮崎  | 宮崎大学        |
| 7  | 31 | 大分  | 大分大学        |
| 8  | 32 | 福岡  | 西南学院大学      |
| 9  | 33 | 福岡  | 九州大学        |
| 10 | 34 | 熊本  | 熊本大学        |
| 11 | 35 | 福岡  | 九州工業大学      |
| 12 | 36 | 長崎  | 長崎大学        |
| 13 | 37 | 福岡  | 福岡大学        |
| 14 | 38 | 佐賀  | 佐賀大学        |
| 15 | 39 | 福岡  | 福岡教育大学      |
| 16 | 40 | 宮崎  | 宮崎大学        |
| 17 | 41 | 福岡  | 八幡大学        |
| 18 | 42 | 鹿児島 | 鹿児島大学       |
| 19 | 43 | 福岡  | 九州大学        |
| 20 | 44 | 熊本  | 熊本商科大学      |
| 21 | 45 | 福岡  | 久留米大学       |
| 22 | 46 | 大分  | 大分大学        |
| 23 | 47 | 福岡  | 北九州大学       |
| 24 | 48 | 長崎  | 長崎大学        |
| 25 | 49 | 福岡  | 九州産業大学      |
| 26 | 50 | 佐賀  | 佐賀大学        |
|    |    | "   | 佐賀龍谷短期大学    |
| 27 | 51 | 沖縄  | 琉球大学        |
| 28 | 52 | 福岡  | 九州大学        |
| 29 | 53 | 大分  | 大分大学        |
| 30 | 54 | 宮崎  | 宮崎大学        |
| 31 | 55 | 福岡  | 九州歯科大学      |
|    |    | "   | 福岡女子大学      |
|    |    | "   | 福岡県社会保育短期大学 |
| 32 | 56 | 熊本  | 熊本女子大学      |

| 回次 | 年度  | 県別  | 大 学        |
|----|-----|-----|------------|
| 33 | 57  | 鹿児島 | 鹿児島大学      |
|    |     | "   | 鹿児島県立短期大学  |
|    |     | "   | 鹿児島経済大学    |
| 34 | 58  | 福岡  | 西日本工業大学    |
| 35 | 59  | 長崎  | 長崎大学       |
| 36 | 60  | 宮崎  | 宮崎医科大学     |
|    |     | 大分  | 大分県立芸術短期大学 |
|    |     | 宮崎  | 南九州大学      |
|    |     | 長崎  | 純心女子短期大学   |
| 37 | 61  | 福岡  | 九州芸術工科大学   |
| 38 | 62  | 佐賀  | 佐賀医科大学     |
| 39 | 63  | 沖縄  | 琉球大学       |
| 40 | 平成元 | 福岡  | 北九州大学      |
| 41 | 2   | 大分  | 大分医科大学     |
| 42 | 3   | 鹿児島 | 鹿屋体育大学     |
| 43 | 4   | 福岡  | 西南学院大学     |
| 44 | 5   | 熊本  | 九州東海大学     |
| 45 | 6   | 宮崎  | 宮崎産業経営大学   |
| 46 | 7   | 福岡  | 九州工業大学     |
| 47 | 8   | 長崎  | 長崎大学       |
| 48 | 9   | 鹿児島 | 鹿児島経済大学    |
| 49 | 10  | 福岡  | 福岡女子大学     |
| 50 | 11  | 佐賀  | 佐賀大学       |
| 51 | 12  | 沖縄  | 沖縄国際大学     |
| 52 | 13  | 福岡  | 九州女子大学     |
| 53 | 14  | 大分  | 大分大学       |
| 54 | 15  | 宮崎  | 宮崎大学       |
| 55 | 16  | 福岡  | 福岡教育大学     |
| 56 | 17  | 中部  | 熊本大学       |
| 57 | 18  | 鹿児島 | 鹿屋体育大学     |
| 58 | 19  | 福岡  | 九州大学       |
| 59 | 20  | 長崎  | 長崎大学       |
| 60 | 21  |     |            |
| 61 | 22  |     |            |
| 62 | 23  |     |            |

[ MEMO ]

# SCOPUS<sup>TM</sup>

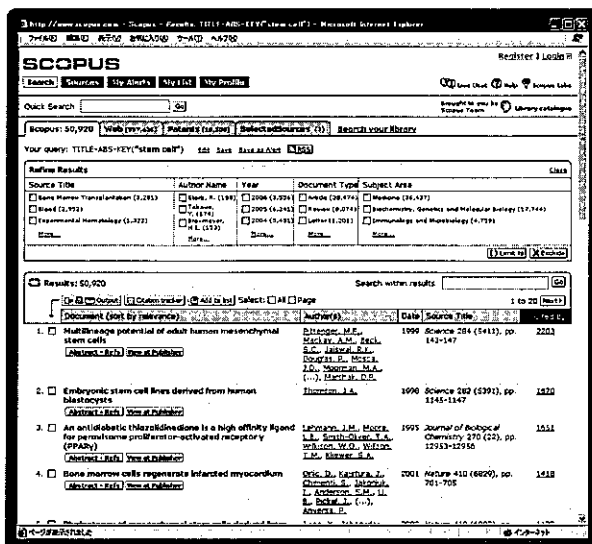
Find out.

I do!

世界最大規模の書誌・引用文献データベース

Scopus (スコパス) [www.scopus.com](http://www.scopus.com)

- ユーザー中心設計による驚くほど使い勝手のよいナビゲーションツール
- 世界4,000の出版社の15,000誌を収録
- 1996年以降の参考文献を収録
- 1960年代からの抄録情報を収録
- ウェブ情報、特許情報も同時検索
- 引用分析ツール (Citation Tracker) リリース
- 著者識別機能 (Author Identifier) リリース **New!**



エルゼビア・ジャパン株式会社  
電子図書館サービス  
Tel: 03-5561-5034 Fax: 03-5561-5047  
E-mail: [jpinfo@scopus.com](mailto:jpinfo@scopus.com)  
<http://japan.elsevier.com/products/scopus>



# World Bank (世界銀行)



## 極東書店がお届けいたします!!

2006年1月より、当社がWorld Bank(世界銀行)の出版物の日本販売総代理店に指定されました。

世界銀行が刊行する全出版物(Oxford University Press、Palgrave Macmillan から出版されるタイトルを含む)を確実に入手するために、ブランク・オーダーをお薦めいたします。2005年の世界銀行の出版物は約134タイトル、約55万円でした。

[主要出版物・最新刊]

### 世界開発報告 2007年版：開発と次世代

**World Development Report 2007: Development and the Next Generation. 2006:9**

(World Bank / Oxford U. Pr., US) <530-272>

ISBN 0-8213-6549-5

ISBN 0-8213-6541-X

hard ¥7,507 (税込)

paper ¥3,903 (税込)

### 世界開発指標 2006年版

**World Development Indicators 2006. 400 pp. 2006 (World Bank, US)**

ISBN 0-8213-6470-7 <530-273>

ISBN 0-8213-6472-3 <114-93>

ISBN 0-8213-6474-X <114-94>

\*paper ¥11,261 (税込)

\*CD-ROM Single-user ¥41,291 (税込)

\*Single User CD-ROM & paper ¥44,294 (税込)

オンライン版 WDI-Online, CD-ROM:Multiple-user でも提供がございます。詳細は当社までお問い合わせください。

### 世界開発金融 2006年版

**Global Development Finance 2006: The Development Potential of Surging Capital Flows.**

Complete Print Edition. 2 vols. 772 pp. 2006 (World Bank, US)

ISBN 0-8213-5991-6 <530-276>

ISBN 0-8213-5992-4 <114-95>

ISBN 0-8213-5994-0 <114-96>

\*paper set ¥60,060 (税込)

\*CD-ROM Single User ¥60,060 (税込)

\*Single User CD-ROM & paper set ¥105,105 (税込)

オンライン版 GDF-Online, CD-ROM:Multiple-user でも提供がございます。詳細は当社までお問い合わせください。

### 世界経済展望 2007年版—2030年におけるグローバルな統合と発展途上国—

**Global Economic Prospects 2007: Global Integration and Developing Countries in 2030.**

2006:11(World Bank, US) <100-2240>

ISBN 0-8213-6727-7



paper ¥5,705 (税込)



FAR EASTERN BOOKSELLERS

(Kyokuto Shoten Ltd.)

Kanda P.O. Box 72, Tokyo 101-8672, Japan

〒101-8672 東京都千代田区神田神保町 2-12 安富ビル

URL: <http://www.kyokuto-bk.co.jp>

〒530-0047 大阪府北区西天満 2-10-2 幸田ビル

〒604-0985 京都市中京区麩屋町通丸太町下る 井口ビル

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小穂ビル

☎03(3265)7531 FAX03(3265)4656

E-mail: [info@kyokuto-bk.co.jp](mailto:info@kyokuto-bk.co.jp)

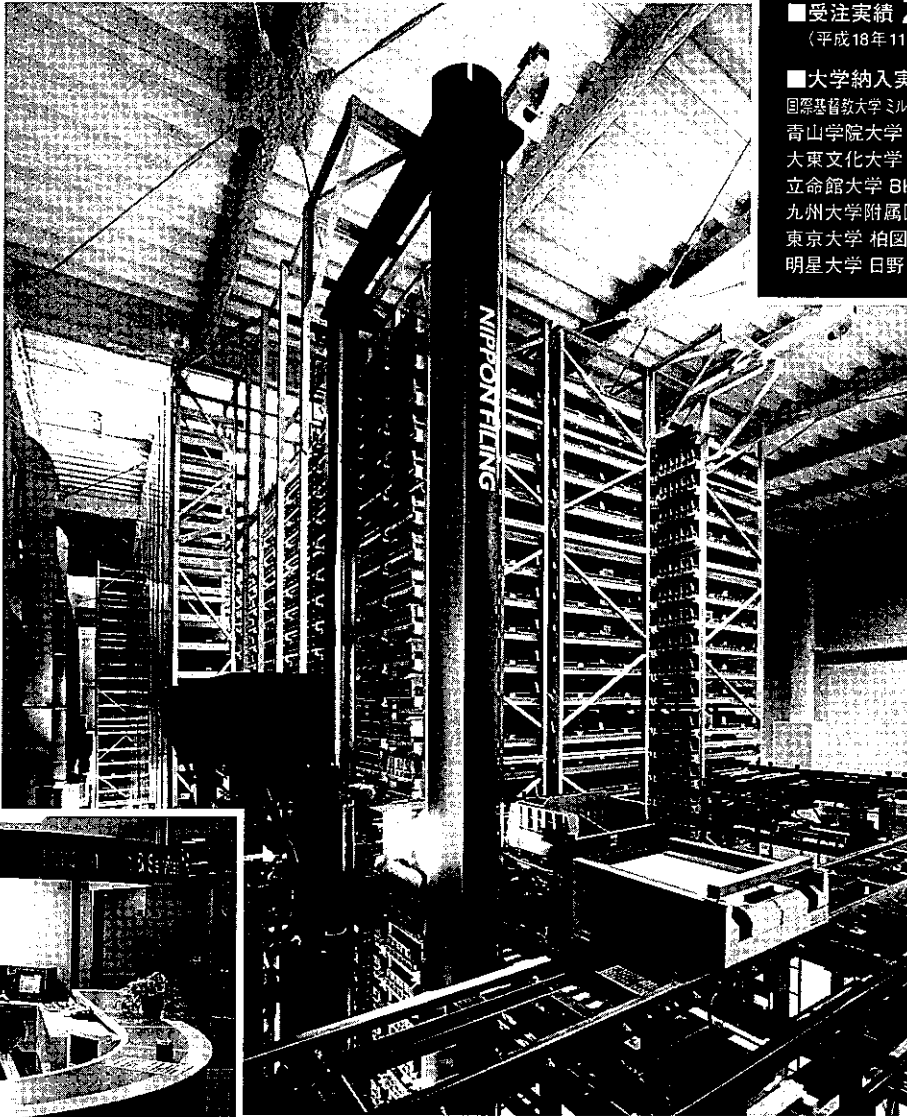
☎06(6362)5515 FAX06(6362)8882

☎075(231)2093 FAX075(231)3859

☎092(751)6956 FAX092(741)0821

# 導入成果の確かさでご好評をいただいています

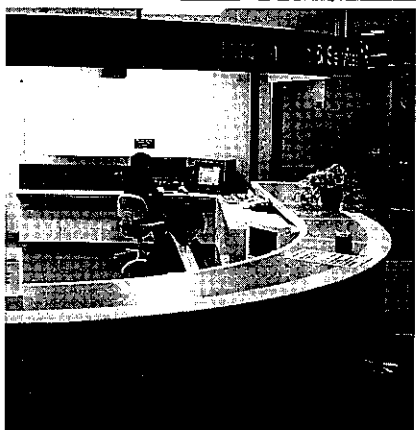
オートライブの最大の特徴は、膨大な図書・資料を効率的に保管し、合理的な検索・出納システムによって利用者が求めた情報を迅速に、的確に提供できることです。入出庫の速さとともに、図書のサイズ別フリーロケーションとダブルコンテナ格納方式の採用により高密度保管と高速出納を両立させました。



■受注実績 **26件**  
(平成18年11月現在)

■大学納入実績

国際基督教大学 ミルドレット・フオスマー図書館  
青山学院大学 相模原キャンパス  
大東文化大学 板橋キャンパス  
立命館大学 BKCメディアセンター  
九州大学 附属図書館 筑紫分館  
東京大学 柏図書館  
明星大学 日野キャンパス



## オートライブの特長

- ▶ 保管密度が極めて高く、大きなスペースセービング効果が得られます。
- ▶ 返却作業及びカウンター業務が軽減されます。
- ▶ すべての自動化により、大幅な省力効果が得られます。
- ▶ 簡単な操作で、的確・スピーディな利用者サービスが実現します。
- ▶ コンピュータによる蔵書点検など管理レベルが飛躍的に向上します。

**Auto Lib.**  
自動化書庫・オートライブ

よりよい保管システムを提供する



**日本ファイリング**

日本ファイリング株式会社

本社 / 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2 (新御茶ノ水アーバンビル)

支店 / 大阪・名古屋 営業所 / 札幌・仙台・大宮・横浜・広島・福岡

ISO 14001  
ISO 9001  
認証取得企業

資料請求・お問い合わせは ▶ <http://www.nipponfiling.co.jp> ☎0120-808-977 電話受付/月～金(土・日・祝日を除く) 9:00～17:00

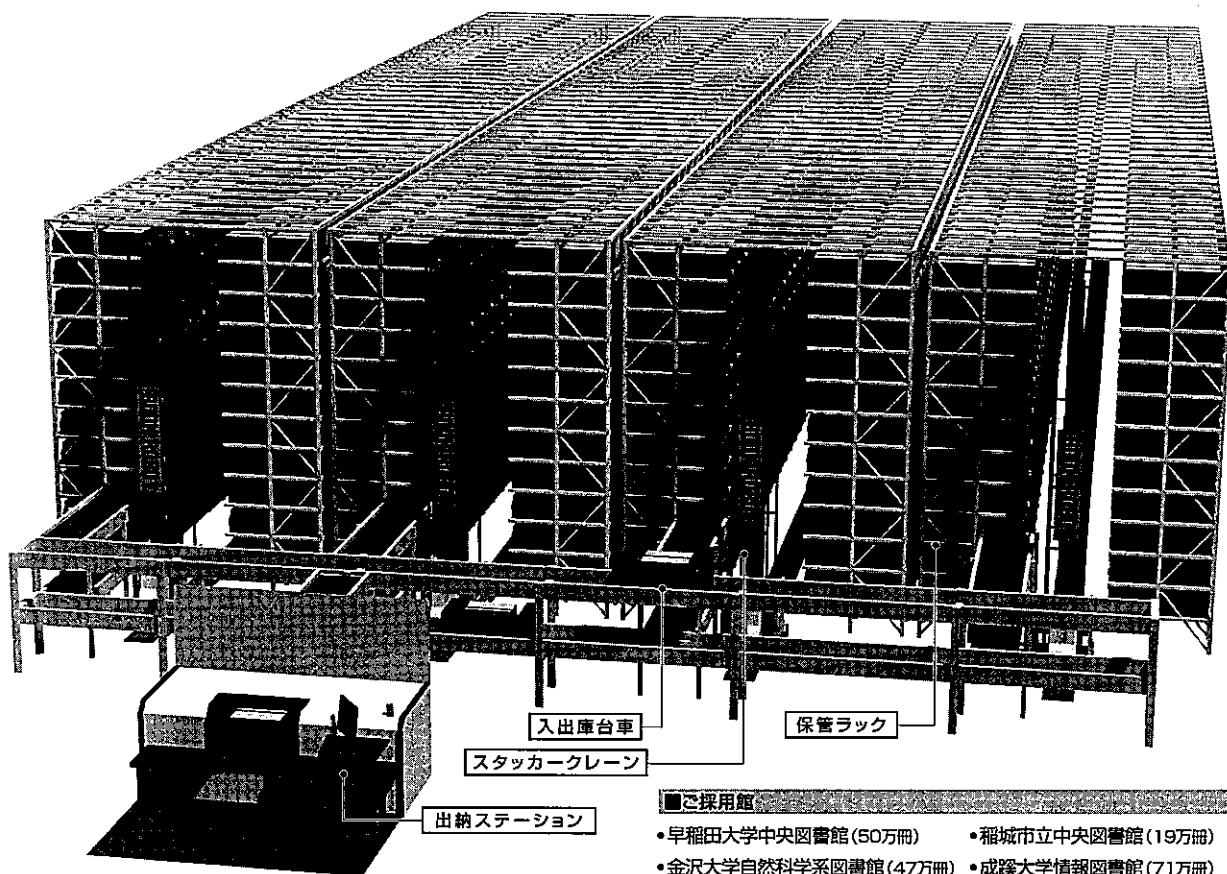


# KONGO LIBRARY PLANNING

コンゴはライブラリー設備・用品のプランニング企業として、  
ライブラリー空間づくりをお手伝いします。

## 自動書庫 **BOOK ROBO**

自動書庫・ブックロボは、従来の閉架書庫に係わる業務を自動化することで  
図書館スタッフの業務負担を軽減し、より充実した図書館サービスの提供に注力できる環境を整えます。



- ご採用館
- 早稲田大学中央図書館(50万冊)
  - 金沢大学自然科学系図書館(47万冊)
  - 九州大学理系図書館(40万冊)
  - 立教大学新座図書館(20万冊)
  - 稲城市立中央図書館(19万冊)
  - 成蹊大学情報図書館(71万冊)
  - 獨協大学天野貞祐記念館(55万冊)
  - 聖マリアンナ医科大学新明石会館(20万冊)

空間をデザインする  
**KONGO**  
www.kongo-corp.co.jp

**金剛株式会社**

東京本社/港区高輪2-18-6ポラ高輪ビル5F TEL.(03)5488-3566 (代)  
熊本本社/熊本市上熊本3丁目8-1 TEL.(096)355-1111(大代)



- |                          |                          |                       |
|--------------------------|--------------------------|-----------------------|
| 東北(仙台) ☎(022)274-7038(代) | 鳥取 ☎(0857)32-2390(代)     | 長崎 ☎(095)832-0500(代)  |
| 東京 ☎(03)5488-5566(代)     | 広島 ☎(082)284-3771(代)     | 熊本 ☎(096)355-1111(大代) |
| 静岡 ☎(054)264-1810(代)     | 四国(高松) ☎(087)833-6508(代) | 分 ☎(097)534-6797(代)   |
| 北陸(金沢) ☎(076)291-6601(代) | 北九州 ☎(093)561-4737(代)    | 崎 ☎(0985)26-1105(代)   |
| 名古屋 ☎(052)796-1730(代)    | 福岡 ☎(092)681-6286(代)     | 鹿児島 ☎(099)251-1162(代) |
| 大阪 ☎(06)6311-7010(代)     | 久留米 ☎(092)681-6286(代)    | 沖縄 ☎(099)867-5285(代)  |
| 岡山 ☎(086)225-8465(代)     | 佐賀 ☎(0952)31-5789(代)     |                       |

# 150万冊の在庫から あなたの一冊をお届けします。

JUNKUDO BOOKWEBは、(株) ジュンク堂書店が開設したインターネットを通じて、世界最大規模の売場面積を誇るジュンク堂書店池袋本店の常時在庫150万冊からご希望の書籍、雑誌等をご自宅又は最寄りのジュンク堂書店の店頭でお受け取りいただける情報サービスです。

一般書はもとより専門書は他に類を見ない圧倒的な点数(種類)を常備しております。

URL <http://www.junkudo.co.jp/>

**ジュンク堂書店**  
淳久堂書店

e-mail [info@junkudo.co.jp](mailto:info@junkudo.co.jp)  
TEL 03-5956-6681

## 広げます あなたの未来 政府刊行物

探したい本はここで見つかる。

政府刊行物のホームページ

<http://www.gov-book.or.jp/>

政府刊行物サービス・ステーション

天神:福岡市中央区天神 4-5-10(チサン天神1F)

TEL(092)721-4846

市役所:福岡市中央区天神 1-8-1(福岡市役所 B1F)

TEL(092)722-4861

県庁:福岡市博多区東公園 7-7(福岡県庁 B1F)

TEL(092)641-7838

北九州:北九州市小倉北区内 1-1(北九州市役所1F)

TEL(093)582-4124

政府刊行物普及株式会社・福岡県官報販売所

福岡市中央区天神 4-5-17

TEL(092)761-1151 FAX(092)751-0385

福岡県春日市天神山 6 - 6 7

# 樋口書店

代表者 樋口 光照

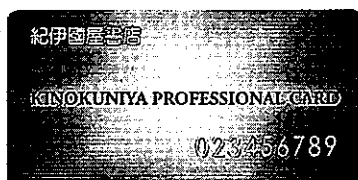
電話・FAX 092 (571) 2827

樋口書店は代表者樋口光男が日本出版貿（株）を定年退職後に創業した書店です。現在の主なお得意先は、九州大学・福岡大学・福岡歯科大学・福岡教育大学、などです。

今後ともお引き立て頂きますようお願い申し上げます。

店頭選定の新しいサービス! 今すぐ書籍を持ち帰り!

## 紀伊國屋プロフェッショナルカード



紀伊國屋大学  
キノクニヤ タロウ

紀伊國屋書店は、店頭選定の新しいサービスを開始いたしました。

全国の紀伊國屋書店での選定の際、ID カード 紀伊國屋プロフェッショナルカード をご提示いただくことで、スムーズに公費での取り扱いを承ります。お客様のご利用の程、お待ち申し上げます。

お問合せ、お申し込み先: 株式会社 紀伊國屋書店 九州営業部 事務センター

tel: 092-437-5353 fax: 092-437-5356

e-mail: kyushu@kinokuniya.co.jp

九州地区大学図書館協議会誌 第49号

平成19年 2月発行

発行 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学附属図書館内  
九州地区大学図書館協議会

TEL (092) 642-2324

FAX (092) 642-2330

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/kyogikai/kyutiku.htm>